



令和7年度 生活習慣病検診管理指導協議会
大腸がん部会

大腸がん検診の精度管理結果について



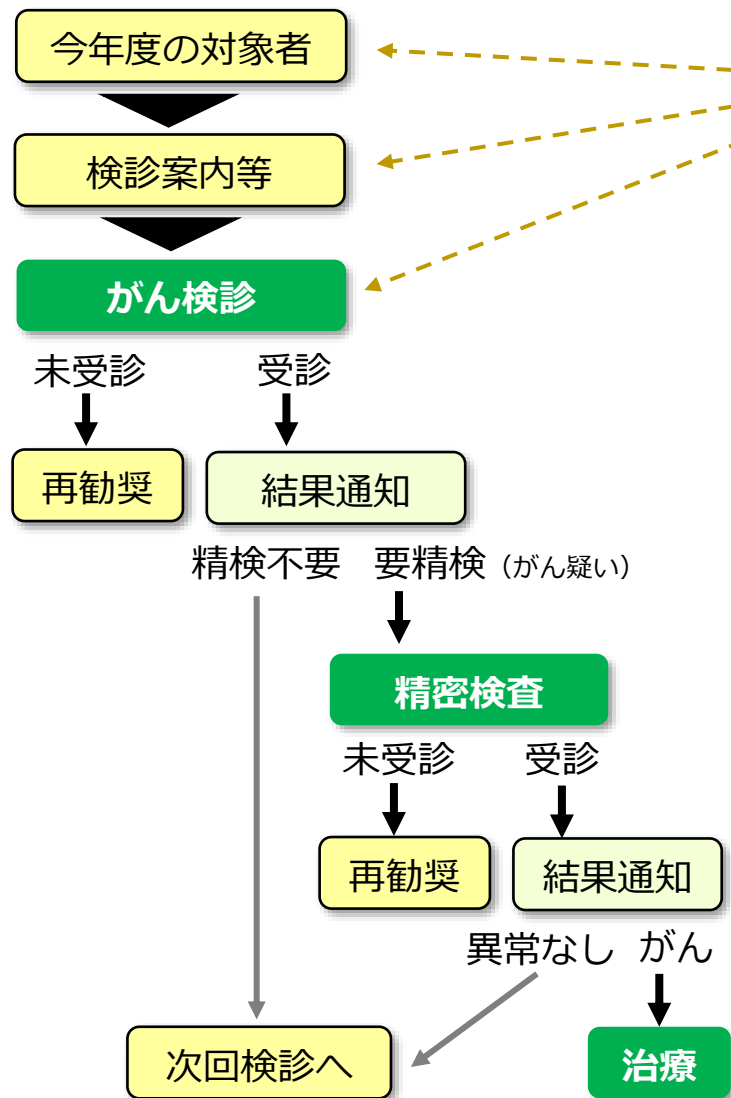
宮城県保健福祉部健康推進課



- 1 概要調査結果（指針に基づく実施状況）
- 2 チェックリスト遵守状況調査結果
- 3 プロセス指標（要精検率、がん発見率など）
- 4 アウトカム指標（がん罹患、死亡数）

概要調査の内容

がん検診の流れ



①概要調査

国の指針で定める検診内容



「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」
(厚生労働省)

- (1) 検診の対象年齢（下限）
- (2) 検診項目
- (3) 検診の委託を契約している
検診実施機関

対象となる調査年度

資料にある値は、その値を取得できる時期、対象者によって、それぞれ異なります。

出典（調査実施主体）	調査対象			調査内容	調査年度				
	市町村	職域	任意		R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025
概要調査 （指針に基づく検診実施状況）	○			検診実施体制など	宮城県	○	○	○	○
					全 国	○	○	○	
チェックリスト遵守状況調査 （厚労省）	○			遵守状況	宮城県	○	○	○	△
					全 国	○	○	○	
地域保健・健康増進事業報告 （厚労省）	○			検診受診率	宮城県	○	○	○	△
					全 国	○	○	△	
	○			精検受診率	宮城県	○	○	△	
					全 国	○			



実測値（全数調査）

市町村が実施している検診のみ
（職域検診、人間ドック等は含まない）

➡ 概要調査については、本年度の県の実施状況で評価

国の指針で定めるがん検診の内容

検診種類	検査項目	対象者	受診間隔
胃がん	問診に加え、 胃部エックス線検査 又は 胃内視鏡検査のいずれか	50歳以上 ※ 当分の間、胃部エックス線検査については40歳以上に対し実施可	2年に1回 ※ 当分の間、胃部エックス線検査については年1回実施可
子宮頸がん	問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診	20歳代	2年に1回
	問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診	30歳以上	2年に1回
	問診、視診及びHPV検査単独法 ※ 実施体制が整った自治体で選択可能		5年に1回 ※ 罹患リスクが高い者については1年後に受診
肺がん	質問(問診)、胸部エックス線検査及び喀痰細胞診	40歳以上 ※ 喀痰細胞診については原則として50歳以上の重喫煙者(喫煙指数600以上の者)のみ	年1回
乳がん	質問(問診)及び 乳房エックス線検査(マンモグラフィ) ※ 視診、触診は推奨しない	40歳以上	2年に1回
大腸がん	問診及び便潜血検査	40歳以上	年1回

指針改正で追加

概要調査結果の概要（令和7年度 大腸がん検診）

1 検診の対象年齢（下限）

指針に基づく対象年齢で検診を実施したか

	実施したと回答した市区町村割合	参考
宮城県（R7）	82.9 %	R6年度と同じ
全 国（R6）	77.6 %	



（宮城県：令和5、6年度も同じ）

宮城県 （R7）	年 齢	市町村数	備考	参考
	40歳以上	29	国の指針どおり（40歳以上）	R6年度と同じ
	35歳以上	3		
	30歳以上	3		

指導対象

指針に基づく受診間隔で検診を実施したか

	実施したと回答した市区町村割合
宮城県（R7）	100 %
全 国（R6）	99.8 %

（指針：受診間隔：1年）

概要調査結果の概要（令和7年度 大腸がん検診）

2 検診項目

（全国値との比較なし）

宮城県	項 目	市町村数	備考	参考
	問診、便潜血検査免疫法	29	国の指針どおり	（昨年度：20市町村）
	便潜血検査免疫法のみ	6		（問診なし）

指導対象

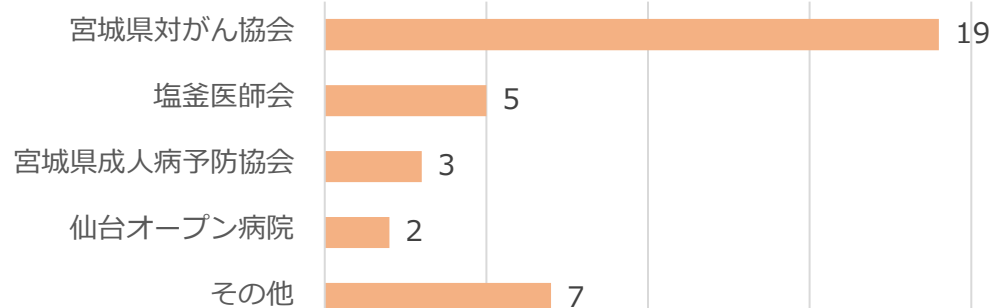
（問診を実施すること）

3 集団・個別の区別、集団検診の委託機関

宮城県	項 目	市町村数
	集団検診	33
	個別検診	5

（令和6年度と同じ）

集団検診の委託機関（複数回答）



注）集団と個別の両方を実施している市町村あり

概要調査結果の概要（令和7年度 大腸がん検診）

指導対象となる市町村



市町村名	下限年齢	指針よりも対象年齢を広げている場合の理由	検査項目
蔵王町	35歳	国保加入者は人間ドックを受ける機会が少ないため	問診、便潜血検査免疫法
七ヶ宿町	30歳	30～40代で徐々に増え始め、50代から急増することから対象年齢を引き下げ実施	問診、便潜血検査免疫法
塩竈市	40歳		便潜血検査免疫法
岩沼市	35歳	若い世代に多いがんで増加傾向にあり、がんの予防及び検診受診の啓発普及のため	問診、便潜血検査免疫法
富谷市	30歳	受診機会確保のため	便潜血検査免疫法
亘理町	40歳		便潜血検査免疫法
栗原市	30歳	若年層のがん発見・早期治療の機会確保のため	便潜血検査免疫法
登米市	40歳		便潜血検査免疫法
東松島市	40歳		便潜血検査化学法
気仙沼市	35歳	若年層のがん発見・早期治療の機会確保のため	問診、便潜血検査免疫法

（問診なし）

（問診なし）

（問診なし）

（問診なし）

（問診なし）

（問診なし）

(参考) 問診の例



令和7年度 大腸がん検診受診票（便潜血検査）

受診年月日

行政区名		世帯主名		世帯番号	
住 所	〒			宛 名 番 号	
フリガナ氏 名			生年月日	(歳)	
電話番号		保険証記号番号		受診券番号	

※1年以内に町が実施する検診以外で検便や全大腸内視鏡検査を受けた方は、今回の大腸がん検診の対象外です。

○下の欄で、あてはまる項目に☑をし、() に必要事項を記入してください。

1	大腸がん検診を受けたことがありますか	<input type="checkbox"/> はい (いつ頃) ↳ 検診方法 <input type="checkbox"/> 便潜血検査 <input type="checkbox"/> 全大腸内視鏡検査 (検便検査) (大腸カメラ検査) ↳ 検診結果 <input type="checkbox"/> 異常あり () <input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> いいえ
2	大腸の病気をしたことがありますか	<input type="checkbox"/> はい (病名) ↳ <input type="checkbox"/> 現在治療中 <input type="checkbox"/> 経過観察中 ※大腸がんやポリープ等で治療中、経過観察中の方は検診の対象外です。 <input type="checkbox"/> いいえ
3	家族（血縁）に大腸がんになった人がいますか	<input type="checkbox"/> はい (続柄) <input type="checkbox"/> いいえ
4	便のことで気になることはありますか (便に血が混じる、便秘、便が緩いなど)	<input type="checkbox"/> はい (具体的に) <input type="checkbox"/> いいえ

※今回の検診では、便の潜血反応を調べます。大腸がんや大きなポリープからは、目に見えない出血を起こしていることがあり、この便に含まれる出血を検出することで、がんを早期発見しようとするのが潜血検査です。便潜血陽性の場合、二次検診として大腸内視鏡などによる精密検査が必要です。潜血反応が見られた場合は必ず精密検査を受けて下さい。

※個人情報保護法に基づき、個人を特定できない形の統計情報として使用されることがありますが、目的以外に使用されることはありません。

概要調査のまとめ

指針に基づく検診の実施状況については、全国より高い遵守率にあるが、満たしていない市町村が一部ある。


【国が定める基準を満たさない市町村】

- ・ 対象年齢（40歳未満で実施） 6市町
- ・ 検査項目（問診未実施） 6市町

→ 対象年齢（40歳未満で実施）については昨年度の結果から変わりなし。

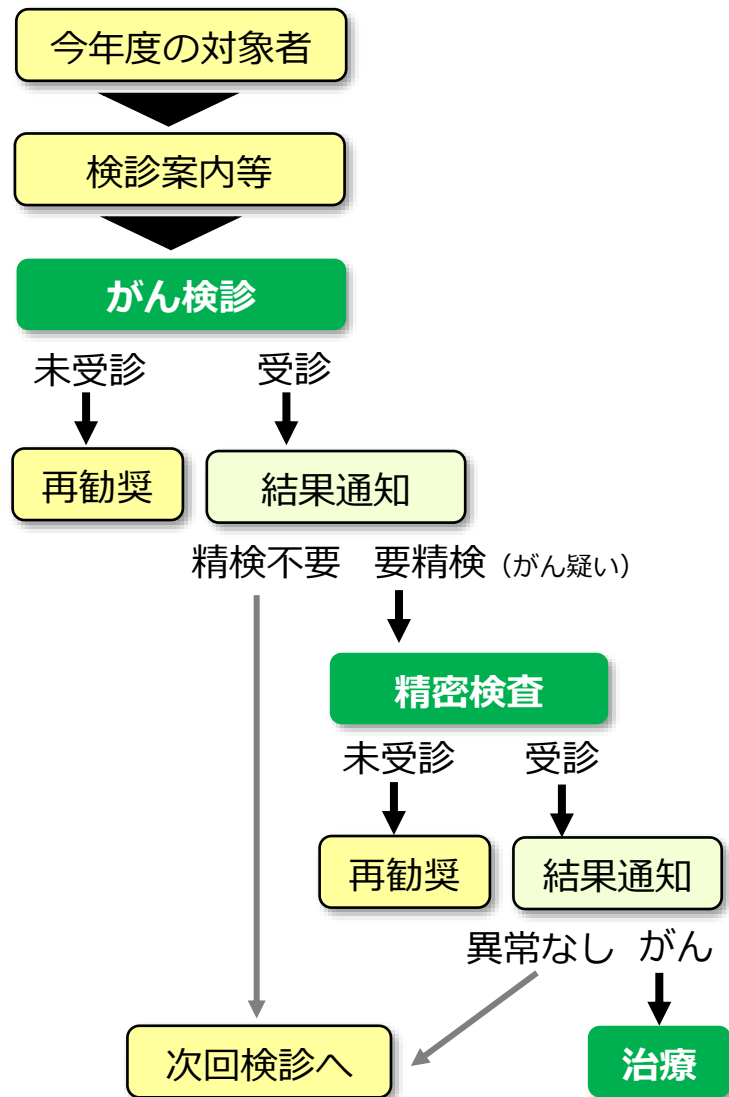
一方で問診が未実施の市町村数については、昨年度の15市町から6市町に減少した。

引き続き、国が定める基準で実施するよう指導を行う。

- 1 概要調査結果（指針に基づく実施状況）
-  2 チェックリスト遵守状況調査結果
- 3 プロセス指標（要精検率、がん発見率など）
- 4 アウトカム指標（がん罹患、死亡数）

チェックリスト遵守状況調査 (技術・体制指標)

がん検診の流れ



一連の流れ

技術・体制指標

- ・国が作成 (全国一律)
- ・推奨する最低限の検診体制を実施しているか

②チェックリスト遵守状況調査

市町村用

事業評価のためのチェックリスト

集団検診用

個別検診用

実施体制の評価

対象となる調査年度

資料にある値は、その値を取得できる時期、対象者によって、それぞれ異なります。

出典（調査実施主体）	調査対象			調査内容		調査年度				
	市町村	職域	任意			R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025
概要調査 （指針に基づく検診実施状況）	○			検診実施 体制など	宮城県	○	○	○	○	○
					全 国	○	○	○	○	
チェックリスト遵守状況調査 （厚労省）	○			遵守状況	宮城県	○	○	○	○	△
					全 国	○	○	○	○	
地域保健・健康増進事業報告 （厚労省）	○			検診受診率	宮城県	○	○	○	△	
					全 国	○	○	△		
	○			精検受診率	宮城県	○	○	△		
					全 国	○				



実測値（全数調査）

市町村が実施している検診のみ
（職域検診、人間ドック等は含まない）

➡ 全国比較できる年度データを使用（令和 6 年度）

△：本年度（令和 7 年度）の状況は、現在、市町村で入力中

チェックリストの項目

市区町村用

がん検診のためのチェックリスト 集団検診・個別検診 (全がん共通、一部異なる項目あり)

項目	項目数
1. 検診対象者の情報管理	4
2. 受診者の情報管理	2
3. 対象者への説明、及び要精検者への説明	3
4. 精密検査結果の把握、精密検査未受診者の特定と受診勧奨	6
5. 地域保健・健康増進事業報告	5
6. 検診機関（医療機関）の質の担保	7
7. 受診率(受診者数)の集計	4
8. 【肺がん】肺がん検診受診者中の高危険群割合ほか（肺がんのみ）	(4)
9. 要精検率の集計	4
10. 精検受診率・精検未受診率の集計	5
11. がん発見率の集計	4
12. 陽性反応適中度の集計	4
13. 早期がん割合（肺がん：臨床病期 0～I 期の割合）の集計	4
14. 【胃がん、大腸がん、乳がん】 粘膜内がん、非浸潤がんの集計	(1)
15. 【子宮頸がん】 上皮内病変（CIN・AISなど）数の区分毎の集計、進行度がIA期のがん割合の集計	(8)

(チェックリスト項目数 計52～65問)

チェックリスト内容

令和6年度市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査

調査1	検診実施体制整備に関する調査(令和6年度実施体制)②
<p>【回答方法】</p> <p>■ 令和6年度の検診実施体制について、下記の基準にそってご回答ください。</p> <p>別ワークシート『調査1①』の質問1で「未実施」を選択した検診については回答入力は不要です。</p> <p>○:今年度は既に実施済みである</p> <p>×:今年度は実施しない</p> <p>△:今年度に実施する予定だが、現時点(回答入力時)ではまだ実施していない</p> <p>実際に実施したものに○と回答してください。また、実施予定があってもまだ実施していないものについては実施後に回答してください。調査期間中にはまだ実施しない項目については「△(実施予定)」と回答してください。</p> <p>【回答前にお読みください】</p> <p>■ 貴自治体が単独で把握できない項目については、外部機関(委託先検診機関、医師会、都道府県、都道府県生活習慣病検診等管理指導協議会等)に確認して回答してください。</p> <p>■ 本調査での「検診機関」とは、実際に検診を行う個々の検診機関(医療機関)を指します(例.○○クリニック、○○病院など)。</p> <p>・検診機関(医療機関)に関する質問では、すべての検診機関(医療機関)で実施できている場合に○と回答してください。</p> <p>・医師会等が地域の体制を完全に統一している場合は医師会等を1医療機関とみなし、医師会等に確認して回答してください。</p> <p>ただし、医療機関によっては医師会の方針に準じていない場合も考えられますので、医師会への確認だけでなく、別途検診機関チェックリスト調査を行い、直接個々の医療機関の体制を把握することが重要です。</p>	

問1. 検診対象者の情報管理

- ・貴自治体以外が実施している場合は、その内容を確認して回答してください。
- ・検診を複数の施設に委託している場合は、すべての施設で行われている場合のみ○と回答してください。

【問1-1】 対象者全員の氏名を記載した名簿を、住民台帳などに基づいて作成しましたか

胃がん検診 (エックス線検査)		胃がん検診 (内視鏡検査)		大腸がん検診		肺がん検診		乳がん検診		子宮頸がん検診	
集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
				○	○						

下記①②③のいずれかに該当する場合のみ○です。

それ以外(例えば、貴自治体で設定する対象者のうち、前年度受診者や希望者のみを名簿化している場合など)はすべて×と回答してください。

- ① 住民基本台帳に基づいた当該年度の対象者名簿(電子ファイルや紙)を作成している
- ② 住民基本台帳に基づいた当該年度の対象者を保健(健康)管理システム等で管理している(抽出が可能である)
- ③ 国民健康保険加入者を全員名簿化している

【問1-2】 対象者全員に、個別に受診勧奨を行いましたか

胃がん検診 (エックス線検査)		胃がん検診 (内視鏡検査)		大腸がん検診		肺がん検診		乳がん検診		子宮頸がん検診	
集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
				○	×						

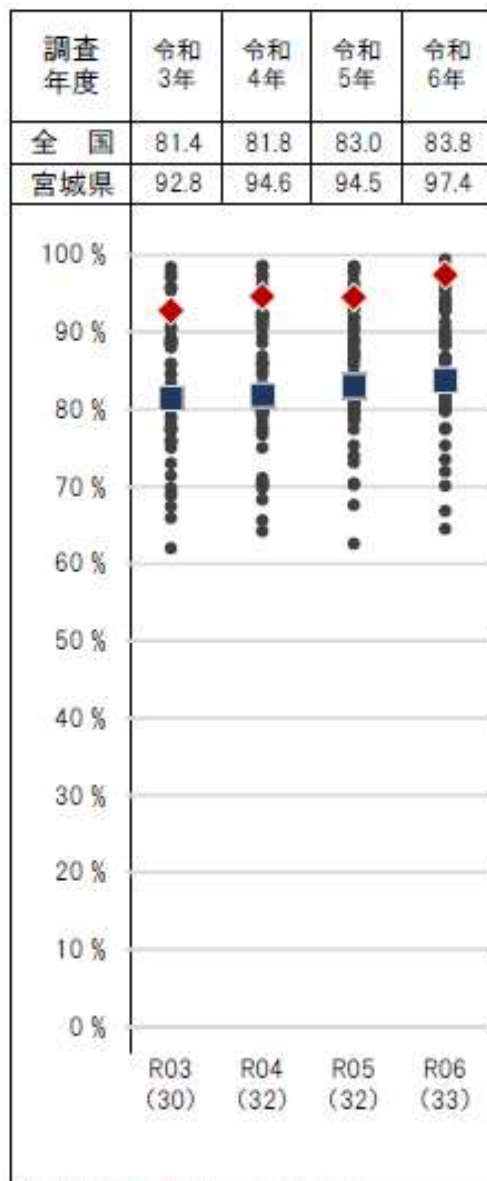
貴自治体で設定する対象者全員に対し、個人毎に手紙・電話・訪問等で、検診の通知(希望調査も可)等の受診勧奨を行っている場合のみ○です。

- ・世帯宛に検診の通知や希望調査等を送付している場合でも、世帯の中の対象者全員の名前が記載されていなければ×です。
- ・対象者のうち例えばクーポン事業対象者など、一部を限定して受診勧奨を行っている場合は×です。
(ただし、高齢者への検診の不利益を考慮し受診勧奨の年齢上限を設定している場合においては、厚労省の受診率算定年齢に基づき年齢上限を69歳とすれば○でかまいません。)
- ・広報、チラシ、ポスター、イベント等による周知は×です。

市町村が回答する
チェックリスト例

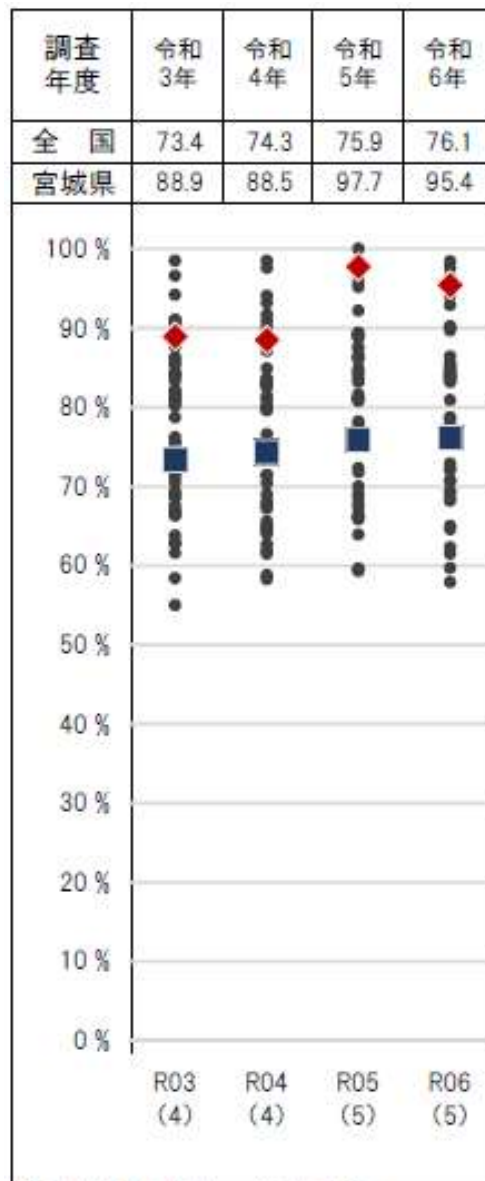
○・×で回答
(オンライン入力)

集団検診



集計対象市町村: () 内記載

個別検診



集計対象市町村: () 内記載

チェックリスト 遵守状況調査

大腸がん：52項目
全項目実施率(%)推移

凡例：

- ◆ 宮城県
- 全国
- その他の都道府県

【チェックリスト実施率の算出方法】

「○」※の合計数／集計対象市区町村数×
質問項目数× 100 (%)

※ 回答は「○（実施した）」「×（実施していない）」「△（実施予定はあるが回答時点でまだ実施していない）」から選択。

当調査結果のチェックリスト実施率には「○」のみ集計し「△」は含みません。未回答は「×」とみなします。

【出典】

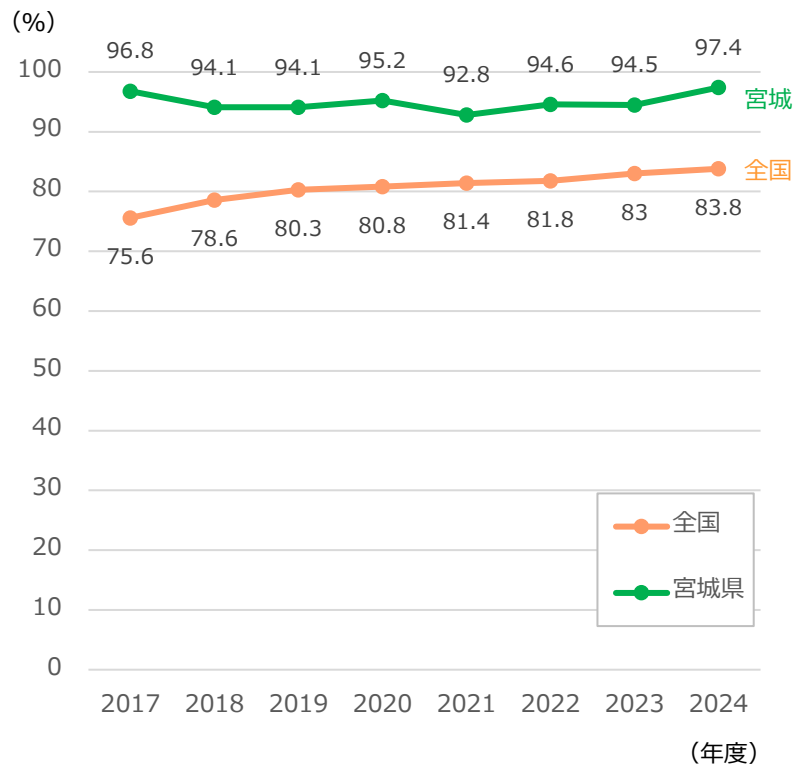
令和6年度「市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」結果報告
（国立がん研究センター がん対策研究所検診研究部 検診実施管理研究室）

チェックリスト遵守率の年次推移（全項目）

大腸がん検診

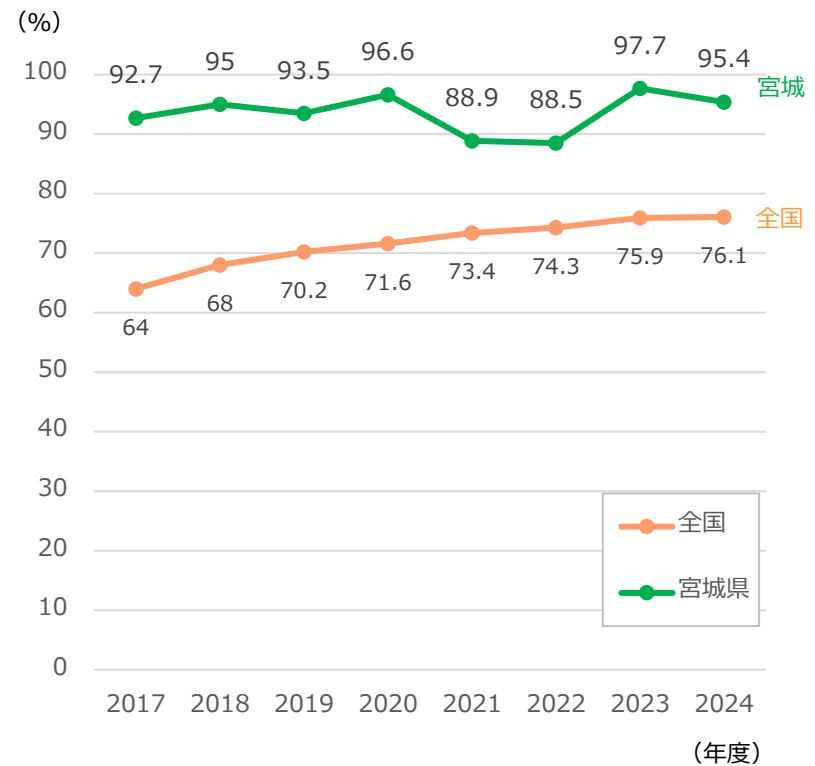
集団検診

チェックリスト遵守率の推移（集団）



個別検診

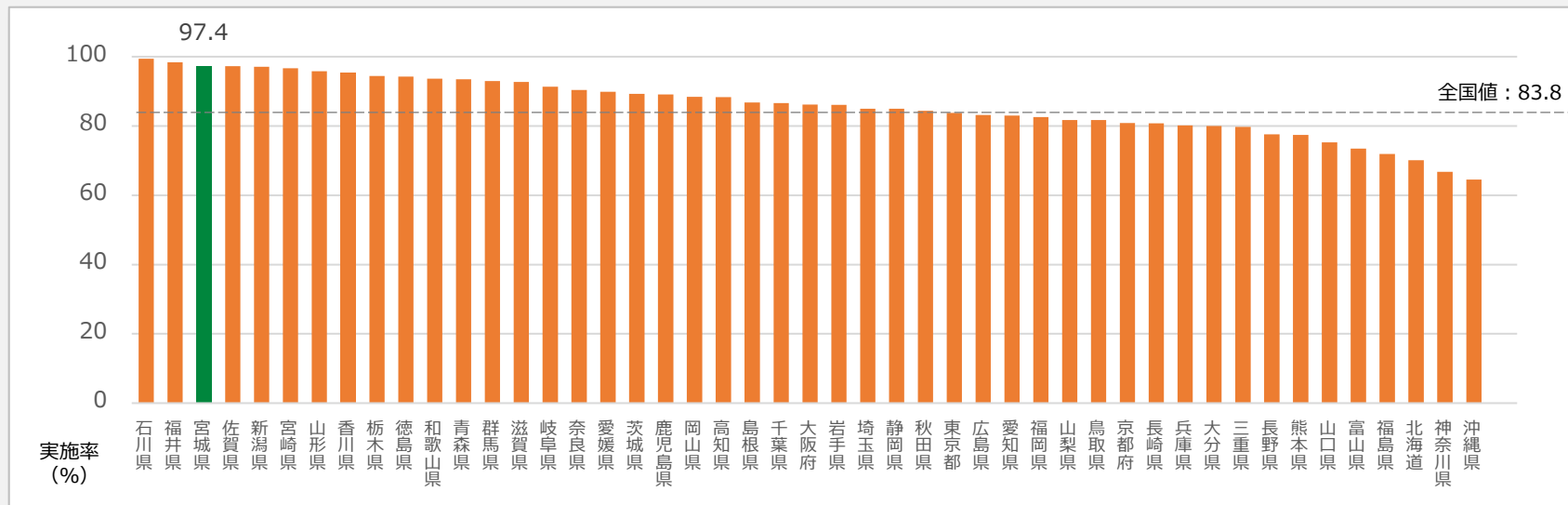
チェックリスト遵守率の推移（個別）



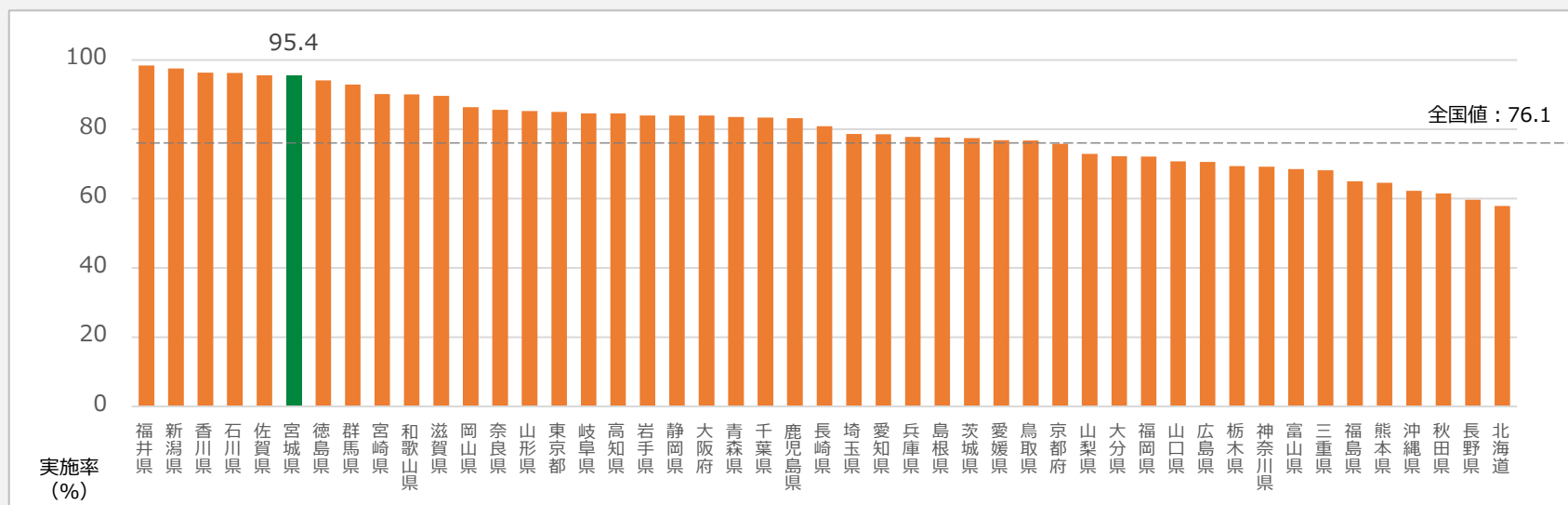
チェックリスト市町村遵守率（全国順位）

大腸がん検診（全国順位）令和6（2024）年度 全項目

集団検診



個別検診



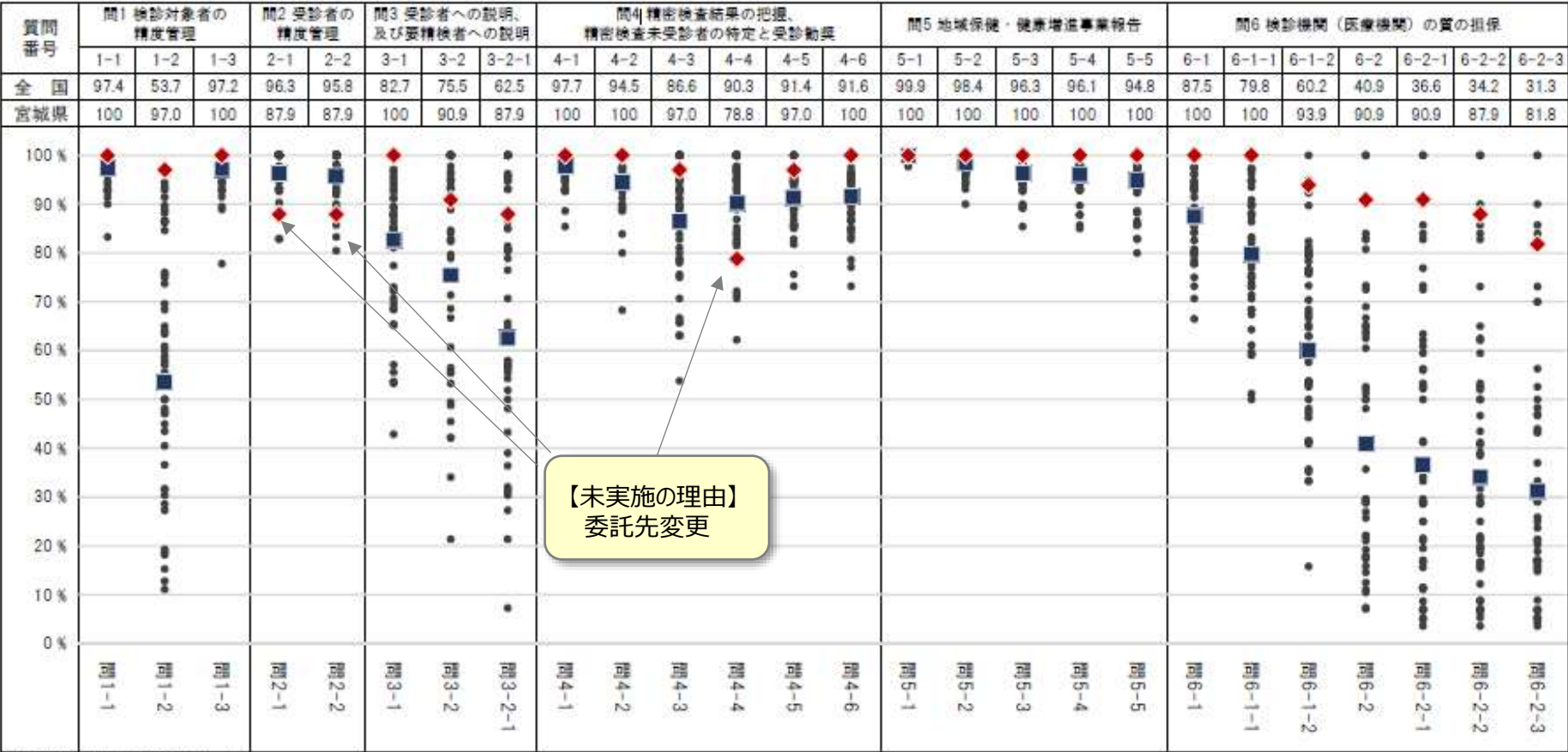
チェックリスト集計結果 (集団①)

集団検診 (令和6 (2024) 年度)

大腸がん (全国比較)

調査1 項目別遵守率(%)

- 凡例：
◆ 宮城県
■ 全国
● その他の都道府県



集計対象市区町村数（調査1）：33

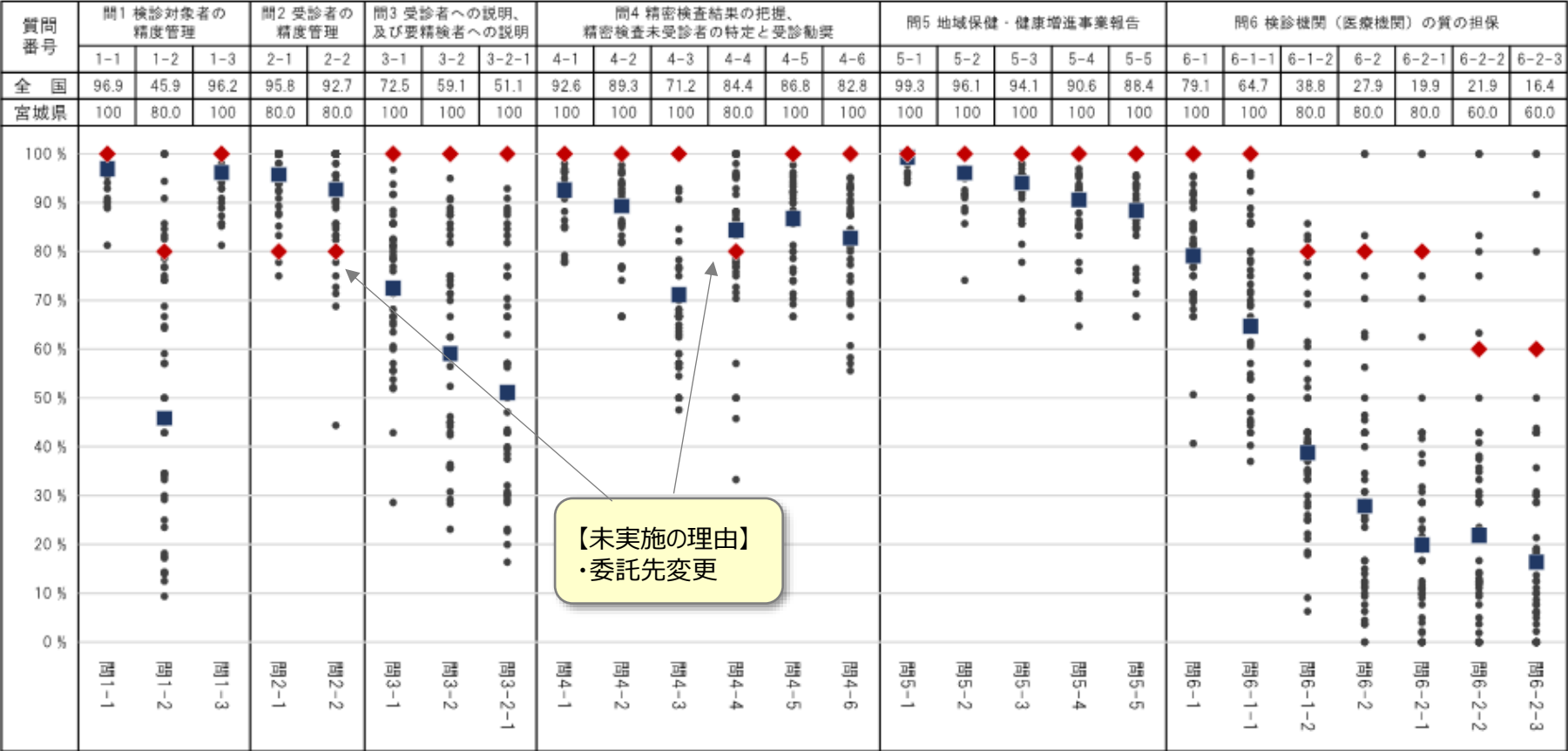
チェックリスト集計結果（個別①）

個別検診（令和6（2024）年度）

大腸がん（全国比較）

調査1 項目別遵守率(%)

- 凡例：
- ◆ 宮城県
 - 全国
 - その他の都道府県



集計対象市区町村数（調査1）：5

チェックリストの内容（①ー１）

【1】 検診対象者	
問 1-1	対象者全員の氏名を記載した名簿を、住民台帳などに基づいて作成したか
問 1-2	対象者全員に、個別に受診勧奨を行ったか
問 1-3	対象者数（推計でも可）を把握したか
【2】 受診者の情報管理	
問 2-1	個人別の受診(記録)台帳またはデータベースを作成したか
問 2-2	過去5年間の受診歴を記録しているか
【3】 受診者への説明、及び要精検者への説明	
問 3-1	受診勧奨時に、「検診機関用チェックリスト 1.受診者への説明」が全項目記載された資料を、全員に個別配布したか
問 3-2	要精検者全員に対し、受診可能な精密検査機関名（医療機関名）の一覧を提示したか
問 3-2-1	上記（3-2）の一覧に掲載したすべての精密検査機関には、あらかじめ精密検査結果の報告を依頼したか
【4】 精密検査結果の把握、精密検査未受診者の特定と受診勧奨	
問 4-1	精密検査方法及び、精密検査（治療）結果を把握したか
問 4-2	精密検査方法及び、精密検査（治療）結果が不明の者については、本人もしくは精密検査機関への照会等により、結果を確認したか
問 4-3	個人毎の精密検査方法及び、精密検査（治療）結果を、市区町村、検診機関（医療機関）、精密検査機関が共有したか
問 4-4	過去5年間の精密検査方法及び、精密検査（治療）結果を記録しているか
問 4-5	精密検査未受診と精密検査結果未把握を定義に従って区別し、精密検査未受診者を特定したか
問 4-6	精密検査未受診者に精密検査の受診勧奨を行ったか

チェックリストの内容（①ー２）

【5】地域保健・健康増進事業報告	
問 5-1	がん検診結果や精密検査結果の最終報告（令和5年度地域保健・健康増進事業報告）を行ったか
問 5-2	がん検診の結果について、地域保健・健康増進事業報告の全項目を計上できるよう、委託先（検診機関（医療機関）、医師会など）に報告を求めたか
問 5-3	がん検診の結果について、委託先からの報告内容が地域保健・健康増進事業報告を網羅できていない場合、改善を求めたか
問 5-4	精密検査結果について、地域保健・健康増進事業報告の全項目を計上できるよう、委託先（検診機関（医療機関）、精密検査機関、医師会など）に報告を求めたか
問 5-5	精密検査結果について、委託先からの報告内容が地域保健・健康増進事業報告を網羅できていない場合、改善を求めたか
【6】検診機関（医療機関）の質の担保	
問 6-1	委託先検診機関（医療機関）を、仕様書の内容に基づいて選定したか
問 6-1-1	仕様書（もしくは実施要綱）の内容は、「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を満たしたか
問 6-1-2	検診終了後に、委託先検診機関（医療機関）で仕様書（もしくは実施要綱）の内容が遵守されたことを確認したか
問 6-2	検診機関（医療機関）に精度管理評価を個別にフィードバックしたか
問 6-2-1	「検診機関用チェックリスト」の遵守状況をフィードバックしたか
問 6-2-2	検診機関（医療機関）毎のプロセス指標値を集計してフィードバックしたか
問 6-2-3	上記の結果をふまえ、課題のある検診機関（医療機関）に改善策をフィードバックしたか

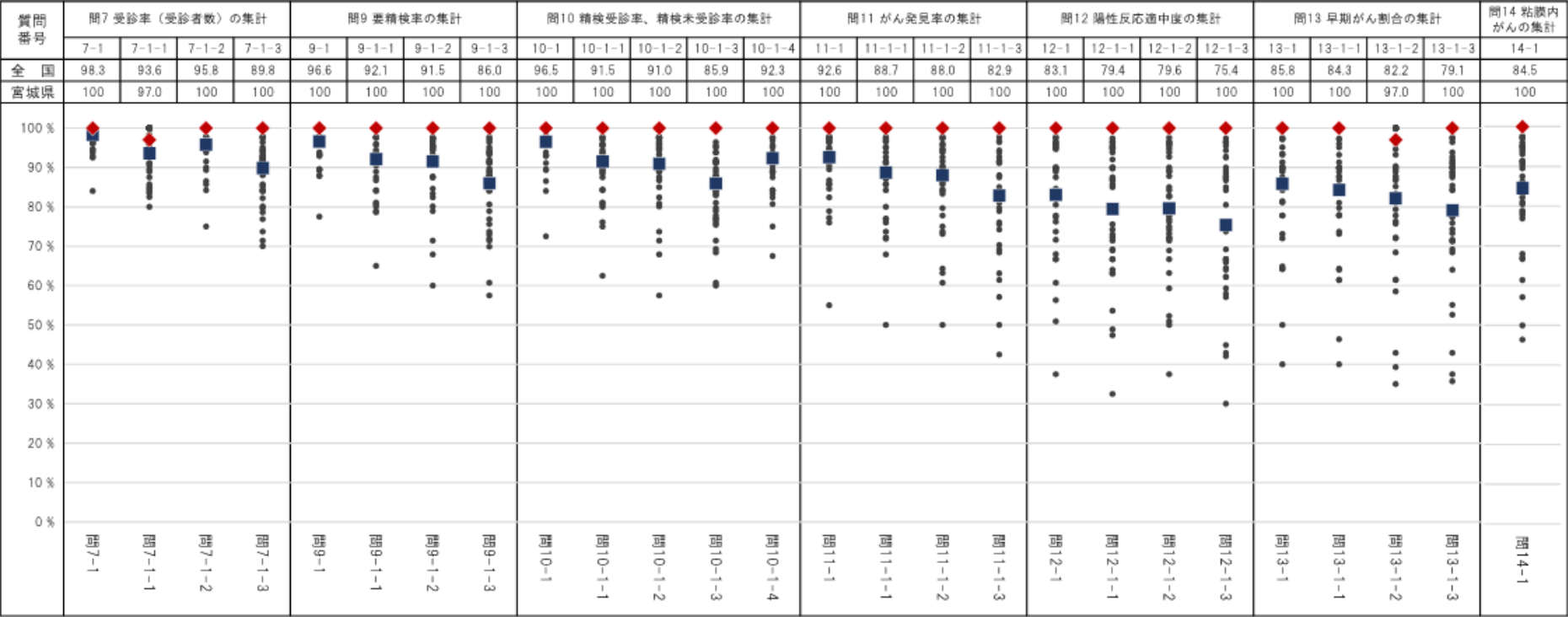
チェックリスト集計結果 (集団②)

集団検診 (令和 6 (2024) 年度)

大腸がん (全国比較)

調査 2 項目別遵守率(%)

- 凡例：
- ◆ 宮城県
 - 全国
 - その他の都道府県



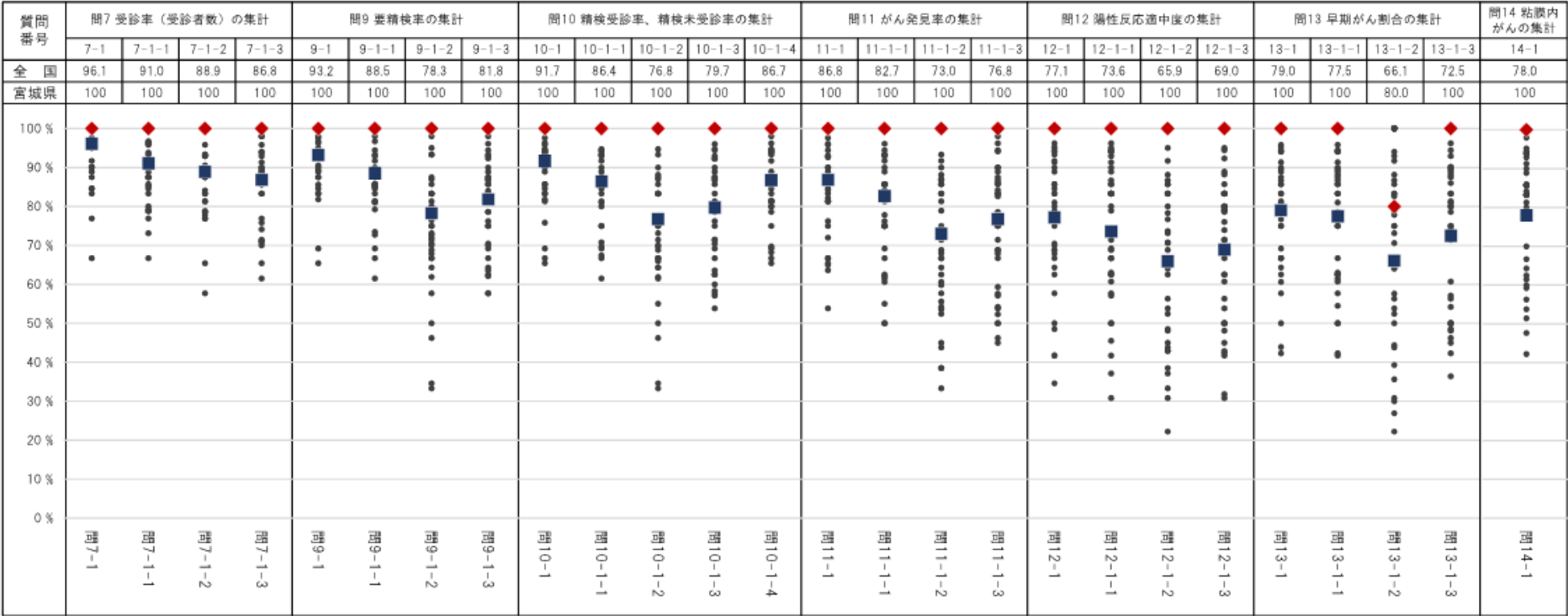
チェックリスト集計結果（個別②）

個別検診（令和6（2024）年度）

大腸がん（全国比較）

調査2 項目別遵守率(%)

- 凡例：
- ◆ 宮城県
 - 全国
 - その他の都道府県



集計対象市区町村数（調査2）：5

チェックリストの内容（②ー１）

【7】 受診率（受診者数）の集計	
問 7-1	受診率を集計したか
問 7-1-1	受診率を性別・年齢5歳階級別に集計したか
問 7-1-2	受診者数を検診機関別に集計したか
問 7-1-3	受診者数を検診受診歴別に集計したか
【9】 要精検率の集計	
問 9-1	要精検率を集計したか
問 9-1-1	要精検率を性別・年齢5歳階級別に集計したか
問 9-1-2	要精検率を検診機関別に集計したか
問 9-1-3	要精検率を検診受診歴別に集計したか
【問10】 精検受診率・未受診率の集計	
問 10-1	精検受診率を集計したか
問 10-1-1	精検受診率を性別・年齢5歳階級別に集計したか
問 10-1-2	精検受診率を検診機関別に集計したか
問 10-1-3	精検受診率を検診受診歴別に集計したか
問 10-1-4	精検未受診率を集計したか

チェックリストの内容（②ー２）

【11】 がん発見率の集計	
問 11-1	がん発見率を集計したか
問 11-1-1	がん発見率を性別・年齢5歳階級別に集計したか
問 11-1-2	がん発見率を検診機関別に集計したか
問 11-1-3	がん発見率を検診受診歴別に集計したか
【12】 陽性反応適中度の集計	
問 12-1	陽性反応適中度を集計したか
問 12-1-1	陽性反応適中度を性別・年齢5歳階級別に集計したか
問 12-1-2	陽性反応適中度を検診機関別に集計したか
問 12-1-3	陽性反応適中度を検診受診歴別に集計したか
【13】 早期がん割合の集計	
問 13-1	早期がん割合を集計したか
問 13-1-1	早期がん割合を性別・年齢5歳階級別に集計したか
問 13-1-2	早期がん割合を検診機関別に集計したか
問 13-1-3	早期がん割合を検診受診歴別に集計したか
【14】 粘膜内がん、非浸潤がんの集計	
問14-1	粘膜内がんを集計したか

市町村チェックリスト集計結果（集団検診その1）

×（未実施）の市町村（問1～問3）

 R5年度は×だったがR6年度○になったもの
 R5年度も×でR6年度×であったもの

大腸がん (集団検診)		調査年度：R6 検査実施年度：R6	白石市	角田市	蔵王町	七ヶ宿町	大河原町	村田町	柴田町	川崎町	丸森町	塩竈市	名取市	多賀城市	岩沼市	富谷市	亘理町	山元町	松島町	七ヶ浜町	利府町	大和町	大郷町	大衡村	大崎市	色麻町	加美町	涌谷町	美里町	栗原市	登米市	石巻市	東松島市	女川町	気仙沼市	南三陸町	仙台市		
問1. 検診対象者の 情報管理	問1-2	対象者全員に、個別に受診勧奨を行いましたか	○	○	○	○	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
	問1-2-1	受診勧奨を行った住民のうち未受診者全員に対し、再度の受診勧奨を個人毎（手紙・電話・訪問等）に行いましたか	×	×	×	○	-	○	-	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	
問2. 受診者の 情報管理	問2-1	個人別の受診（記録）台帳またはデータベースを作成しましたか	○	○	○	○	-	○	-	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
	問2-2	過去5年間の受診歴を記録していますか	○	○	○	○	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
問3. 受診者への説明、及び要精検者への説明	問3-2	要精検者全員に対し、受診可能な精密検査機関名（医療機関名）の一覧を提示しましたか	○	○	×	○	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	問3-2-1	上記【問3-2】の一覧に掲載したすべての精密検査機関には、あらかじめ精密検査結果の報告を依頼しましたか	○	○	×	○	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○

×のあった市町村がある問のみ抜粋（その他の問は、全市町村すべて○）

市町村チェックリスト集計結果（集団検診その2）

×（未実施）の市町村（問4～問6-2-1）

R5年度は×だったがR6年度○になったもの
R5年度も×でR6年度×であったもの

大腸がん (集団検診)		調査年度：R6 検査実施年度：R6	白石市	角田市	蔵王町	七ヶ宿町	大河原町	村田町	柴田町	川崎町	丸森町	塩竈市	名取市	多賀城市	岩沼市	富谷市	亘理町	山元町	松島町	七ヶ浜町	利府町	大和町	大郷町	大衡村	大崎市	色麻町	加美町	涌谷町	美里町	栗原市	登米市	石巻市	東松島市	女川町	気仙沼市	南三陸町	仙台市	
問4. 精密検査結果の把握、精密検査未受診者の特定と受診勧奨	問4-3	個人毎の精密検査方法及び、精密検査（治療）結果を、市区町村、検診機関（医療機関）、精密検査機関が共有しましたか	○	○	○	○	-	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	問4-4	過去5年間の精密検査方法及び、精密検査（治療）結果を記録していますか	○	×	○	○	-	○	-	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
	問4-5	精密検査未受診と精密検査結果未把握を定義に従って区別し、精密検査未受診者を特定しましたか	○	○	○	○	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
問6. 検診機関（医療機関）の質の担保	問6-1-2	検診終了後に、委託先検診機関（医療機関）で仕様書（もしくは実施要綱）の内容が遵守されたことを確認しましたか	○	○	○	○	-	○	-	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	問6-2	検診機関（医療機関）に精度管理評価を個別にフィードバックしましたか	○	○	×	○	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	問6-2-1	「検診機関用チェックリスト」の遵守状況をフィードバックしましたか	○	○	×	○	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

×のあった市町村がある問のみ抜粋（その他の問は、全市町村すべて○）

市町村チェックリスト集計結果（集団検診その3）

×（未実施）の市町村（問6-2-2～問13）

☐ R5年度は×だったがR6年度○になったもの
☐ R5年度も×でR6年度×であったもの

大腸がん （集団検診）		調査年度：R6 検査実施年度：R6	白石市	角田市	蔵王町	七ヶ宿町	大河原町	村田町	柴田町	川崎町	丸森町	塩竈市	名取市	多賀城市	岩沼市	富谷市	亘理町	山元町	松島町	七ヶ浜町	利府町	大和町	大郷町	大衡村	大崎市	色麻町	加美町	涌谷町	美里町	栗原市	登米市	石巻市	東松島市	女川町	気仙沼市	南三陸町	仙台市
問6. 検診機 関（医 療機 関）の 質の担 保	問6-2-2	検診機関（医療機関）毎の プロセス指標値を集計して フィードバックしましたか	○	○	×	○	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
	問6-2-3	上記の結果をふまえ、課題 のある検診機関（医療機 関）に改善策をフィード バックしましたか	○	○	×	○	-	○	-	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
問13. 早期が ん割合 の集計	問13-1- 2	検診機関別の集計	○	○	○	○	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○

×のあった市町村がある問のみ抜粋（その他の問は、全市町村すべて○）

市町村チェックリスト集計結果（個別検診）

×（未実施）の市町村（問1～問13-1-2）

R5年度は×だったがR6年度○になったもの
R5年度も×でR6年度×であったもの

大腸がん (集団検診)		調査年度：R6 検査実施年度：R6	白石市	角田市	蔵王町	七ヶ宿町	大河原町	村田町	柴田町	川崎町	丸森町	塩竈市	名取市	多賀城市	岩沼市	富谷市	亘理町	山元町	松島町	七ヶ浜町	利府町	大和町	大郷町	大衡村	大崎市	色麻町	加美町	涌谷町	美里町	栗原市	登米市	石巻市	東松島市	女川町	気仙沼市	南三陸町	仙台市
問1. 検診対象者の情報管理	問1-2	対象者全員に、個別に受診勧奨を行いましたか	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	×	-	-	-
	問1-2-1	受診勧奨を行った住民のうち未受診者全員に対し、再度の受診勧奨を個人毎（手紙・電話・訪問等）に行いましたか	-	-	-	-	×	-	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	×	-	○	-	×	-	-	-
問6. 検診機関（医療機関）の質の担保	問6-2-2	検診機関（医療機関）毎のプロセス指標値を集計してフィードバックしましたか	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	×	-	-	-
	問6-2-3	上記の結果をふまえ、課題のある検診機関（医療機関）に改善策をフィードバックしましたか	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	×	-	-	-
問13. 早期がん割合の集計	問13-1-2	検診機関別の集計	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	×	-	-	-


×のあった市町村がある問のみ抜粋（その他の問は、全市町村すべて○）

チェックリスト遵守状況調査結果のまとめ

ほぼすべての項目において、全国より遵守率が高いが、一部、全国より低い項目があるため、引き続き改善が必要。

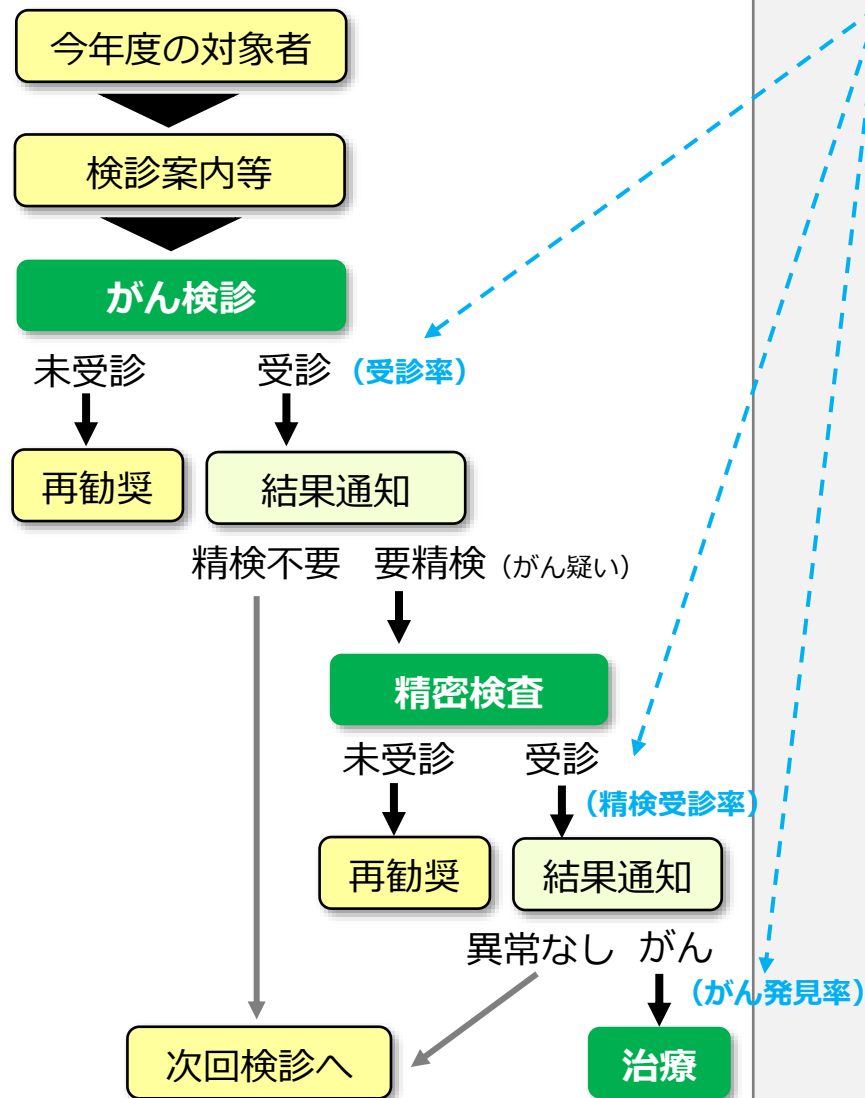
→ 令和5年度から改善された市町村は多いが、改善されていない市町村については、項目ごとに、市町村個別に指導することを検討。

(余 白)

- 1 概要調査結果（指針に基づく実施状況）
- 2 チェックリスト遵守状況調査結果
-  3 プロセス指標（要精検率、がん発見率など）
- 4 アウトカム指標（がん罹患、死亡数）

プロセス指標（精密検査結果）

がん検診の流れ



プロセス指標

がん検診精密検査者数・受診率

事業評価指標

都道府県ごとに評価

受診率
精検受診率
精検未把握率
精検未受診率
要精検率
がん発見率
陽性反応適中度

各プロセスが適切に行われているかを評価する指標

各がんの推奨年齢から**74歳まで**の結果
(職域検診や人間ドックなどは含まれない)

対象となる調査年度

資料にある値は、その値を取得できる時期、対象者によって、それぞれ異なります。

出典（調査実施主体）	調査対象			調査内容		調査年度				
	市町村	職域	任意			R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025
概要調査 （指針に基づく検診実施状況）	○			検診実施体制など	宮城県	○	○	○	○	○
					全 国	○	○	○	○	
チェックリスト遵守状況調査 （厚労省）	○			遵守状況	宮城県	○	○	○	○	△
					全 国	○	○	○	○	
地域保健・健康増進事業報告 （厚労省）	○			検診受診率	宮城県	○	○	○	△	
					全 国	○	○	△		
	○			精検受診率	宮城県	○	○	△		
					全 国	○				



実測値（全数調査）

市町村が実施している検診のみ
（職域検診、人間ドック等は含まない）

➡ 全国比較できる年度データを使用（令和3（2021）年度）

△：令和5年度の結果は、現在、市町村で入力中（R4年度の全国値は現時点で非公表）

プロセス指標（事業評価指標）の意味

プロセス指標	各指標の意味【算出方法】	各指標値の評価
①精検受診率	要精検者が実際に精密検査を受診したか 【 $\text{精検受診者数} / \text{要精検者数} \times 100$ 】	高いことが望ましい(精検受診率が100%近くなければ、がん発見率を適切に評価できない)
②要精検率	検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているか 【 $\text{要精検者数} / \text{受診者数} \times 100$ 】	対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値、あるいは低値の場合は更に検討が必要
③精検未受診率	要精検者が実際に精密検査を受診したか 【 $\text{未受診者数} / \text{要精検者数} \times 100$ 】	低いことが望ましい
④精検未把握率	精検受診の有無や精検結果が、適切に把握されたか 【 $\text{未把握者数} / \text{要精検者数} \times 100$ 】	低いことが望ましい
⑤がん発見率	その検診において、適正な頻度でがんを発見できたか 【 $\text{がんであった者} / \text{受診者数} \times 100$ 】	基本的に高いことが望ましいが、極端に高値、あるいは低値の場合は更に検討が必要
⑥陽性反応適中度	その検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標（検診の精度を測る指標） 【 $\text{がんであった者} / \text{要精検者数} \times 100$ 】	基本的に高いことが望ましいが、極端に高値、あるいは低値の場合は更に検討が必要

出典：がん検診事業のあり方について（厚生労働省：がん検診のあり方に関する検討会（R6.7）の資料より抜粋）

※ 基準値は、がん種毎、年齢別にあり。

プロセス指標の（新）基準値

「がん検診事業のあり方について」（令和5年6月） → プロセス指標の変更 注)

【74歳以下】（男女計）

	胃がん		大腸がん	肺がん		乳がん		子宮頸がん*		
	検診間隔 2年	検診間隔 1年		検診以外の 肺に関する 検査の受診 なし	検診以外の 肺に関する 検査の受診 考慮	すべての受 診者の検診 間隔が2年	連続受診者 がいること を考慮	20～74歳	20～39歳	40～74歳
	①	②		①	②	①	②			
① 精検受診率	90% 以上		90% 以上	90% 以上		90% 以上		90% 以上		
② 要精検率	7.7% 以下	7.6% 以下	6.8% 以下	2.4% 以下	2.3% 以下	6.5% 以下	6.4% 以下	2.5% 以下	4.2% 以下	1.9% 以下
⑤ がん発見率	0.19% 以上	0.11% 以上	0.21% 以上	0.10% 以上	0.05% 以上	0.40% 以上	0.31% 以上	0.15% 以上	0.18% 以上	0.14% 以上
⑥ 陽性反応 適中度	2.5% 以上	1.5% 以上	3.0% 以上	4.1% 以上	2.2% 以上	6.1% 以上	4.8% 以上	5.9% 以上	4.4% 以上	7.3% 以上

*子宮頸がんはCIN3以上の発見率または陽性反応的中度

注) 主な変更点

- ・ 許容値が廃止され、精検受診率の基準値は全がん種90%となり、未把握率、未受診率の基準値は廃止。
- ・ 基準値の対象年齢は、従来の上限74歳に加え、上限69歳の区分が追加。
- ・ 要精検率・がん発見率・陽性反応適中度の基準値が細分化され、性別及び受診歴別に示された。
- ・ 胃がん検診、肺がん検診及び乳がん検診のプロセス指標には、受診者の性質に応じた2種類の基準値が設定。
 - ①の基準値は、がん検診に類する検査・検診を受診する機会が指針どおりのがん検診以外にない検診対象者を想定
 - ②の基準値は、がん検診に類する検査・検診を受診する機会が他にある検診対象者を想定

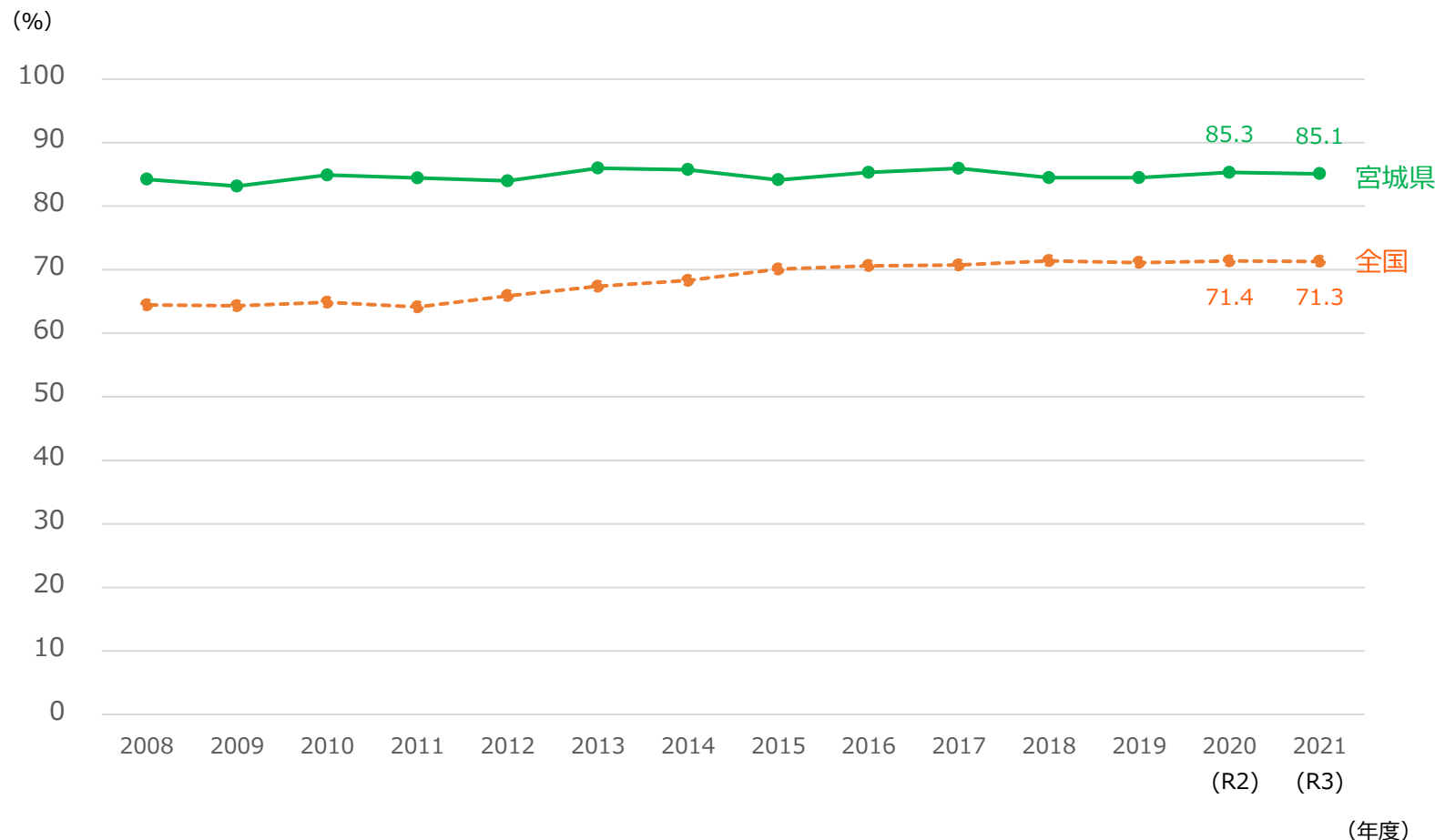
(余 白)

プロセス指標①（精検受診率）経年

要精検者が実際に精密検査を受診したか【精検受診者数／要精検者数×100】

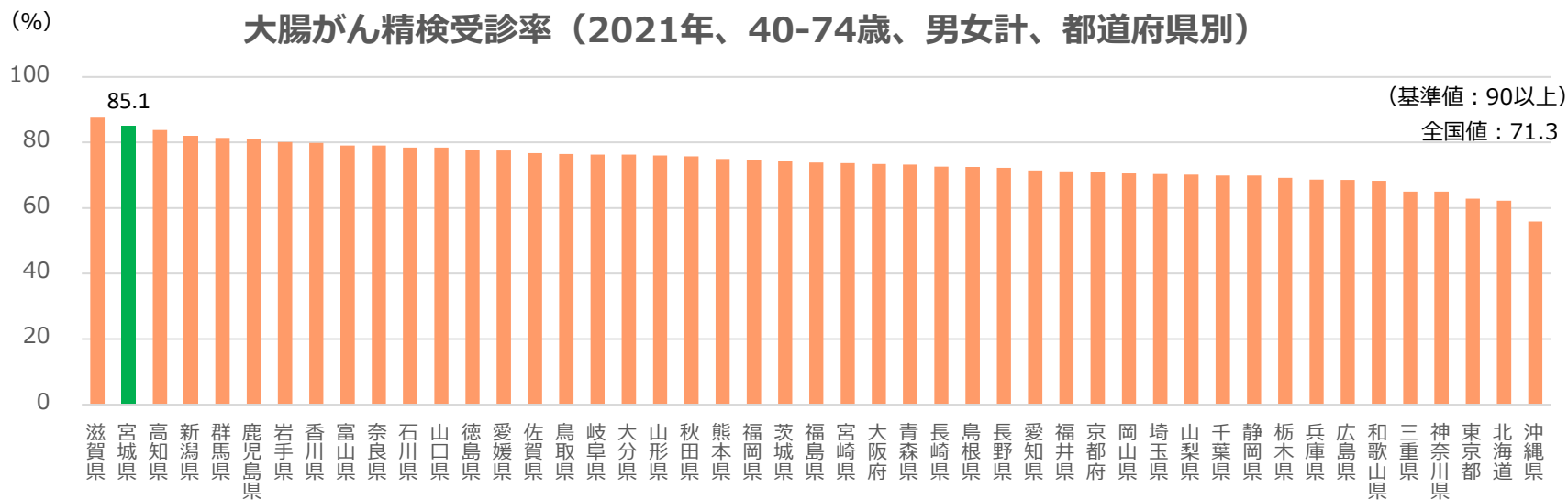
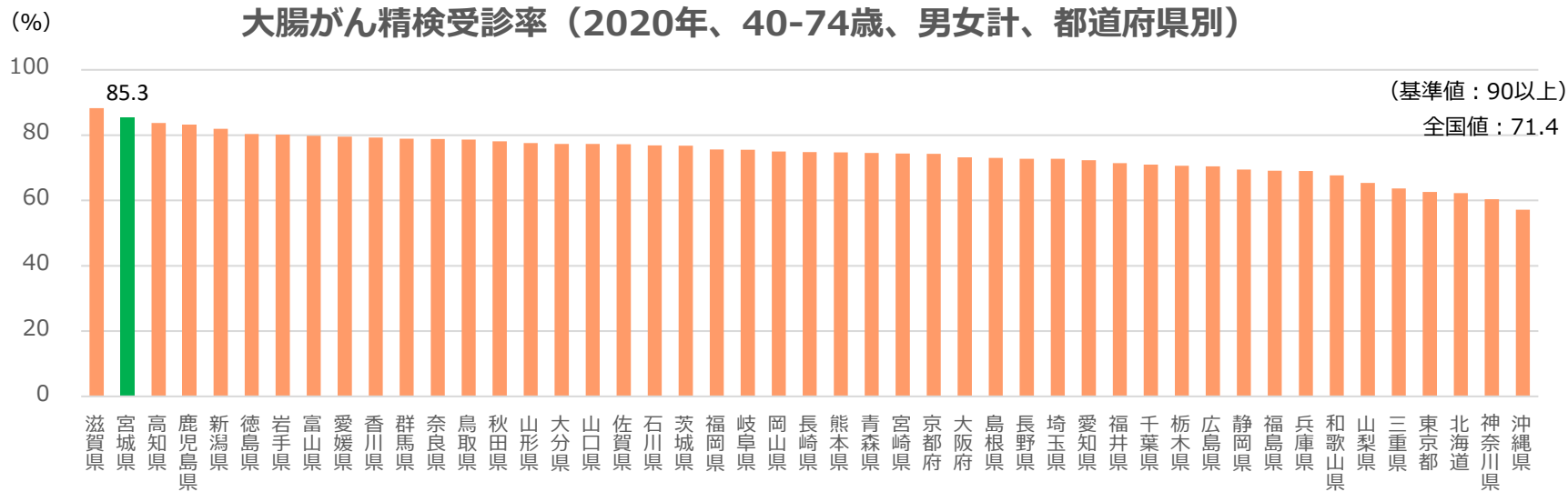
【注意】
市町村実施の
住民検診のみ

大腸がん精検受診率（2008-2021、40-74歳、男女計、全国・宮城県）



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化
対象：市町村が実施する住民検診（40-74歳を抽出）

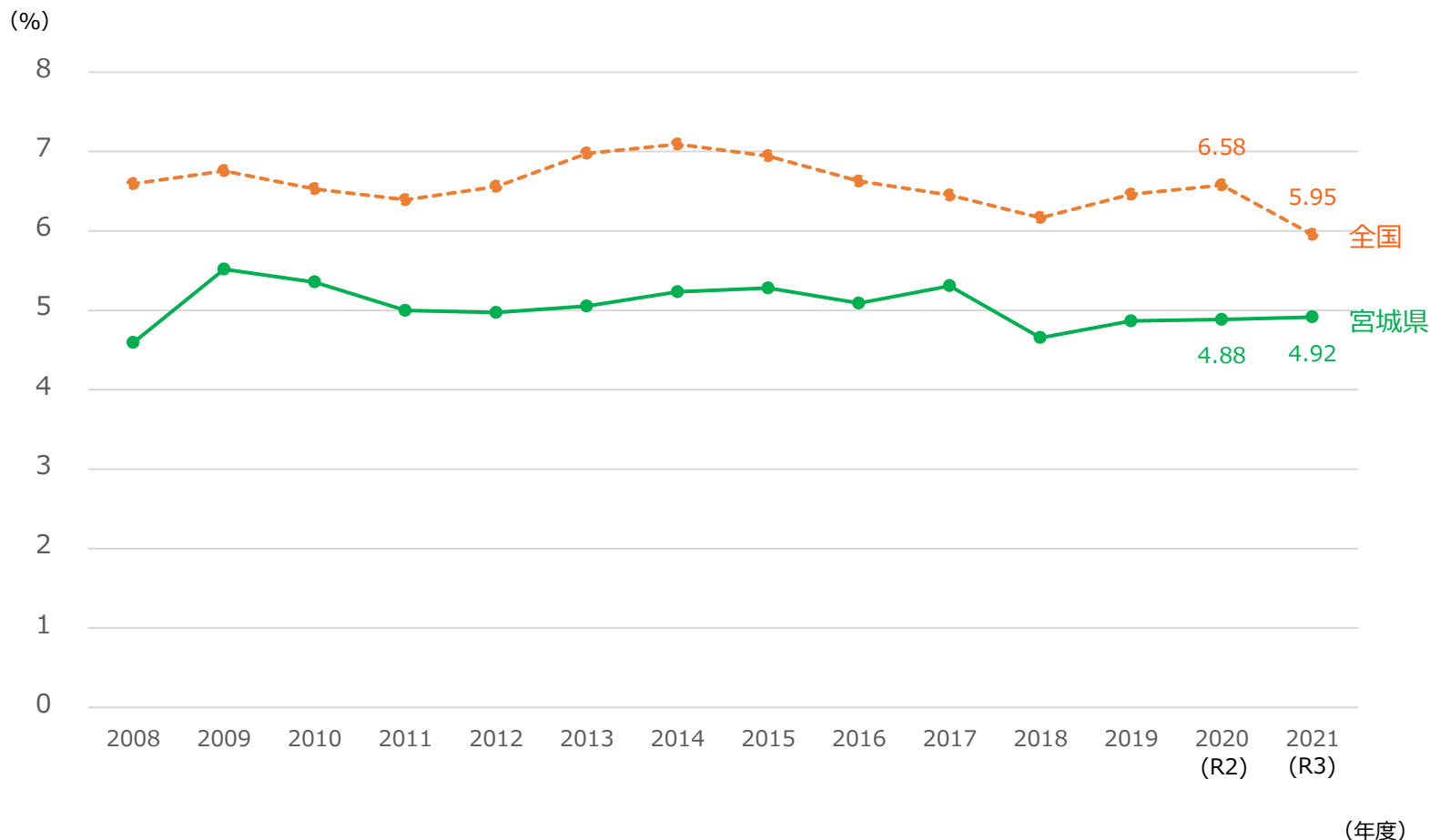
プロセス指標① (精検受診率) 全国順位



プロセス指標②（要精検率）経年

検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているか【要精検者数／受診者数×100】

大腸がん要精検率（2008-2021、40-79歳、男女計、全国・宮城県）

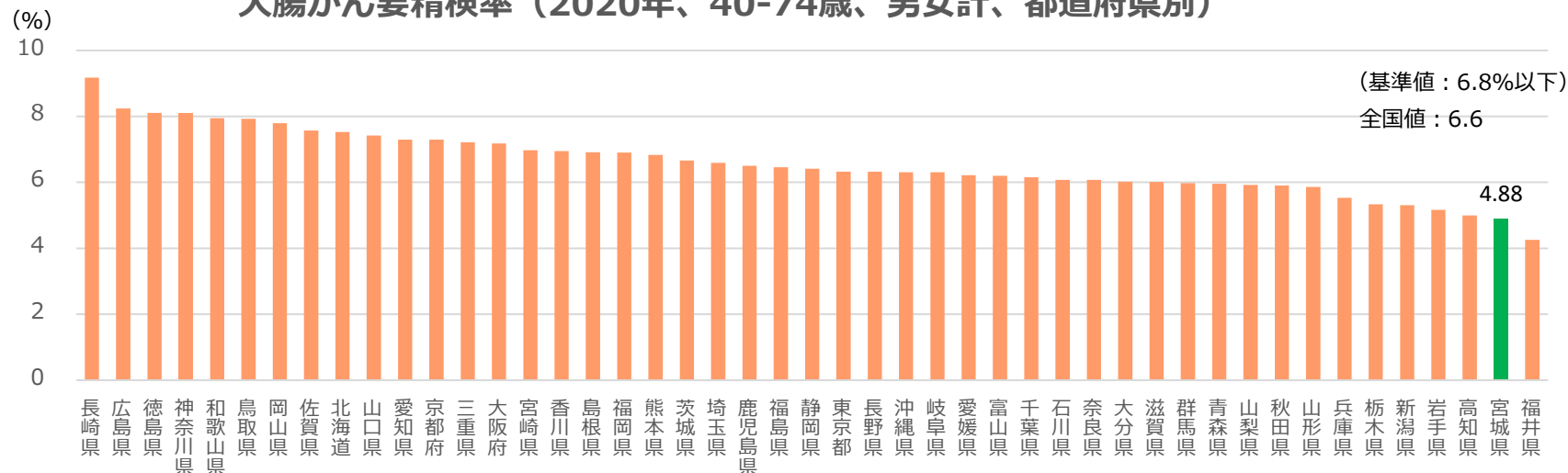


対象集団に応じて適切な範囲があり、
極端な高値、あるいは低値の場合は更に検討が必要

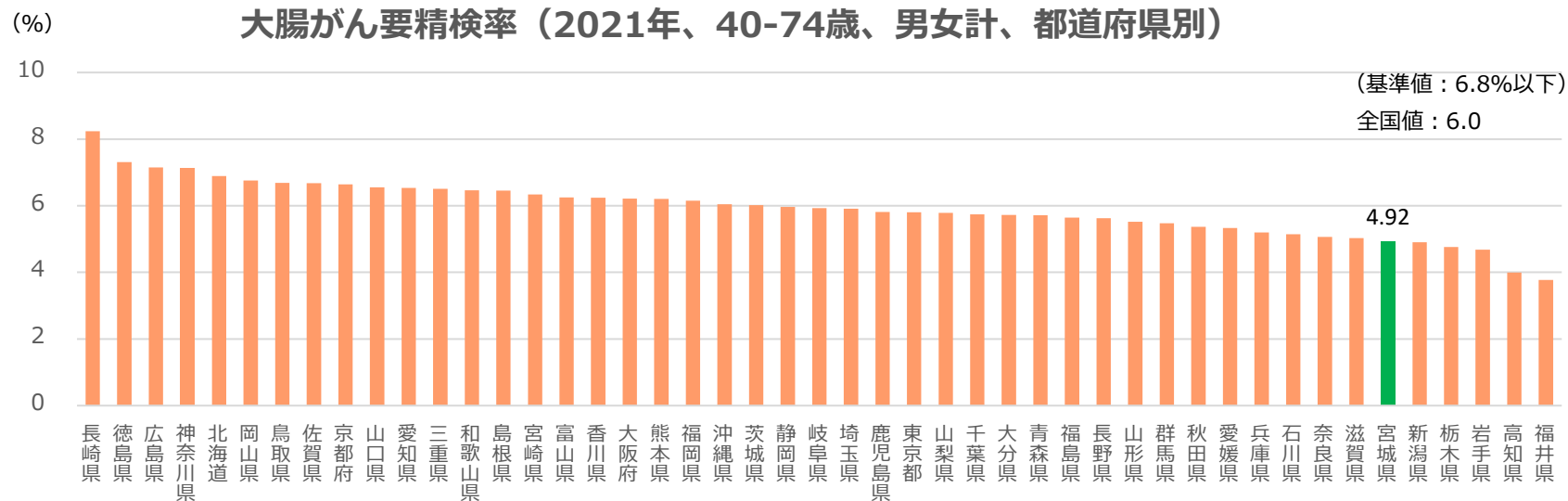
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化
対象：市町村が実施する住民検診（40-74歳を抽出）集団・個別合計

プロセス指標② (要精検率) 全国順位

大腸がん要精検率 (2020年、40-74歳、男女計、都道府県別)



大腸がん要精検率 (2021年、40-74歳、男女計、都道府県別)

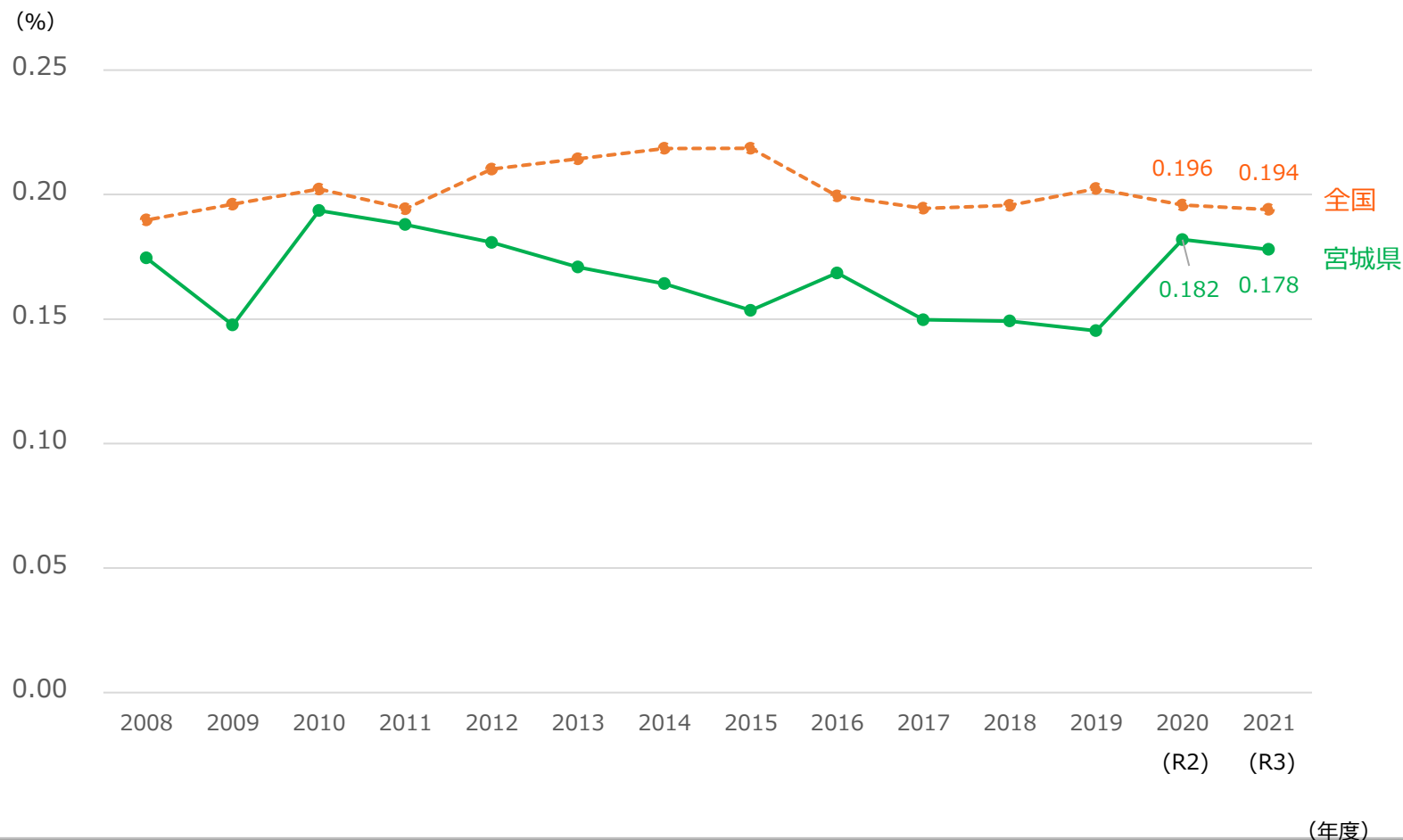


出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化
対象：市町村が実施する住民検診（40-74歳を抽出）集団・個別合計

プロセス指標③ (がん発見率) 経年

その検診において、適正な頻度でがんを発見できたか【がんであった者／受診者数×100】

大腸がん発見率（2008-2021、40-79歳、男女計、全国・宮城県）

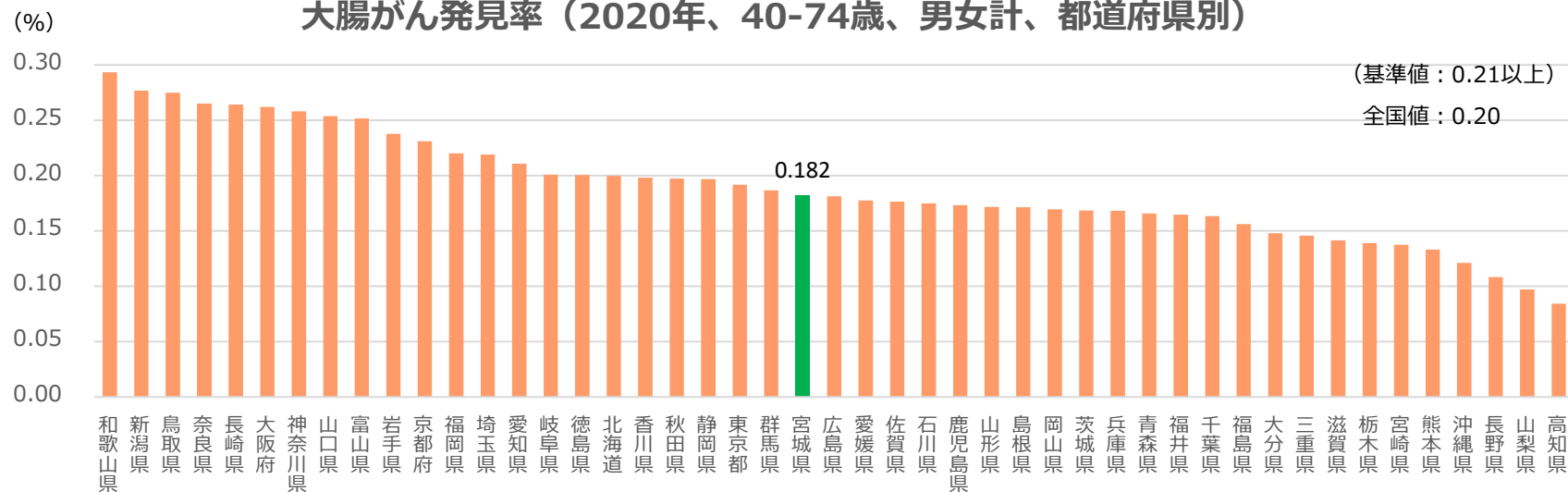


基本的に高いことが望ましいが、
極端に高値、あるいは低値の場合は更に検討が必要

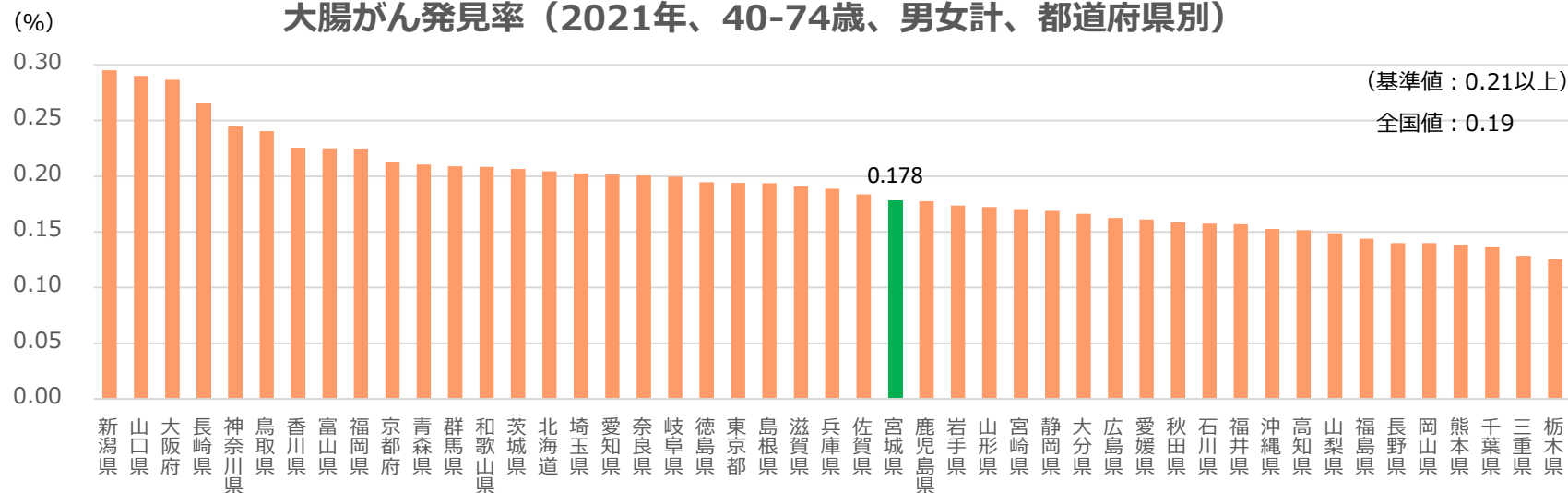
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化
対象：市町村が実施する住民検診（40-74歳を抽出）集団・個別合計

プロセス指標③ (がん発見率) 全国順位

大腸がん発見率 (2020年、40-74歳、男女計、都道府県別)

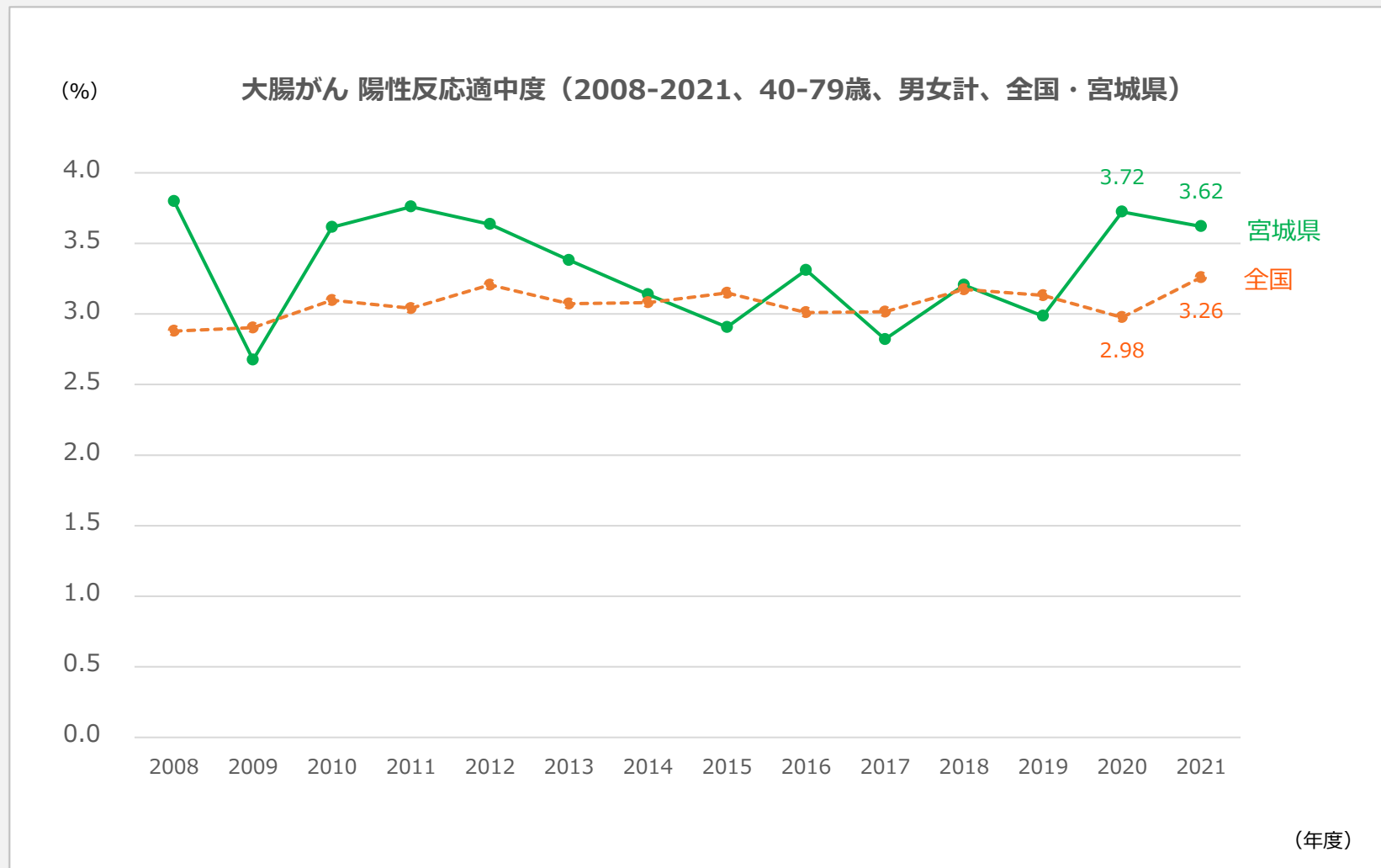


大腸がん発見率 (2021年、40-74歳、男女計、都道府県別)



プロセス指標④（陽性反応適中度） 経年

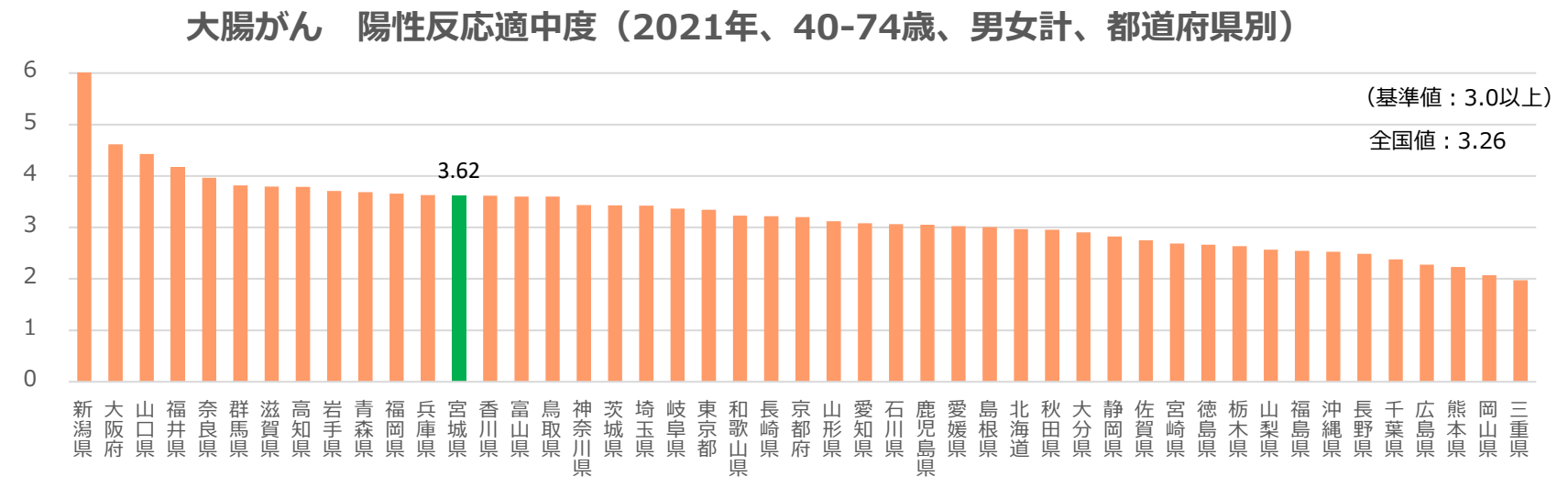
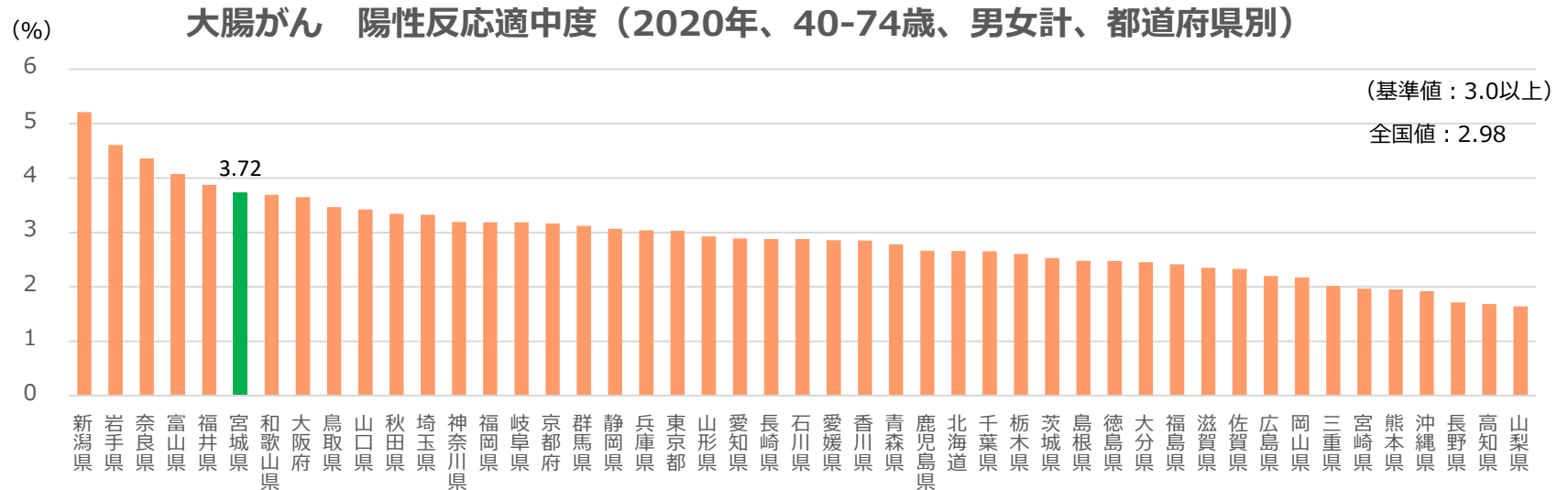
その検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標（検診の精度を測る指標）
【がんであった者／要精検者数×100】



基本的に高いことが望ましいが、
極端に高値、あるいは低値の場合は更に検討が必要

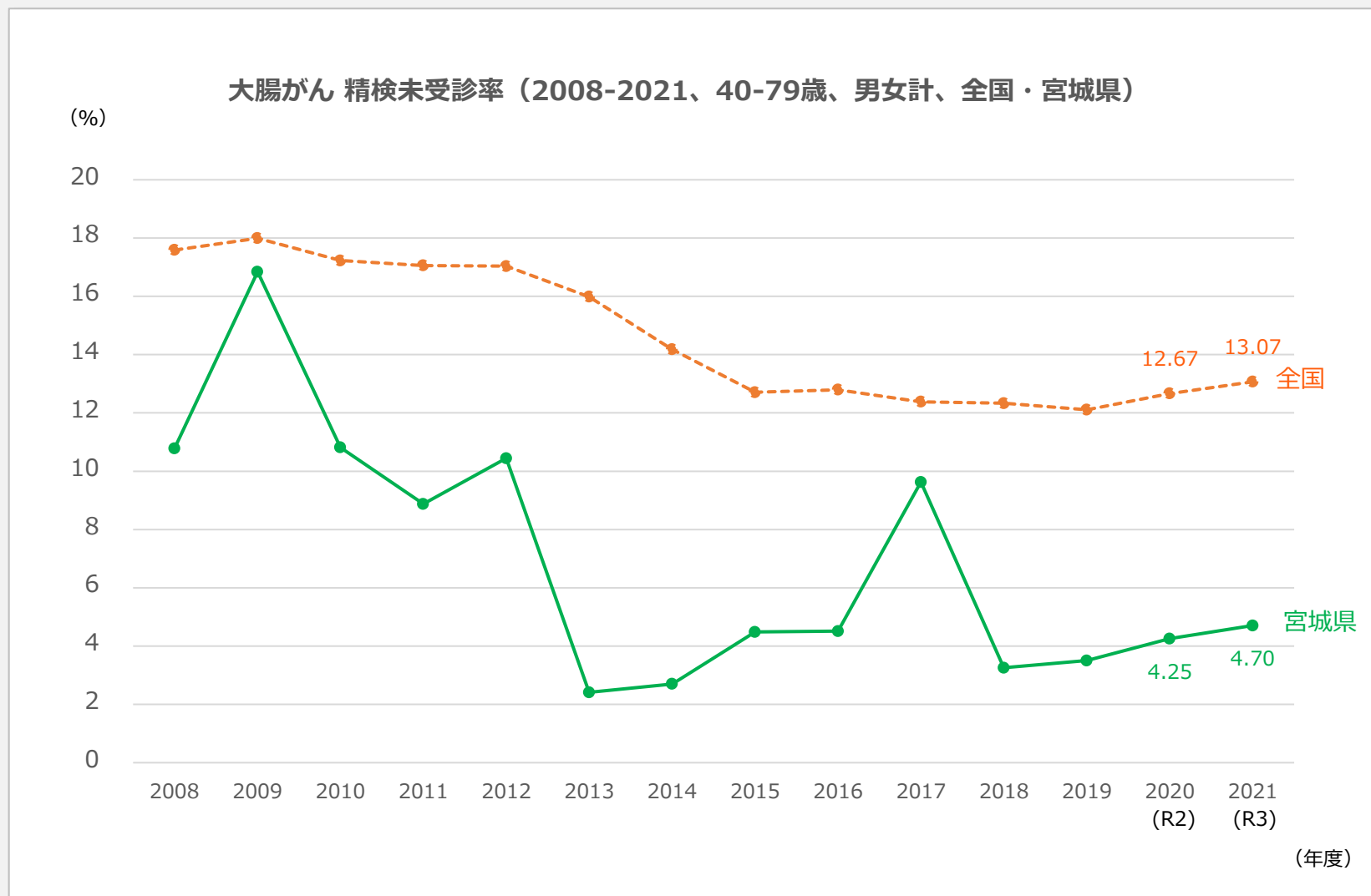
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化
対象：市町村が実施する住民検診（40-74歳を抽出）集団・個別合計

プロセス指標④（陽性反応適中度） 全国順位



プロセス指標⑤（精検未受診率）経年

要精検者が実際に精密検査を受診したか【未受診者数／要精検者数×100】

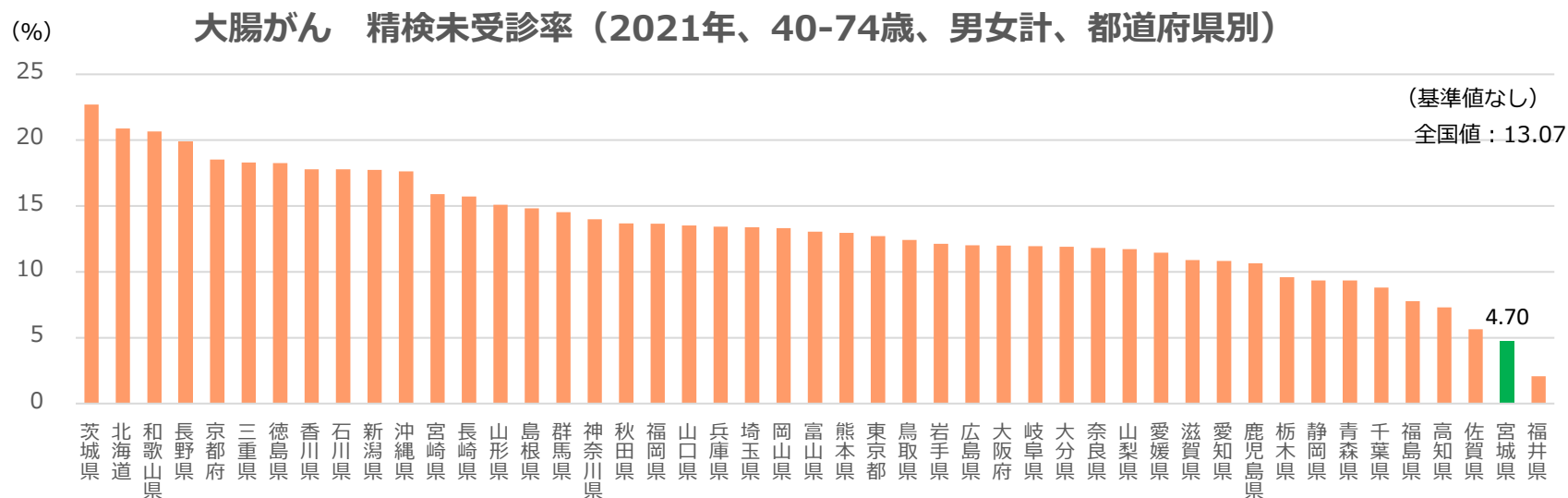
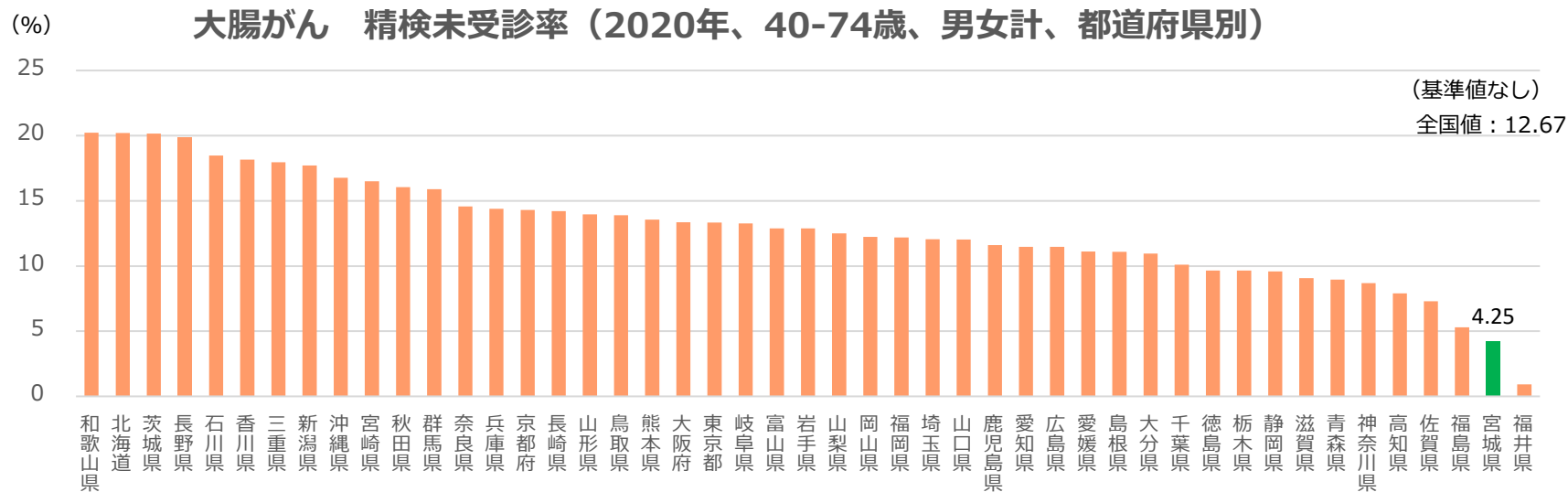


出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化

対象：市町村が実施する住民検診（40-74歳を抽出）集団・個別合計

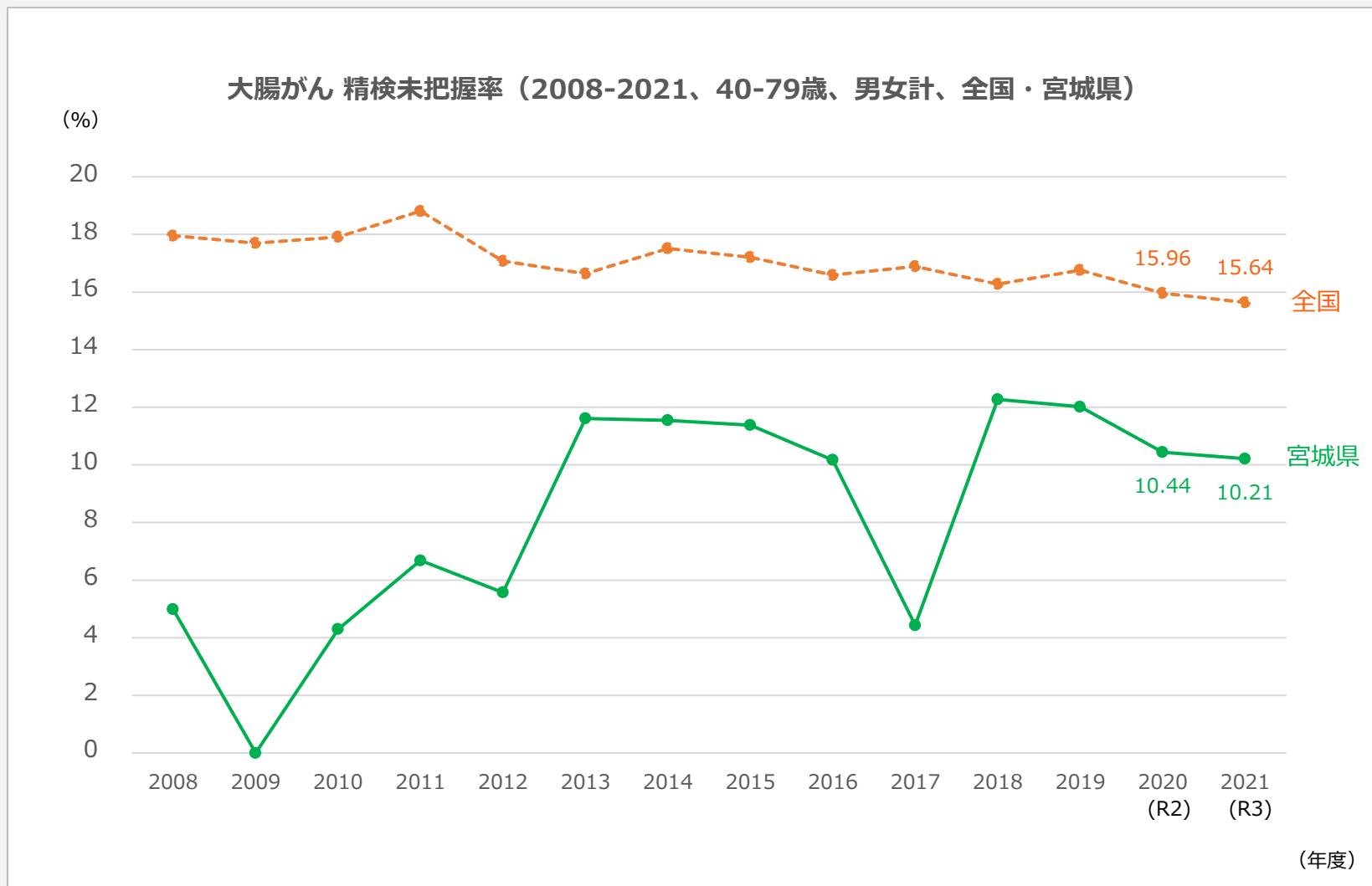
精検未受診：要精検者が精検機関に行かなかったことが判明しているもの（本人自己申告、精検機関で受診の事実が確認されないものなど）

プロセス指標⑤ (精検未受診率) 全国順位



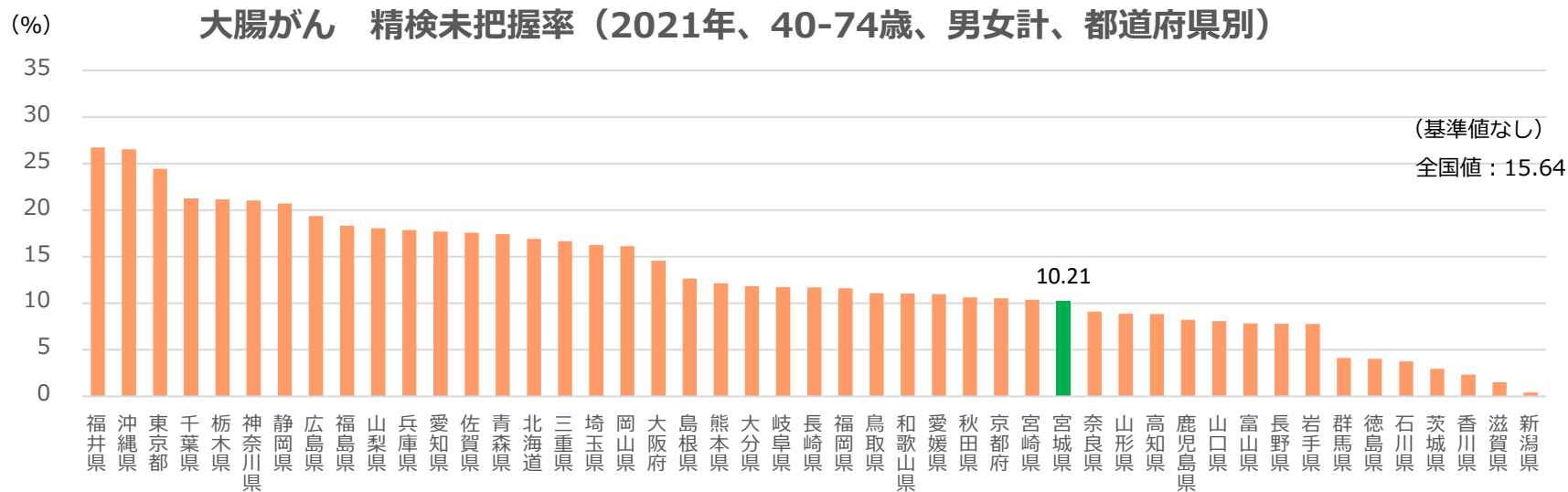
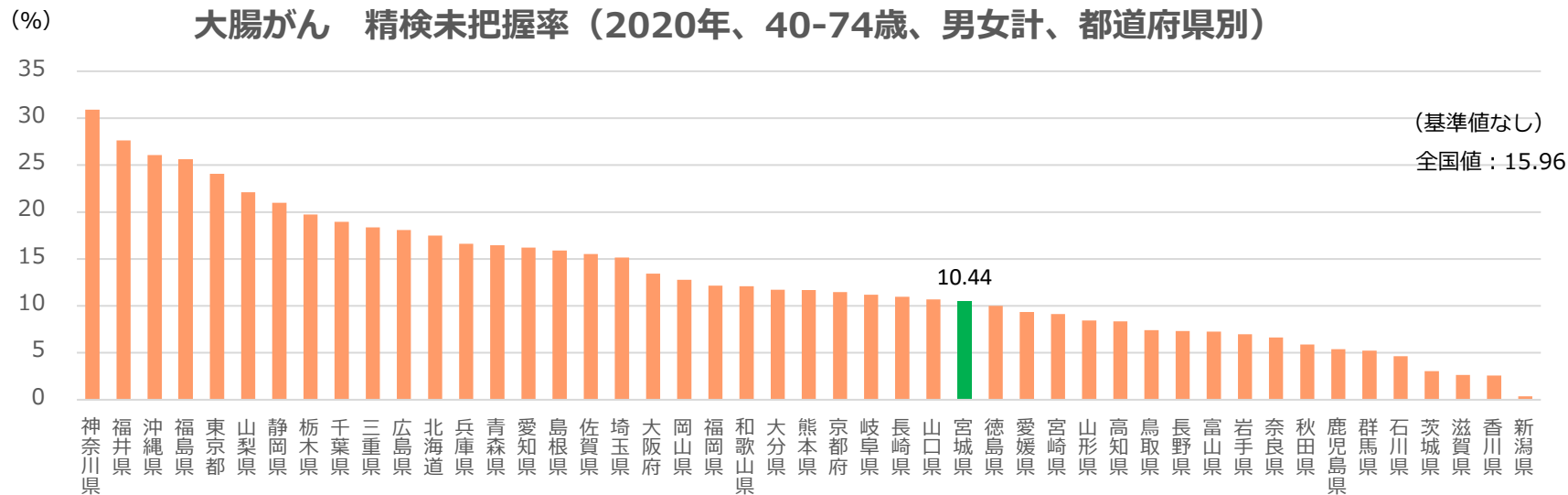
プロセス指標⑥（精検未把握率）経年

精検受診の有無や精検結果が、適切に把握されたか【未把握者数／要精検者数×100】



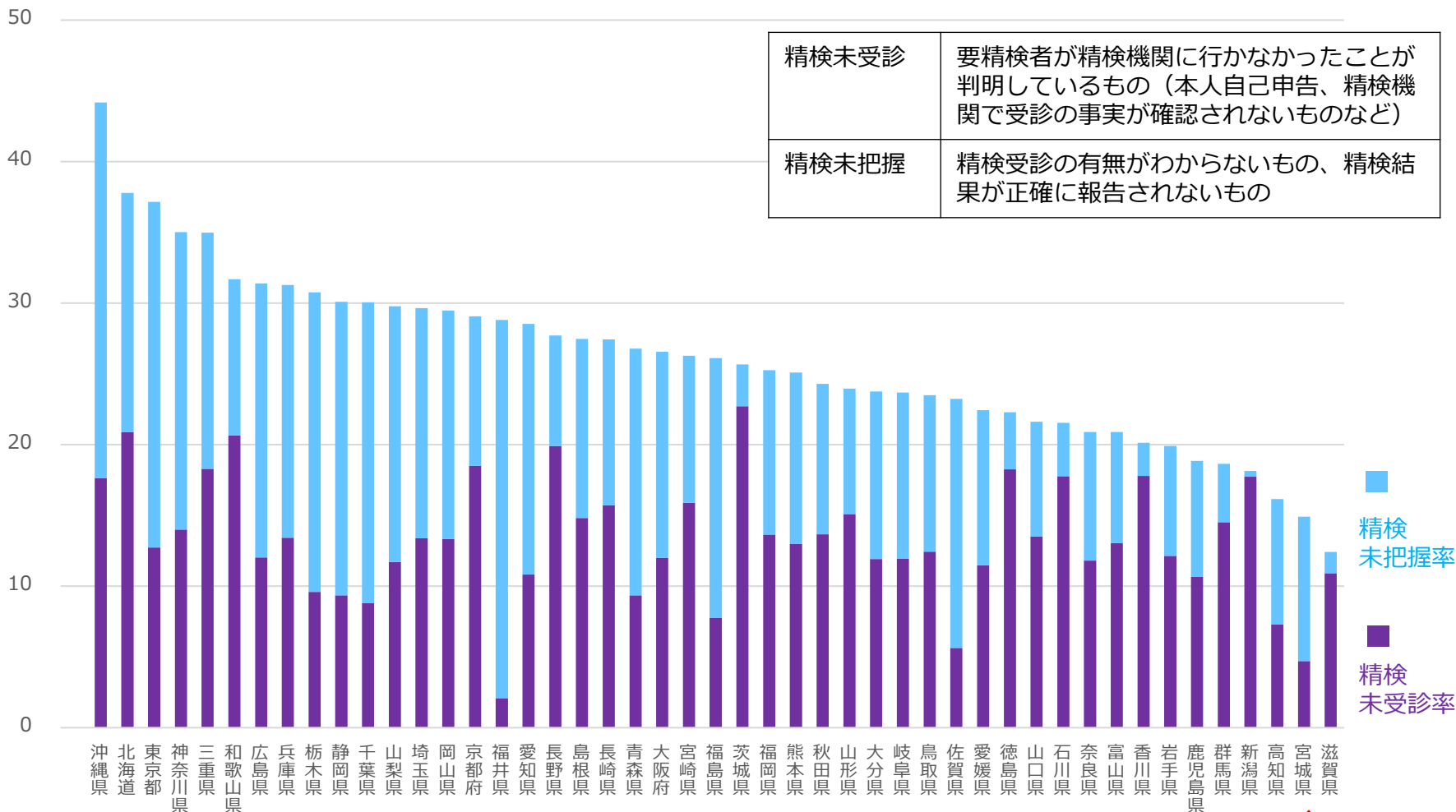
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化
対象：市町村が実施する住民検診（40-74歳を抽出）集団・個別合計
精検未把握：精検受診の有無がわからないもの、精検結果が正確に報告されないもの

プロセス指標⑥（精検未把握率） 全国順位



(参考) 精検未受診率 + 精検未把握率

(%) 大腸がん 精検未受診率 + 精検未把握率 (2021年、40-74歳、男女計、都道府県別)



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化
対象：市町村が実施する住民検診（40-74歳を抽出）集団・個別合計

プロセス指標の意味と活用方法（要精検率）

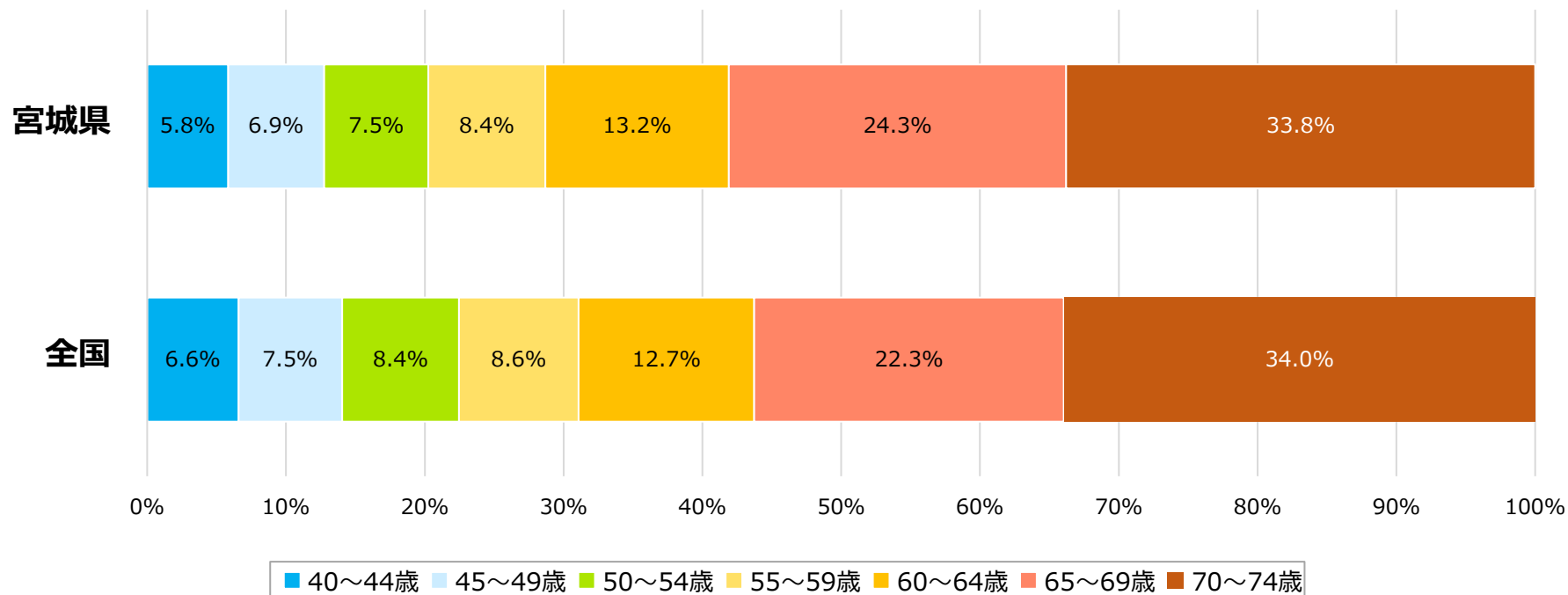
要精検率

各指標の意味 【算出方法】	各指標値の 評価	値が適正でない場合の検討事項		
		指標	予想される原因	検討内容
検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているか 【要精検者数 ／ 受診者数 ×100】	対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値、あるいは低値の場合は更に検討が必要	高値	① 受診者が有病率の高い集団に偏っている ② 偽陽性が多い	① 有症状者が検診を受けていないか（有症状者は診療を受けるよう指導する）、有病率の高い年齢層、有病率の高い初回受診者に偏っていないか ② 各検診機関の要精検の判定基準は適切か
		低値	① 受診者が有病率の低い集団に偏っている ② 偽陰性が多い	① 有病率の低い年齢層に偏っていないか（年齢層、受診歴等） ② 各検診機関の要精検の判定基準、検査手技、読影等は適切か

出典：がん検診事業のあり方について（令和6年7月 がん検診のあり方に関する検討会）
表12 プロセス指標の意味と活用方法

(参考) 検診受診者の年齢構成割合 全国・県

大腸がん検診受診者の年齢構成割合（2021年、男女計）



	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	40-74計
全国	351,717	399,080	449,767	460,360	676,516	1,191,289	1,815,549	5,344,278
宮城県	9,313	11,033	11,980	13,457	21,070	38,790	53,922	159,565

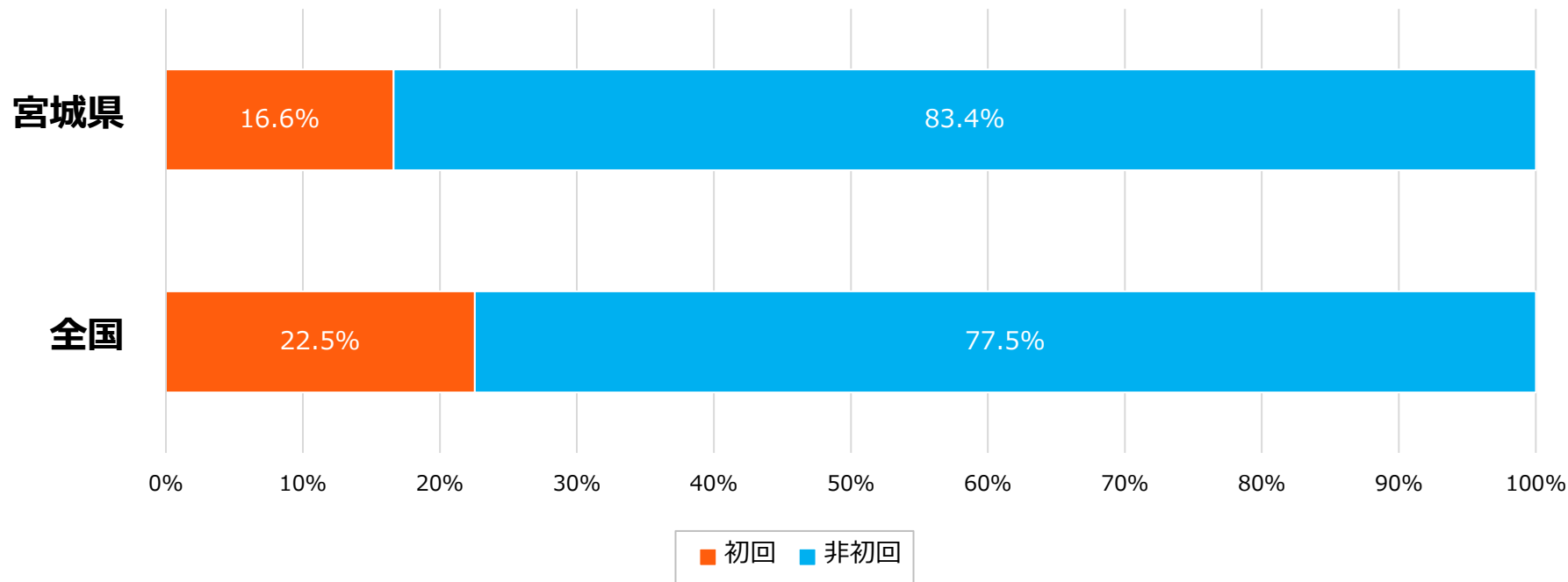
出典：令和3（2021）年度地域保健・健康増進事業報告(健康増進編)市区町村表 第17-1表 大腸がん検診受診者数

注意：この集計では、74歳以下を抽出してグラフ化

→ 全国と年齢構成割合に大きな違いはなし

(参考) 検診受診者の初回・非初回割合 全国・県

大腸がん検診受診者の初回・非初回割合（2021年、男女計）



	初回	非初回	合計
全国	1,176,658	4,043,418	5,220,076
宮城県	26,527	133,038	159,565

出典：令和3（2021）年度地域保健・健康増進事業報告(健康増進編)市区町村表
第17-1表 大腸がん検診受診者数

注意：この集計では、74歳以下を抽出してグラフ化
検診回数の初回・非初回については、計数不詳の市区町村があるため、
総数と一致しない場合がある。

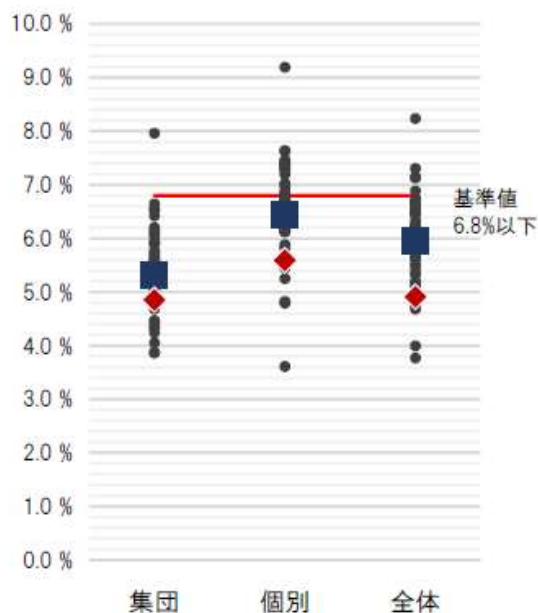
→ 宮城県は全国より初回割合が低い

(参考) 集団、個別別の各指標 全国・県

大腸がん プロセス指標値 (2021年、40～74歳、男女計)

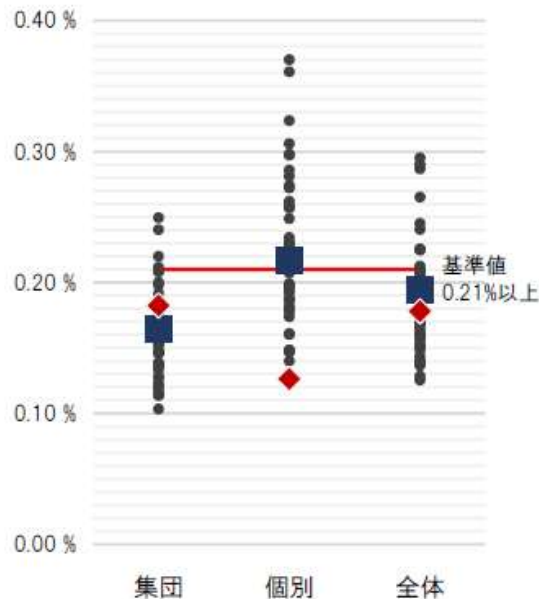
②-1 要精検率(%)

	集団	個別	全体
全 国	5.3	6.4	6.0
宮城県	4.9	5.6	4.9



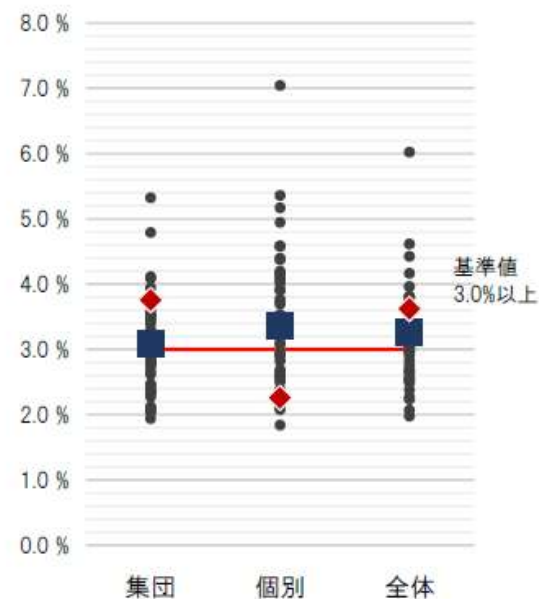
②-2 がん発見率(%)

	集団	個別	全体
全 国	0.16	0.22	0.19
宮城県	0.18	0.13	0.18



②-3 陽性反応適中度(%)

	集団	個別	全体
全 国	3.1	3.4	3.3
宮城県	3.8	2.3	3.6



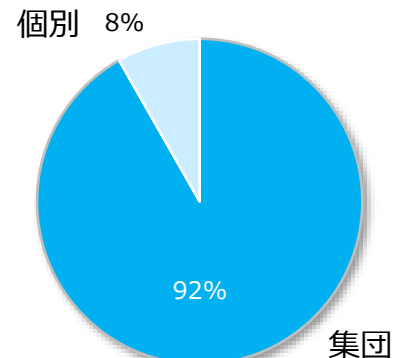
基準値 —



(参考) 市町村の検診受診者 集団・個別割合

大腸がん 検診	対象者数 注)	令和3(2021)年度 受診者数			受診率(%)
			集団検診	個別検診	
白石市	22,487	3,850	3,850	0	17.12
角田市	19,305	4,375	4,375	0	22.66
蔵王町	8,054	1,750	1,750	0	21.73
七ヶ宿町	913	337	337	0	36.91
大河原町	15,447	2,544	0	2,544	16.47
村田町	7,193	1,280	1,280	0	17.80
柴田町	23,258	3,905	123	3,782	16.79
川崎町	5,973	1,296	1,296	0	21.70
丸森町	9,098	2,014	2,014	0	22.14
塩竈市	35,787	6,278	6,278	0	17.54
名取市	45,697	9,054	9,054	0	19.81
多賀城市	36,223	6,364	6,364	0	17.57
岩沼市	27,013	4,564	4,558	6	16.90
富谷市	30,127	6,507	6,507	0	21.60
亘理町	21,814	3,789	3,789	0	17.37
山元町	8,556	1,755	1,755	0	20.51
松島町	9,645	1,746	1,746	0	18.10
七ヶ浜町	12,197	2,495	2,495	0	20.46
利府町	21,348	4,238	4,238	0	19.85
大和町	16,391	2,717	2,717	0	16.58
大郷町	5,401	645	645	0	11.94
大衡村	3,449	645	645	0	18.70
大崎市	81,416	14,443	14,443	0	17.74
色麻町	4,457	936	936	0	21.00
加美町	15,419	2,774	2,774	0	17.99
涌谷町	10,719	1,997	1,997	0	18.63
美里町	16,274	3,256	3,256	0	20.01
栗原市	45,876	8,794	8,794	0	19.17
登米市	53,584	14,752	14,752	0	27.53
石巻市	94,465	16,653	5,156	11,497	17.63
東松島市	24,915	3,828	3,828	0	15.36
女川町	4,084	1,014	1,008	6	24.83
気仙沼市	44,026	8,130	8,130	0	18.47
南三陸町	8,871	1,804	1,804	0	20.34
仙台市	626,637	76,261	76,261	0	12.17
県総計	1,416,119	226,790	208,955	17,835	16.01

集団・個別検診者数の割合



→ 集団検診が約 9 割

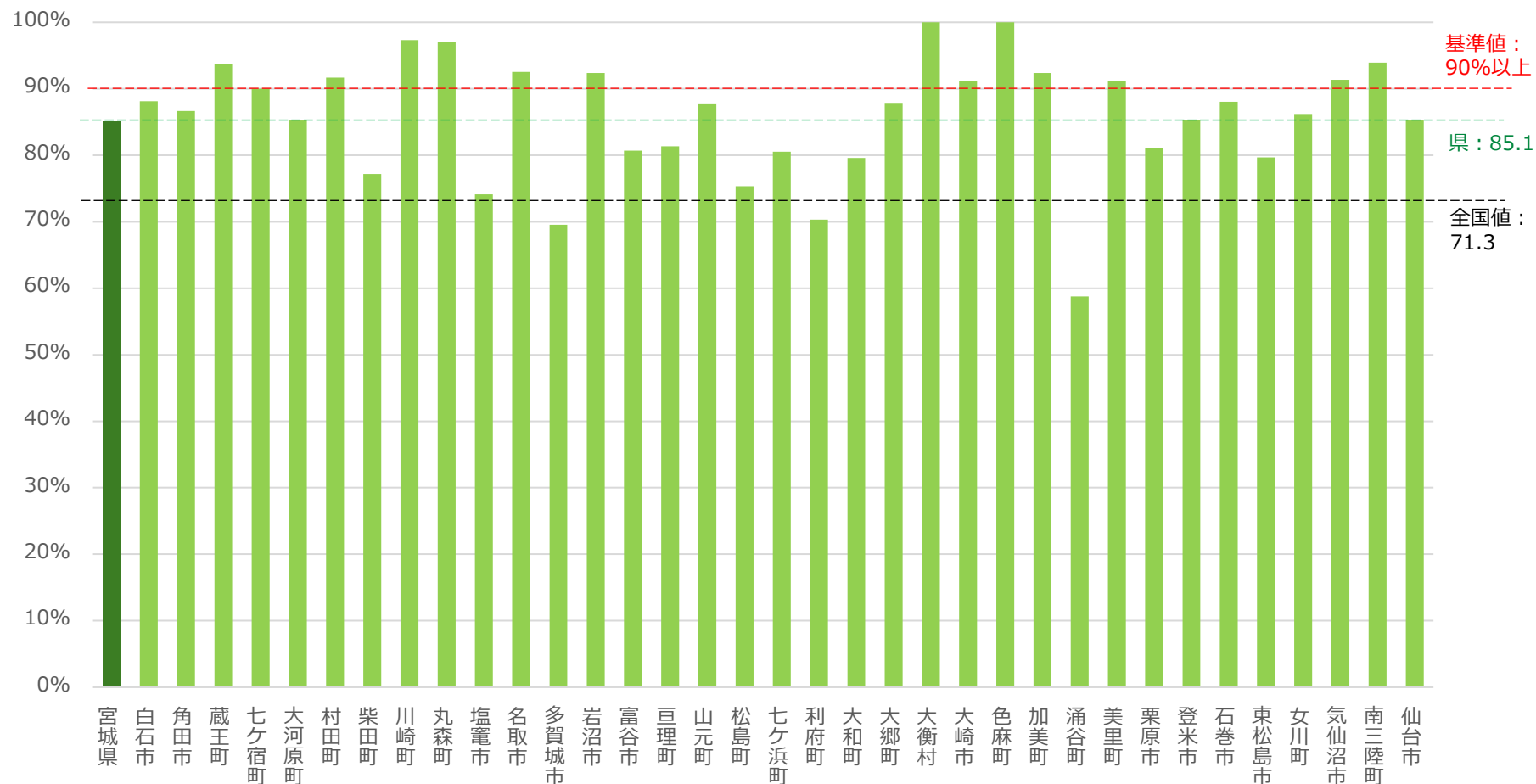
出典：令和4年度大腸がん部会資料
大腸がん検診結果別人員等調査結果
令和3年大腸がん検診実施状況（合計）
注：この集計では、74歳以上も含む

市町村の各プロセス指標 令和3（2021）年度

大腸がん 検診	精検受診率	要精検率	がん発見率	陽性反応 適中度	受診者数 (40～74歳)	要精密検査 者数	精密検査 受診者数	異常なし	がん (転移性以外)	疑い又は 未確定	腺腫	大腸がん 以外の疾患
宮城県	85.1%	4.92%	0.178%	3.62%	159,591	7844	6674	1945	284	27	3399	1019
白石市	88.1%	3.92%	0.233%	5.94%	2,575	101	89	25	6	0	49	9
角田市	86.7%	4.45%	0.296%	6.67%	3,036	135	117	32	9	0	63	13
蔵王町	93.8%	5.11%	0.240%	4.69%	1,252	64	60	16	3	0	35	6
七ヶ宿町	90.0%	4.88%	0.488%	10.00%	205	10	9	2	1	0	5	1
大河原町	85.2%	5.34%	0.121%	2.27%	1,649	88	75	20	2	0	46	7
村田町	91.7%	3.87%	0.000%	0.00%	931	36	33	2	0	0	15	16
柴田町	77.2%	5.59%	0.113%	2.01%	2,664	149	115	39	3	0	65	8
川崎町	97.3%	3.90%	0.211%	5.41%	949	37	36	7	2	0	24	3
丸森町	97.0%	4.91%	0.073%	1.49%	1,364	67	65	12	1	0	41	11
塩竈市	74.1%	4.76%	0.266%	5.58%	4,143	197	146	60	11	0	71	4
名取市	92.5%	4.33%	0.220%	5.08%	6,819	295	273	88	15	0	139	31
多賀城市	69.6%	3.71%	0.230%	6.21%	4,341	161	112	37	10	0	51	14
岩沼市	92.4%	3.90%	0.149%	3.82%	3,363	131	121	46	5	0	62	8
富谷市	80.7%	3.97%	0.040%	1.02%	4,964	197	159	29	2	2	55	71
亘理町	81.4%	4.23%	0.287%	6.78%	2,789	118	96	19	8	0	57	12
山元町	87.8%	3.42%	0.083%	2.44%	1,199	41	36	6	1	0	22	7
松島町	75.4%	5.85%	0.339%	5.80%	1,180	69	52	23	4	0	20	5
七ヶ浜町	80.5%	4.29%	0.223%	5.19%	1,795	77	62	21	4	0	33	4
利府町	70.3%	3.98%	0.218%	5.47%	3,216	128	90	26	7	0	48	9
大和町	79.6%	5.09%	0.296%	5.83%	2,025	103	82	29	6	0	43	4
大郷町	87.9%	4.39%	0.133%	3.03%	751	33	29	5	1	0	22	1
大衡村	100.0%	4.08%	0.215%	5.26%	466	19	19	4	1	0	10	4
大崎市	91.2%	4.44%	0.278%	6.26%	10,789	479	437	109	30	0	266	32
色麻町	100.0%	4.04%	0.279%	6.90%	718	29	29	4	2	0	21	2
加美町	92.4%	5.55%	0.329%	5.93%	2,127	118	109	24	7	0	19	59
涌谷町	58.8%	7.98%	0.280%	3.51%	1,428	114	67	19	4	1	36	7
美里町	91.1%	4.46%	0.221%	4.95%	2,263	101	92	28	5	0	48	11
栗原市	81.1%	5.21%	0.114%	2.19%	7,028	366	297	81	8	0	119	89
登米市	85.3%	4.49%	0.179%	3.98%	11,175	502	428	82	20	5	212	109
石巻市	88.0%	5.41%	0.216%	3.99%	11,118	602	530	189	24	3	212	102
東松島市	79.7%	4.75%	0.408%	8.59%	2,694	128	102	24	11	0	54	13
女川町	86.2%	4.72%	0.000%	0.00%	615	29	25	9	0	0	16	0
気仙沼市	91.3%	5.14%	0.408%	7.94%	5,389	277	253	95	22	0	120	16
南三陸町	93.9%	5.09%	0.000%	0.00%	1,296	66	62	13	0	0	3	46
仙台市	85.2%	5.42%	0.096%	1.76%	51,275	2,777	2,367	720	49	16	1297	285

(余 白)

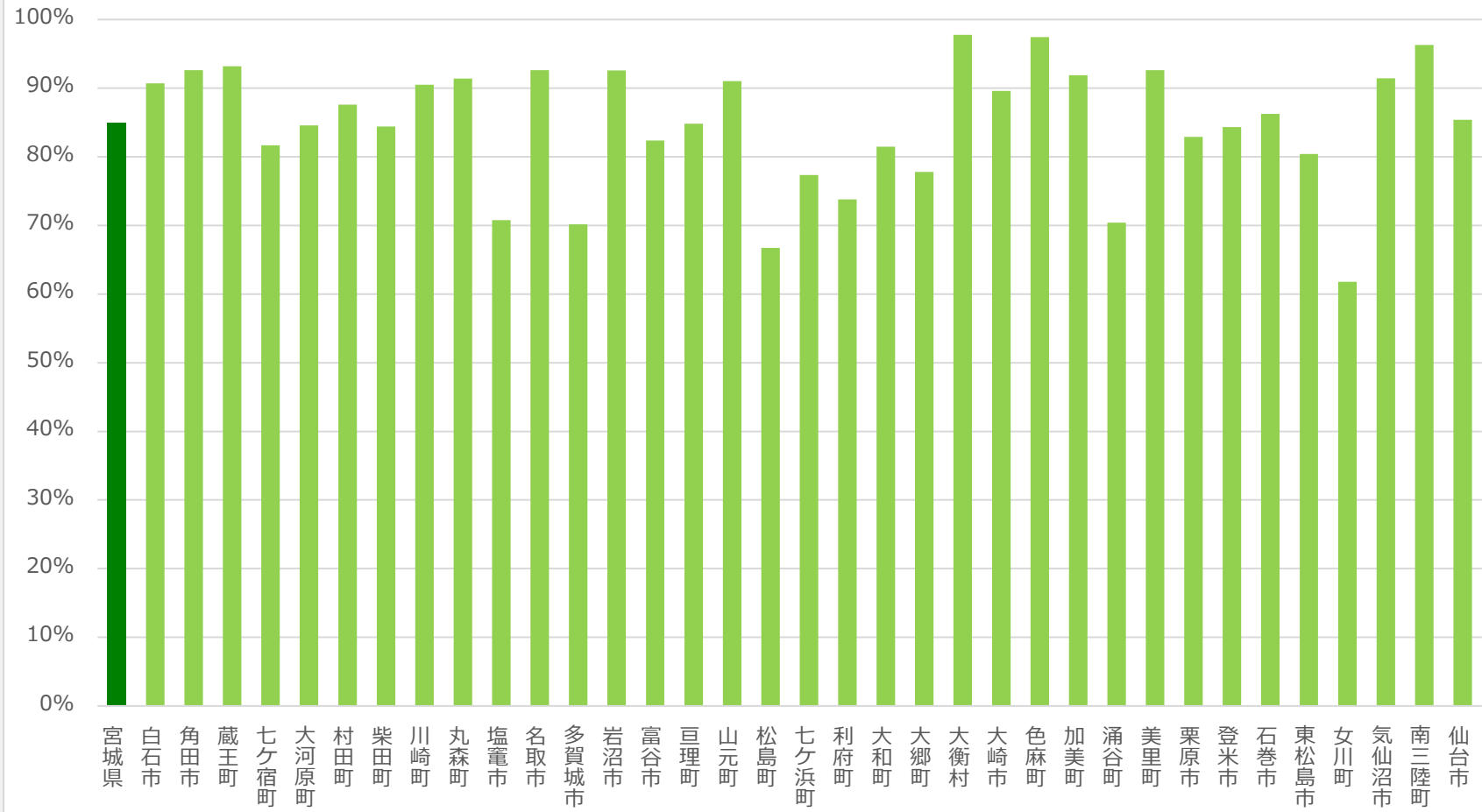
大腸がん検診 精密検査受診率 (2021, 40-70歳、男女計)



出典：地域保健・健康増進事業報告(健康増進編)市区町村表 第25-1表 令和3年度における大腸がん検診受診者数… から県で計算

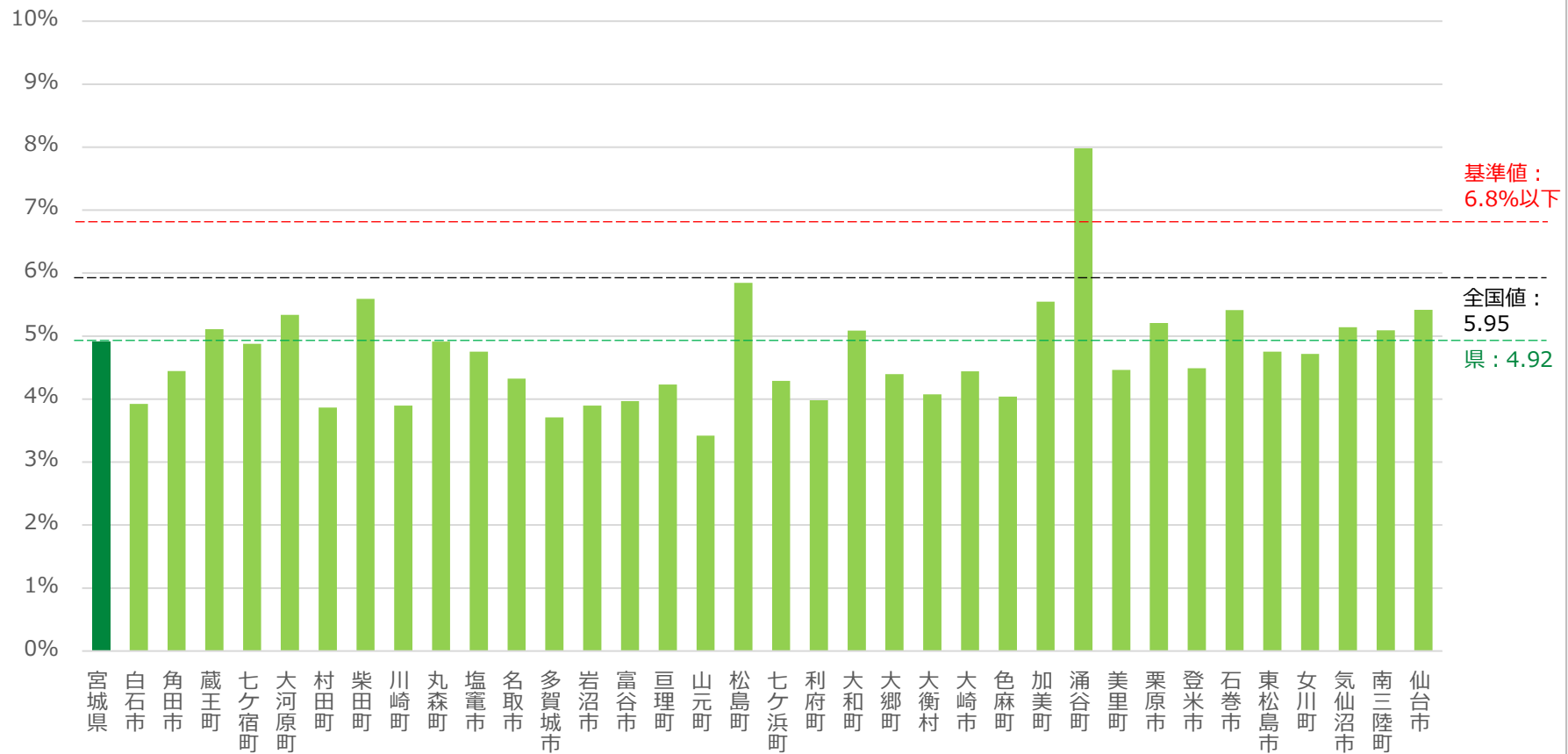
(参考) 精検受診率 3年平均 R1(2019)－R3(2021)

大腸がん検診 精密検査受診率(2019-2021(3年平均), 40-70歳、男女計)



出典：地域保健・健康増進事業報告(健康増進編)市区町村表 第25-1表 令和元～3年度における大腸がん検診受診者数… から県で計算

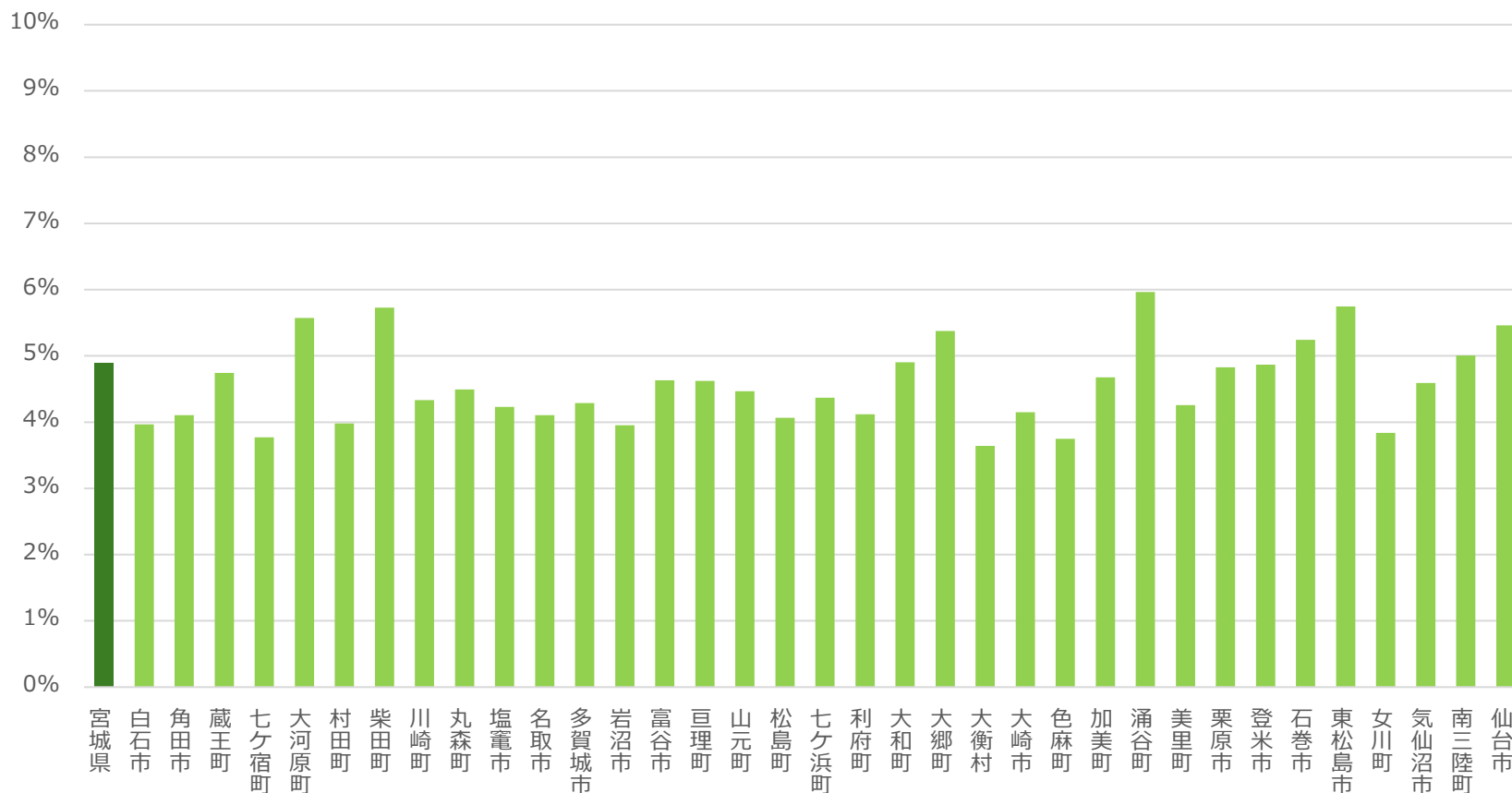
大腸がん検診 要精検率 (2021, 40-70歳、男女計)



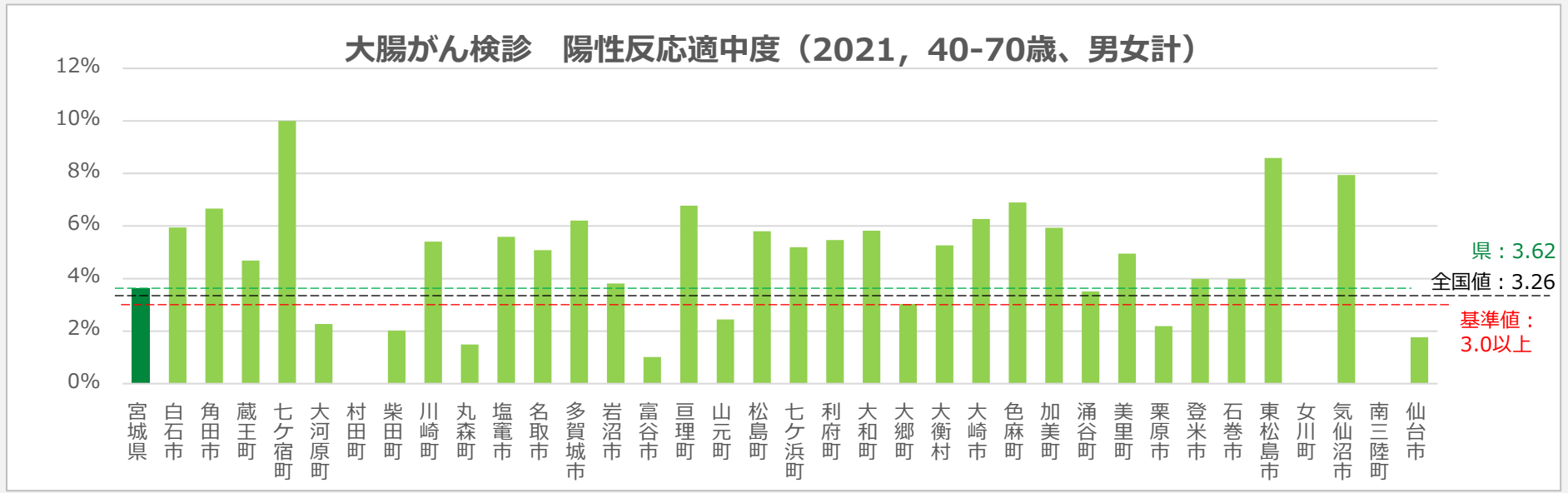
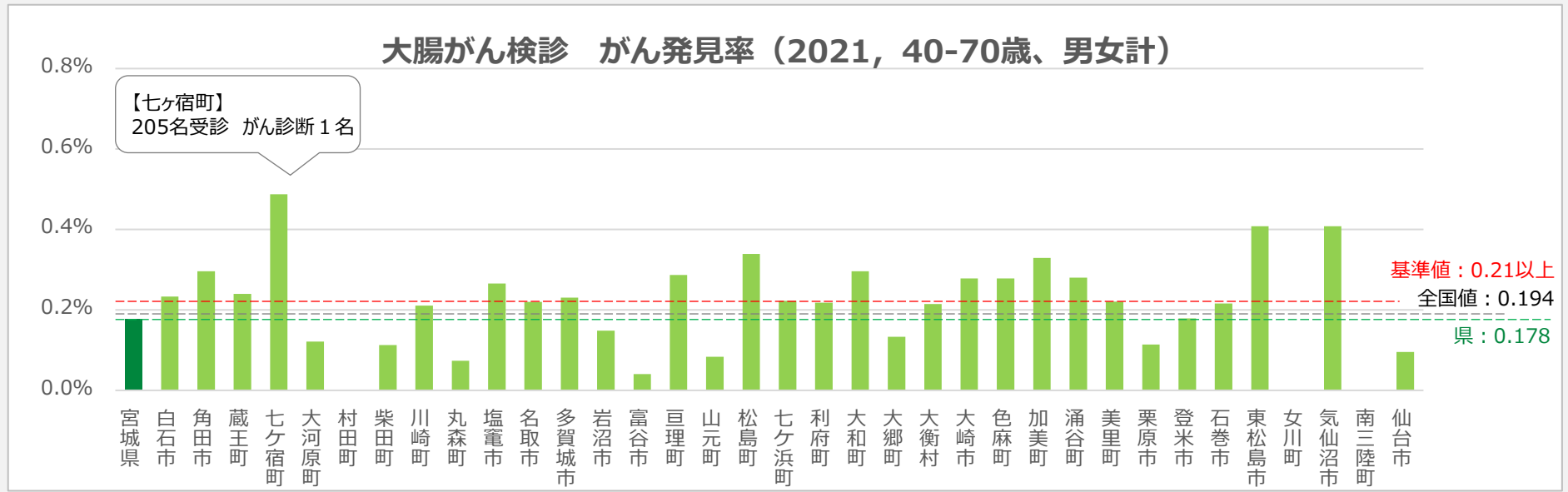
出典：地域保健・健康増進事業報告(健康増進編)市区町村表 第25-1表 令和3年度における大腸がん検診受診者数… から県で計算

(参考) 要精検率 3年平均 R1 (2019) – R3 (2021)

大腸がん検診 要精検率 (2019-2021 (3年平均) , 40-70歳、男女計)

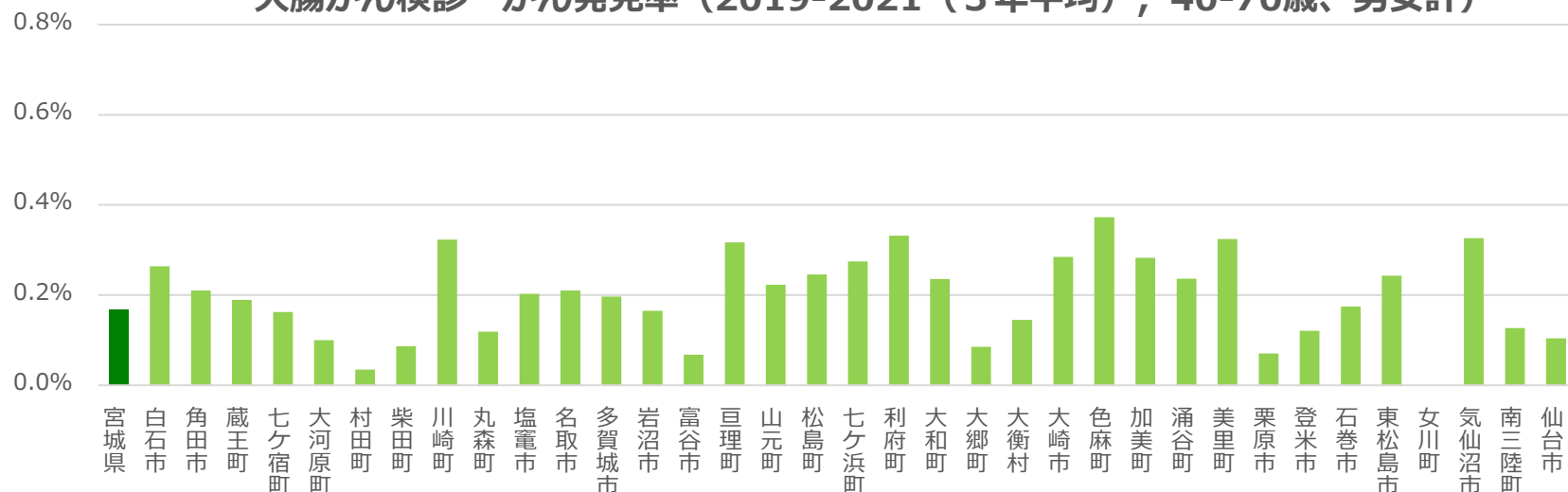


出典：地域保健・健康増進事業報告(健康増進編)市区町村表 第25-1表 令和元～3年度における大腸がん検診受診者数… から県で計算

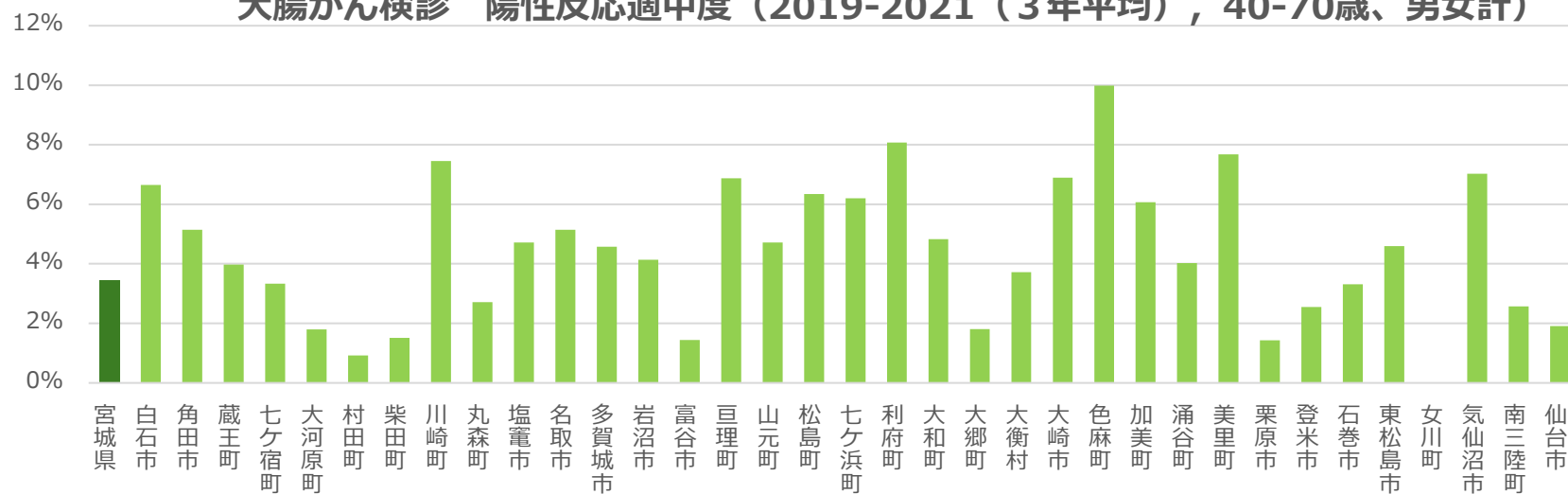


(参考) がん発見率・陽性反応適中度 3年平均 R1 (2019) – R3 (2021)

大腸がん検診 がん発見率 (2019-2021 (3年平均), 40-70歳、男女計)



大腸がん検診 陽性反応適中度 (2019-2021 (3年平均), 40-70歳、男女計)

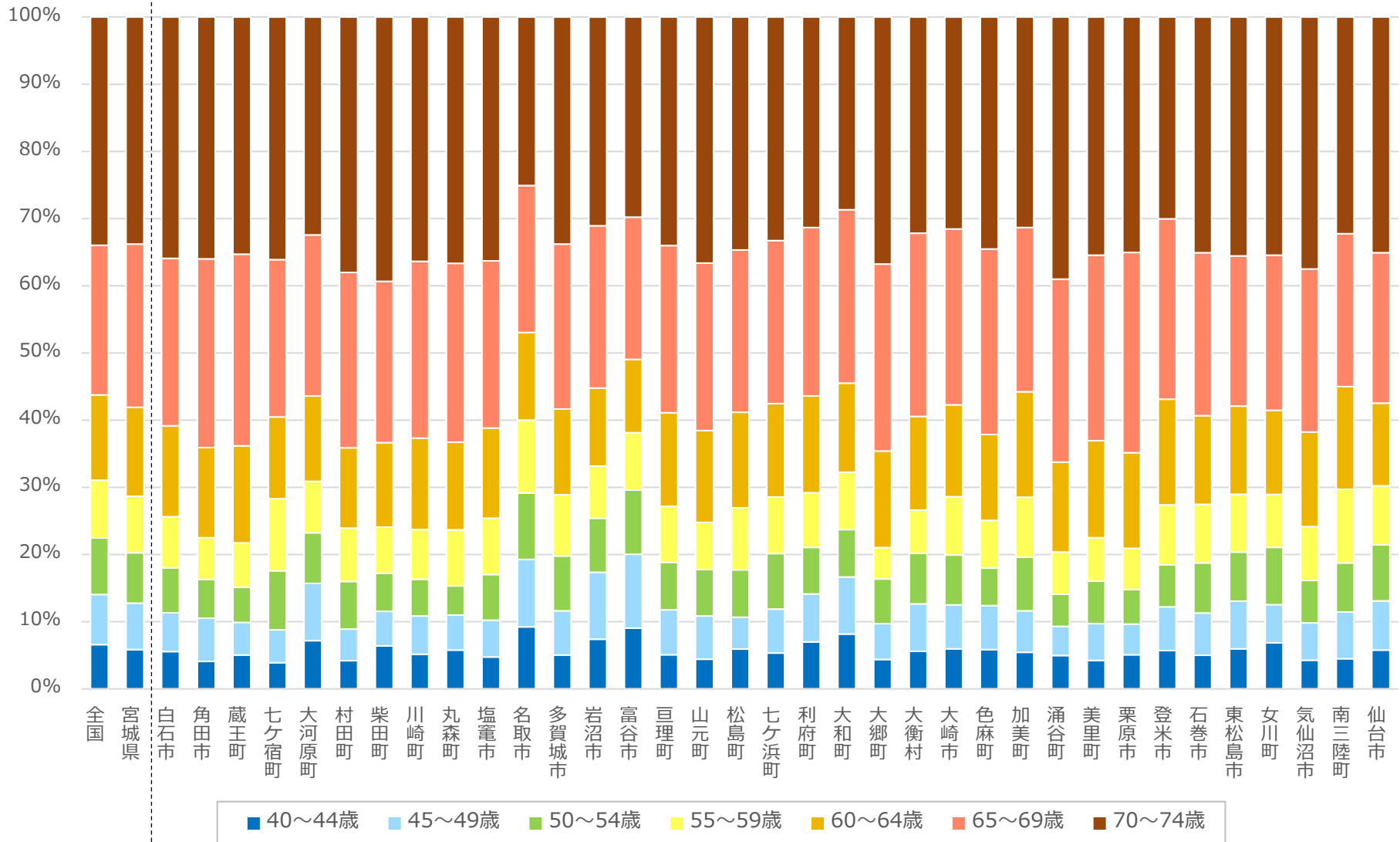


市町村毎の受診者年齢構成 2021年

大腸がん検診	40～74歳合計	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳
宮城県	159,565	9,313	11,033	11,980	13,457	21,070	38,790	53,922
白石市	2,575	143	149	172	196	348	642	925
角田市	3,036	124	195	176	188	407	853	1,093
蔵王町	1,252	63	61	65	83	181	357	442
七ヶ宿町	205	8	10	18	22	25	48	74
大河原町	1,649	118	141	124	126	210	395	535
村田町	931	39	44	66	74	111	243	354
柴田町	2,650	170	136	150	182	333	636	1,043
川崎町	949	49	54	52	70	129	250	345
丸森町	1,364	79	71	59	114	178	363	500
塩竈市	4,143	197	227	281	348	556	1,031	1,503
名取市	6,819	630	683	674	740	890	1,492	1,710
多賀城市	4,341	219	286	354	395	554	1,066	1,467
岩沼市	3,368	249	335	272	261	391	814	1,046
富谷市	4,964	450	544	475	424	542	1,050	1,479
亘理町	2,789	142	186	197	233	388	694	949
山元町	1,199	53	77	83	84	164	299	439
松島町	1,180	70	56	83	109	168	285	409
七ヶ浜町	1,795	96	117	149	151	249	436	597
利府町	3,216	225	229	224	261	463	807	1,007
大和町	2,025	165	172	143	173	269	522	581
大郷町	751	33	40	50	35	108	209	276
大衡村	466	26	33	35	30	65	127	150
大崎市	10,789	645	702	803	937	1,473	2,827	3,402
色麻町	718	42	47	40	51	92	198	248
加美町	2,127	116	131	170	190	334	520	666
涌谷町	1,428	71	62	68	90	191	389	557
美里町	2,263	96	124	143	146	327	625	802
栗原市	7,028	356	320	362	432	999	2,097	2,462
登米市	11,175	639	724	700	997	1,758	2,999	3,358
石巻市	11,118	556	699	829	970	1,466	2,698	3,900
東松島市	2,694	161	191	197	231	354	602	958
女川町	598	41	34	51	47	75	138	212
気仙沼市	5,389	231	299	339	432	760	1,307	2,021
南三陸町	1,296	58	90	95	142	198	295	418
仙台市	51,275	2,953	3,764	4,281	4,493	6,314	11,476	17,994

市町村毎の年齢構成割合


県内市町村毎の年齢構成割合（2021年 40-74歳 男女計）



プロセス指標のまとめ

- 精検受診率は全国より高い
- 精検未受診率、精検未把握率ともに全国より低い
- がん発見率、陽性反応適中度は、ほぼ全国と同じだが、要精検率は、昨年同様に低値になっている
- 市町村によって各プロセス指標にバラつきがある

(余 白)

- 1 概要調査結果（指針に基づく実施状況）
- 2 チェックリスト遵守状況調査結果
- 3 プロセス指標（要精検率、がん発見率など）
-  4 アウトカム指標（がん罹患、死亡数）

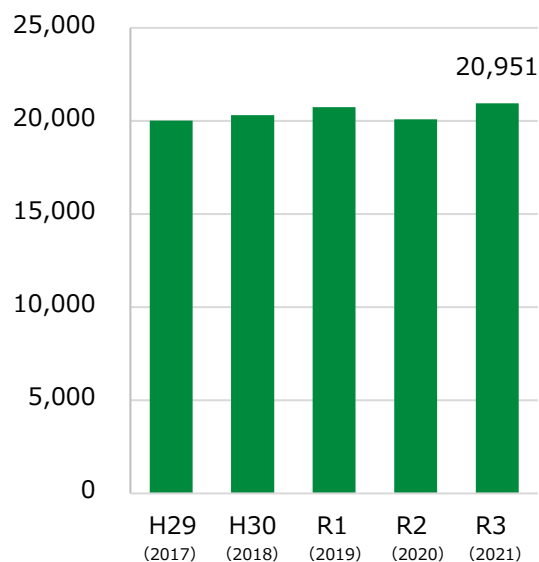
がん罹患数の推移 全部位（宮城県）

罹患数 男女計 全部位（上皮内がん含む）

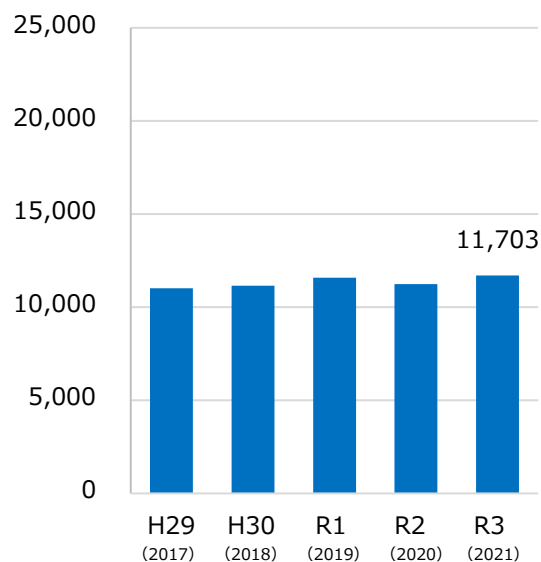
（参考）全国

宮城県	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R3 (2021)
計	20,015	20,316	20,736	20,092	20,951	1,107,555
男	11,022	11,153	11,575	11,237	11,703	609,955
女	8,993	9,163	9,161	8,855	9,248	497,600

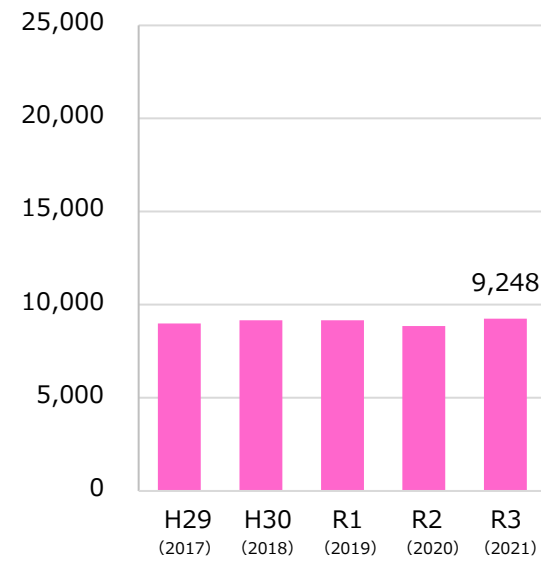
総数（男女計）



男性

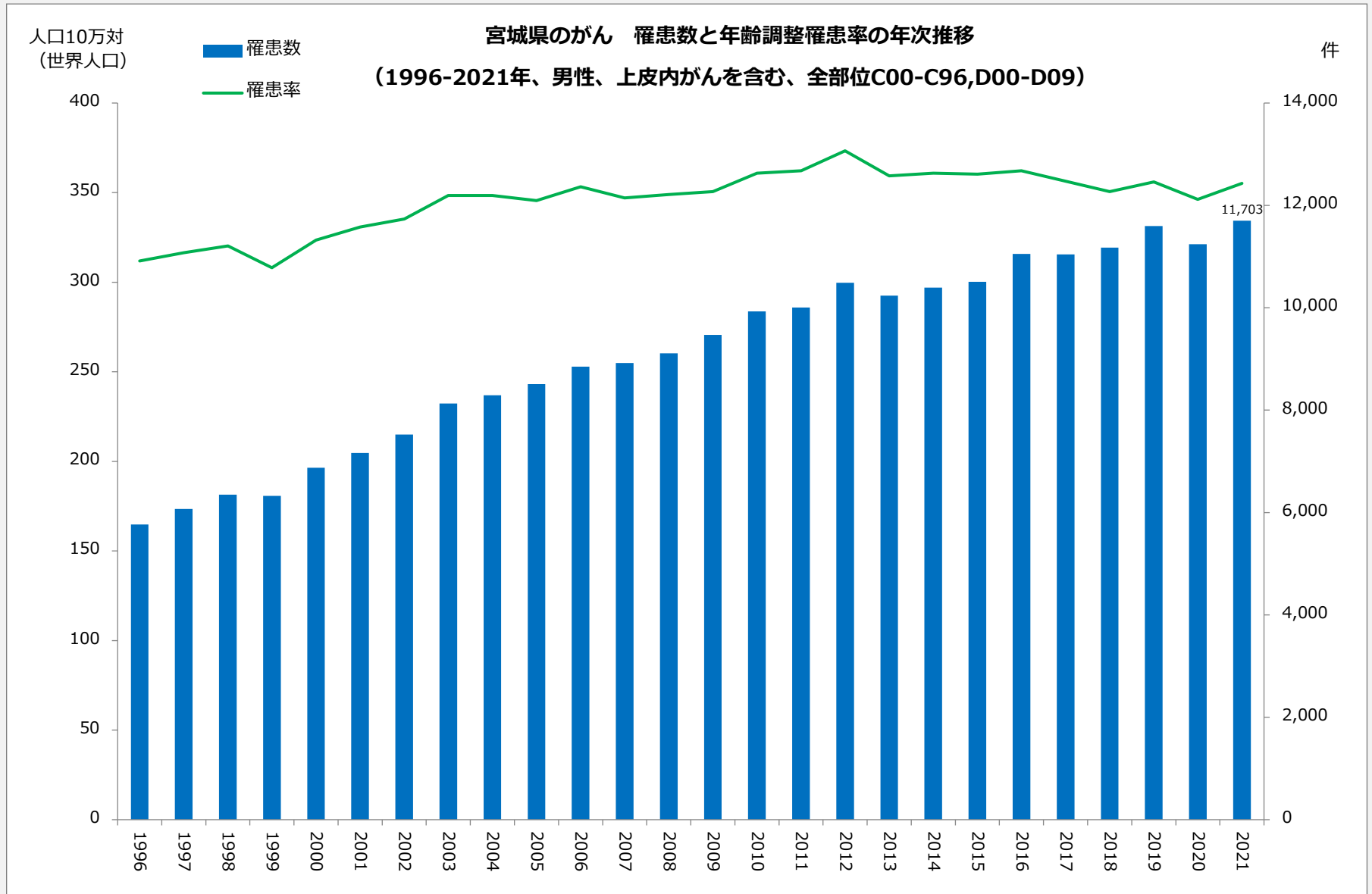


女性



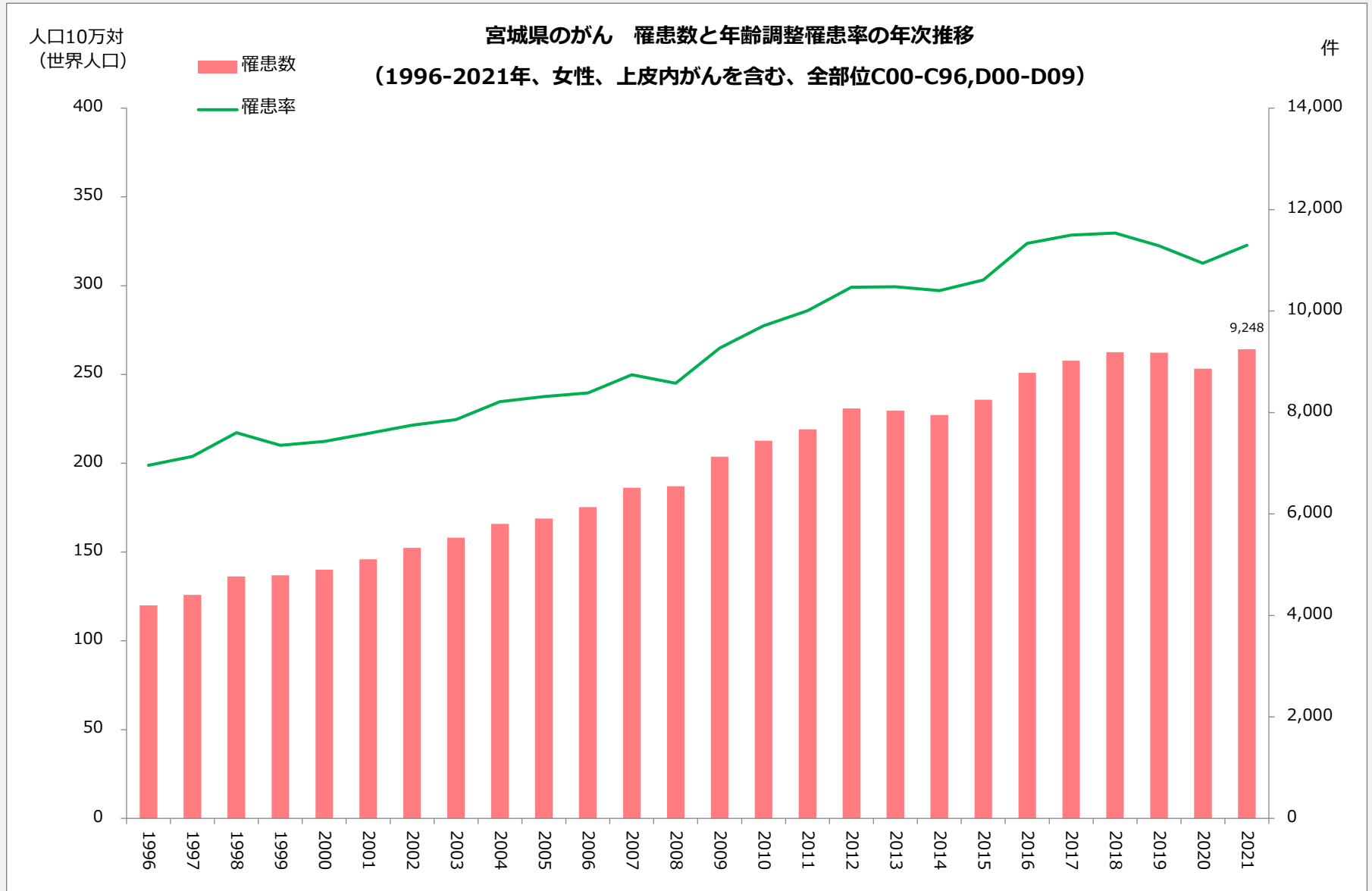
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）全国がん登録に基づく都道府県別がん罹患数・率2017年-2021年

罹患数と年齢調整罹患率の年次推移 (宮城県・男性・全部位)



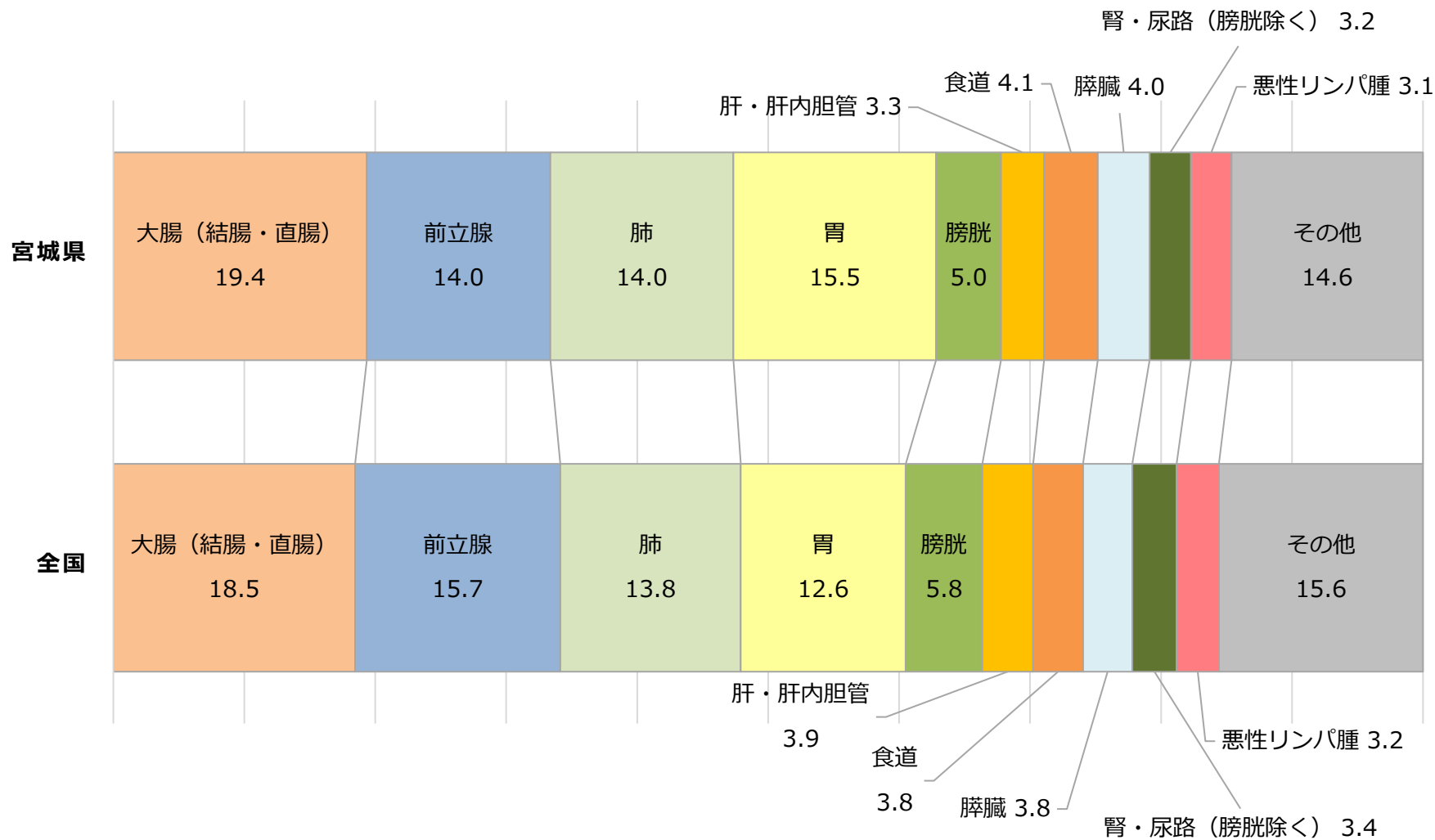
出典： 宮城県がん登録情報（宮城県がん登録室集計・再集計値）

罹患数と年齢調整罹患率の年次推移 (宮城県・女性・全部位)



がん罹患数の割合 男性（全国と宮城県）

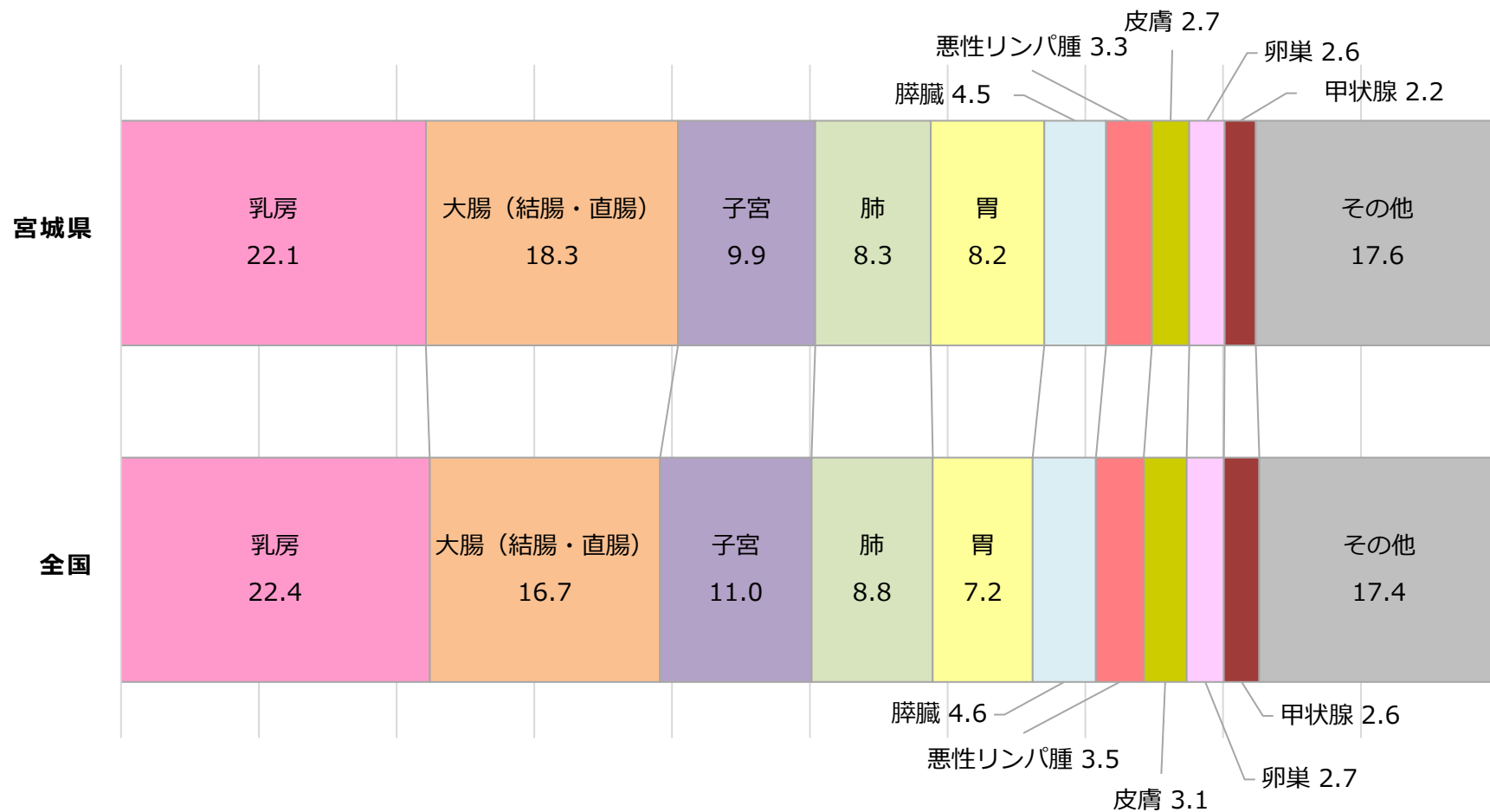
がんの発生割合（2021年 男）



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）全国がん登録に基づく都道府県別がん罹患数・率
宮城県のがん罹患 ～宮城県がん登録 2021年（令和3年）集計～（宮城県がん登録室集計）

がん罹患数の割合 女性（全国と宮城県）

がんの発生割合（2021年 女）



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）全国がん登録に基づく都道府県別がん罹患数・率
宮城県のがん罹患 ～宮城県がん登録 2021年（令和3年）集計～（宮城県がん登録室集計）

部位別のがん罹患数（全国と宮城県）

部位別罹患数（R3（2021）年）（上皮内がん含む）

部位	全国				宮城県			
	男		女		男		女	
	罹患数	%	罹患数	%	罹患数	%	罹患数	%
口腔・咽頭	16,037	2.6	6,744	1.4	278	2.4	121	1.3
食道	23,209	3.8	5,571	1.1	480	4.1	119	1.3
胃	76,828	12.6	36,053	7.2	1,811	15.5	761	8.2
大腸（結腸・直腸）	112,587	18.5	83,227	16.7	2,265	19.4	1,688	18.3
肝・肝内胆管	23,677	3.9	10,998	2.2	385	3.3	205	2.2
胆のう・胆管	11,729	1.9	9,888	2.0	260	2.2	199	2.2
膵臓	22,950	3.8	22,869	4.6	463	4.0	414	4.5
喉頭	4,359	0.7	412	0.1	80	0.7	9	0.1
肺	84,051	13.8	43,816	8.8	1,635	14.0	772	8.3
皮膚	15,750	2.6	15,492	3.1	254	2.2	250	2.7
乳房	719	0.1	111,492	22.4	9	0.1	2,040	22.1
子宮	-	-	54,684	11.0	-	-	918	9.9
卵巣	-	-	13,456	2.7	-	-	237	2.6
前立腺	95,584	15.7	-	-	1,641	14.0	-	-
膀胱	35,669	5.8	9,928	2.0	580	5.0	192	2.1
腎・尿路（膀胱除く）	20,628	3.4	9,995	2.0	370	3.2	194	2.1
脳・中枢神経系	3,124	0.5	2,617	0.5	49	0.4	50	0.5
甲状腺	4,727	0.8	12,807	2.6	73	0.6	208	2.2
悪性リンパ腫	19,713	3.2	17,268	3.5	362	3.1	306	3.3
多発性骨髄腫	4,197	0.7	3,559	0.7	80	0.7	56	0.6
白血病	8,597	1.4	6,211	1.2	153	1.3	99	1.1
その他	25,820	4.2	20,513	4.1	475	4.1	410	4.4
全部位	609,955	100.0	497,600	100.0	11,703	100.0	9,248	100.0

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）全国がん登録に基づく都道府県別がん罹患数・率
宮城県のがん罹患 ～宮城県がん登録 2021年（令和3年）集計～（宮城県がん登録室集計）

主な部位別のがん罹患数の直近の年次推移（宮城県）

部位別がん罹患数の推移（男）

男	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)
胃	1,915	1,911	1,904	1,719	1,811
肺	1,504	1,465	1,606	1,547	1,635
肝臓	401	420	407	402	385
膵臓	399	389	428	450	463
大腸	2,045	2,151	2,153	2,135	2,265
前立腺	1,454	1,494	1,476	1,465	1,641
膀胱	501	569	584	581	580

部位別がん罹患数の推移（女）

女	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)
胃	851	898	858	766	761
肺	758	760	834	629	772
肝臓	194	179	176	188	205
膵臓	386	396	415	472	414
大腸	1,559	1,469	1,560	1,531	1,688
子宮	818	897	772	917	918
乳房	2,035	2,085	2,008	1,946	2,040

令和3(2021)年
部位別がん罹患数の順位（男）

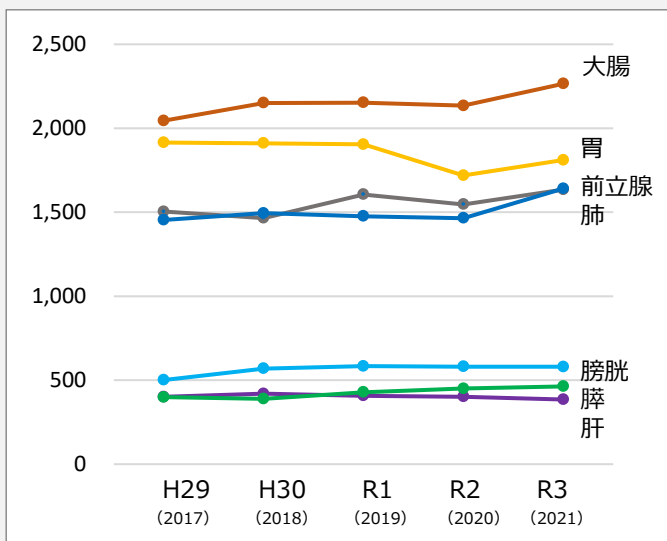
順位	宮城県	全国
1位	大腸がん	大腸がん
2位	胃がん	前立腺がん
3位	前立腺がん	肺がん
4位	肺がん	胃がん
5位	膀胱がん	膀胱がん

令和3(2021)年
部位別がん罹患数の順位（女）

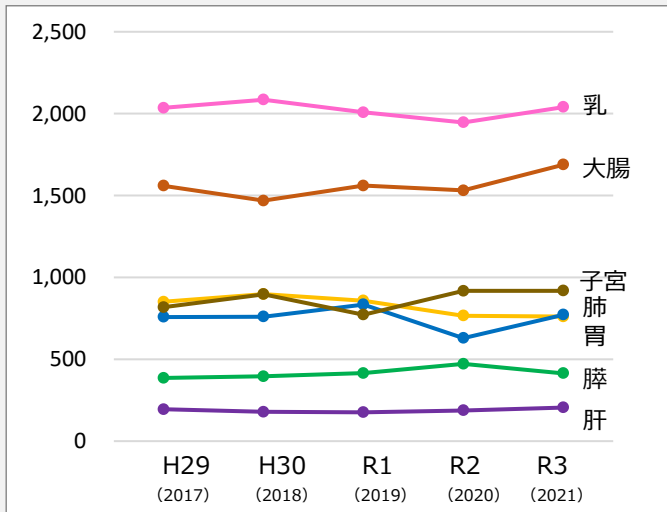
順位	宮城県	全国
1位	乳がん	乳がん
2位	大腸がん	大腸がん
3位	子宮がん	子宮がん
4位	肺がん	肺がん
5位	胃がん	胃がん

出典：
国立がん研究センターがん情報サービス
「がん統計」（全国がん登録）

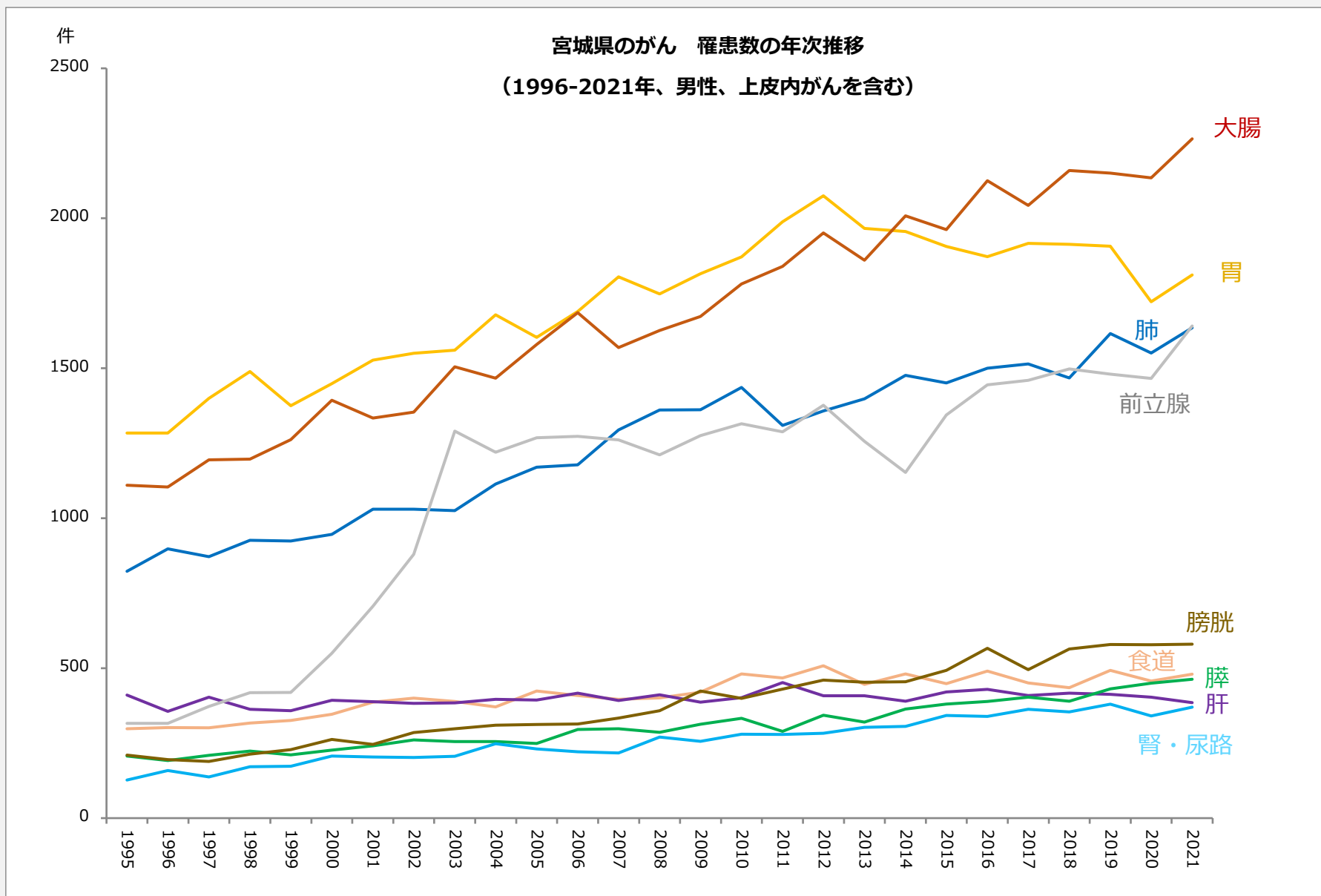
部位別がん罹患数の推移（男）



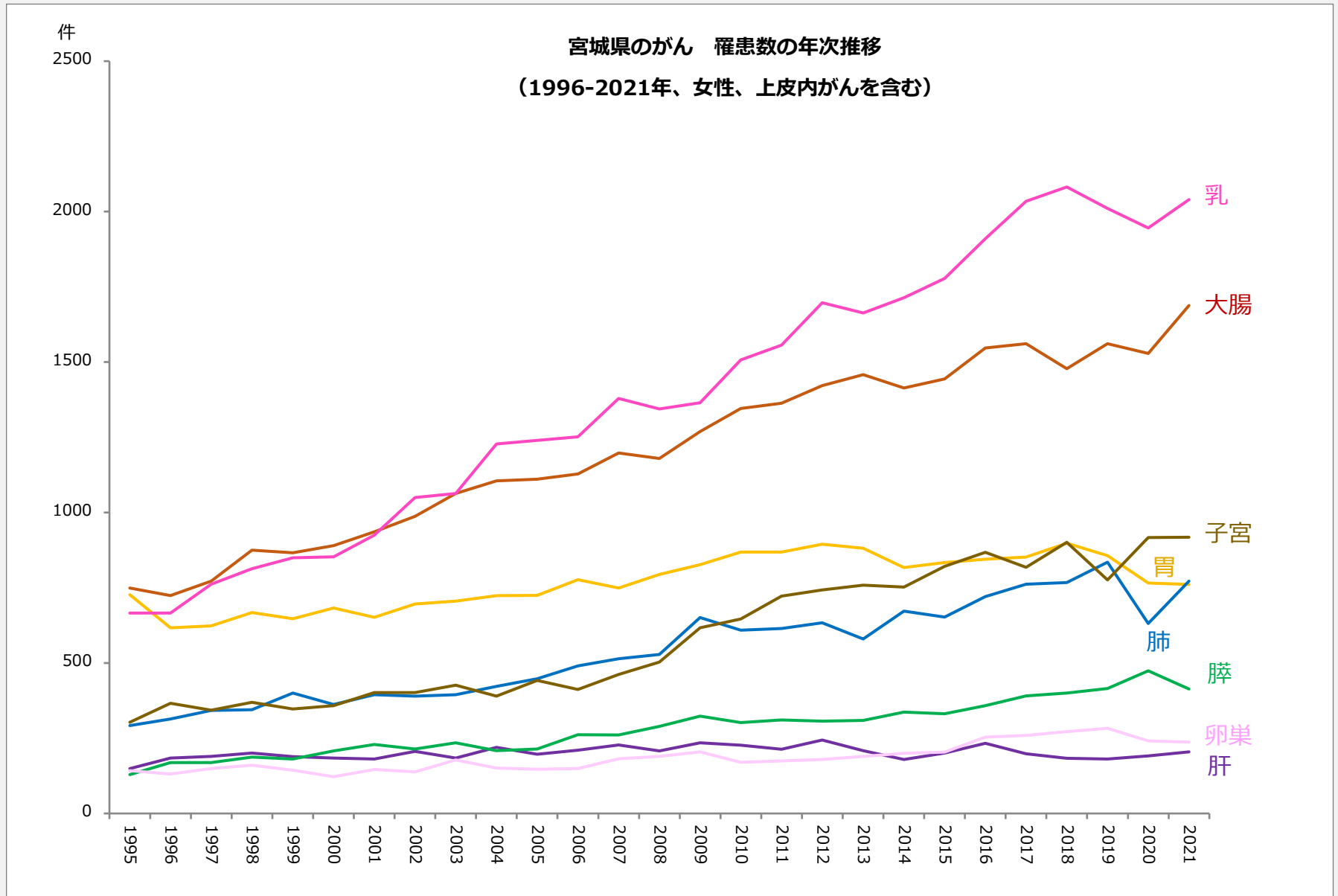
部位別がん罹患数の推移（女）



部位別のがん罹患数の年次推移（宮城県・男性）

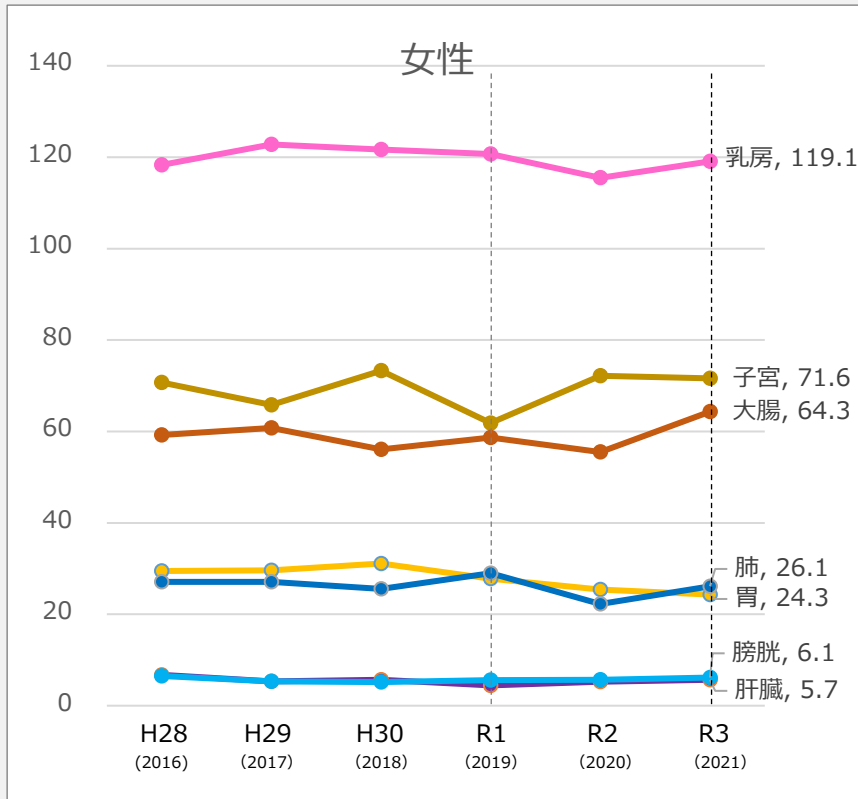
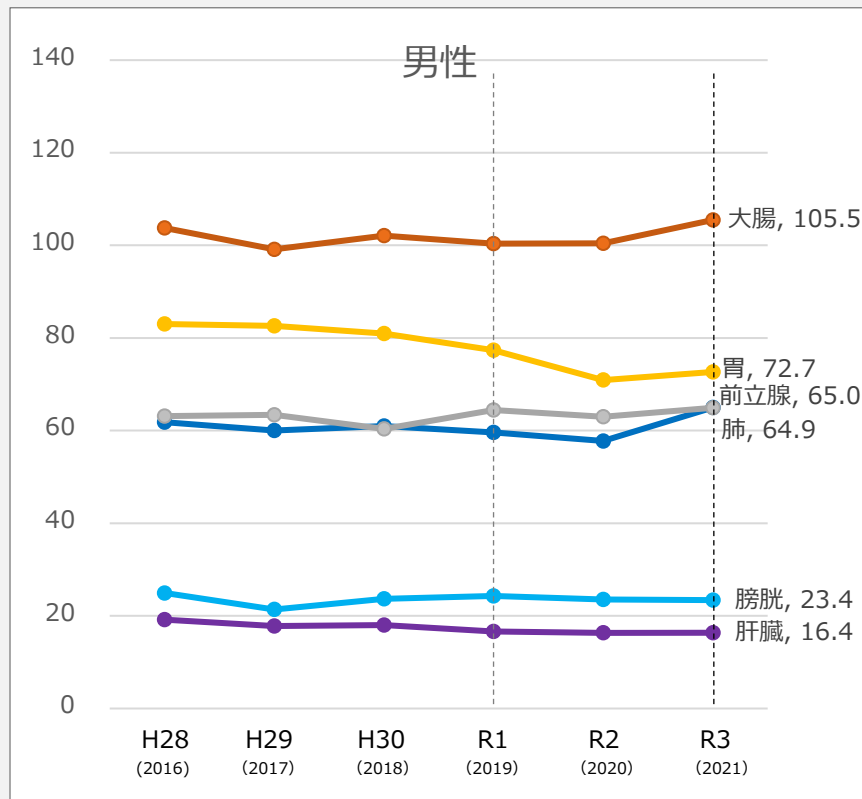


部位別のがん罹患数の年次推移（宮城県・女性）



年齢調整罹患率の年次推移 男女別（宮城県）

部位別 年齢調整罹患率（人口10万人対）（男女別）、宮城県



男性	宮城県						全国
	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R3 (2021)
胃	83.0	82.6	80.9	77.3	70.9	72.7	55.5
肝臓	19.2	17.8	18.0	16.6	16.3	16.4	17.2
前立腺	61.8	60.0	61.0	59.6	57.8	65.0	67.9
肺	63.1	63.4	60.4	64.5	63.0	64.9	60.6
膀胱	25.0	21.4	23.7	24.3	23.6	23.4	25.4
大腸	103.7	99.2	102.1	100.4	100.5	105.5	95.2

女性	宮城県						全国
	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R3 (2021)
胃	29.5	29.6	31.1	27.8	25.4	24.3	20.7
肝臓	6.7	5.3	5.7	4.4	5.2	5.7	5.4
肺	27.1	27.1	25.6	29.0	22.2	26.1	26.9
乳房	118.3	122.8	121.7	120.7	115.5	119.1	117.5
子宮	70.7	65.8	73.3	61.8	72.2	71.6	81.9
膀胱	6.5	5.3	5.2	5.6	5.7	6.1	5.4
大腸	59.2	60.8	56.1	58.6	55.5	64.3	57.0

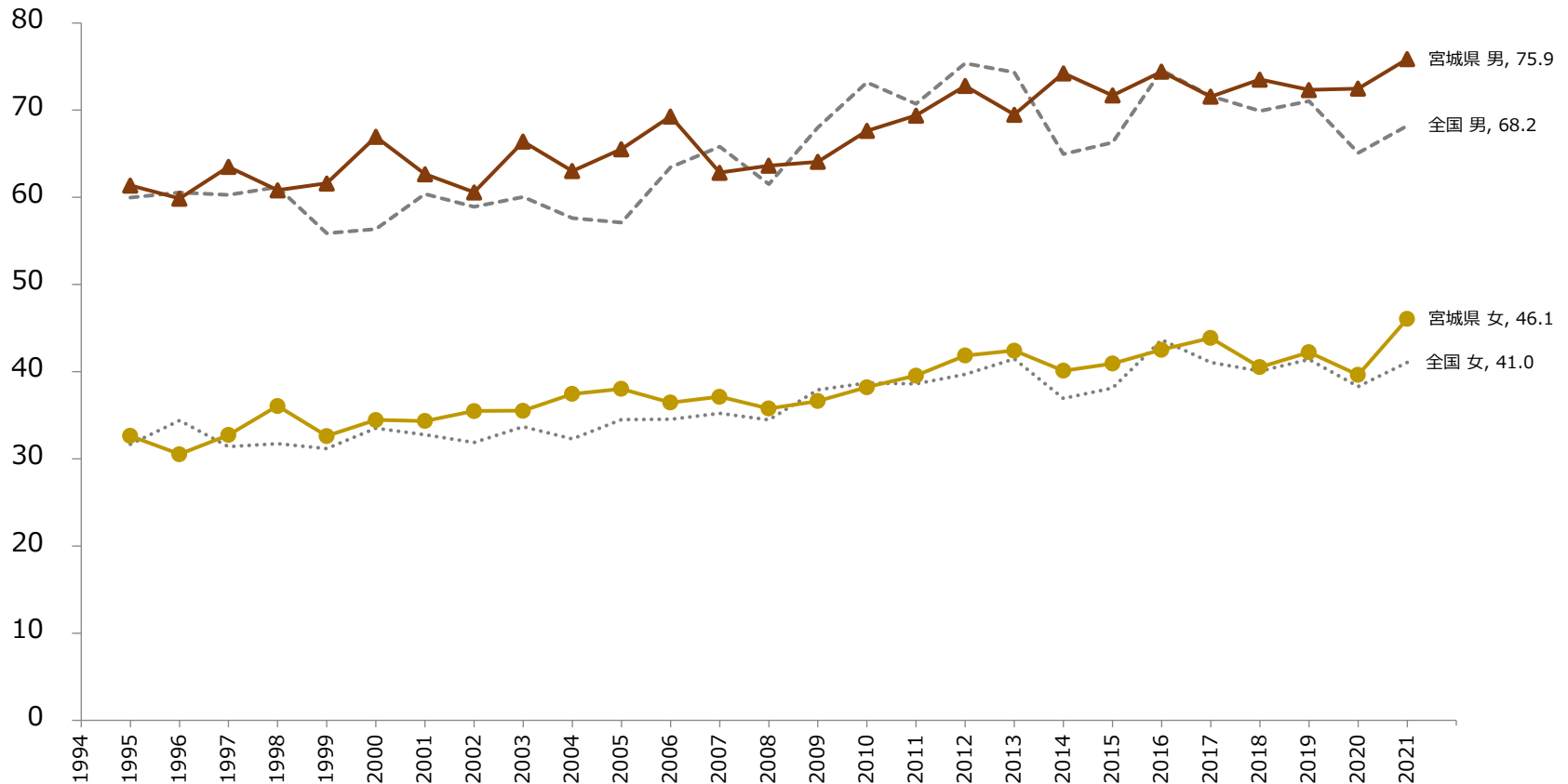
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）
（昭和60年日本人モデル人口）

大腸がんの年齢調整罹患率の推移

(全国・宮城県)

大腸がん（上皮内がんを含む） 年齢調整罹患率 年次推移（1995-2021，男女別）

年齢調整罹患率
(人口10万対)
(世界人口モデル)



出典 全 国： 国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録・地域がん登録全国実測値・高精度地域実測値・全国推計値）

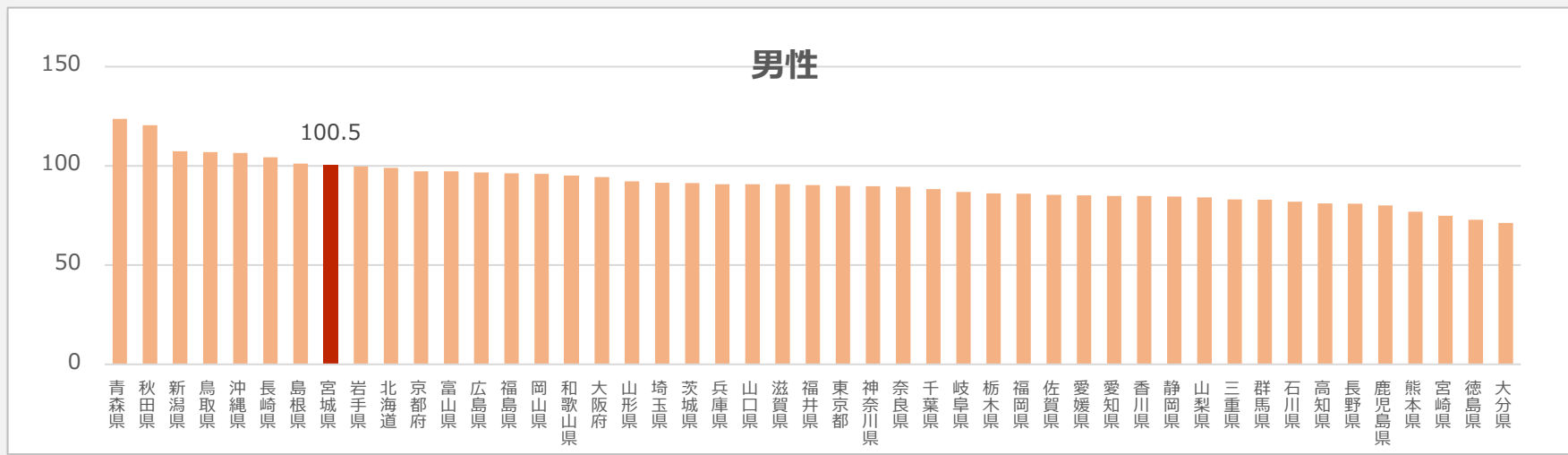
宮城県： 宮城県がん登録情報（宮城県がん登録室集計・再集計値）

注意 上記グラフで、前ページの年齢調整死亡率の値と異なる理由は、世界人口モデルで計算しているため（長期的な傾向を把握するため）

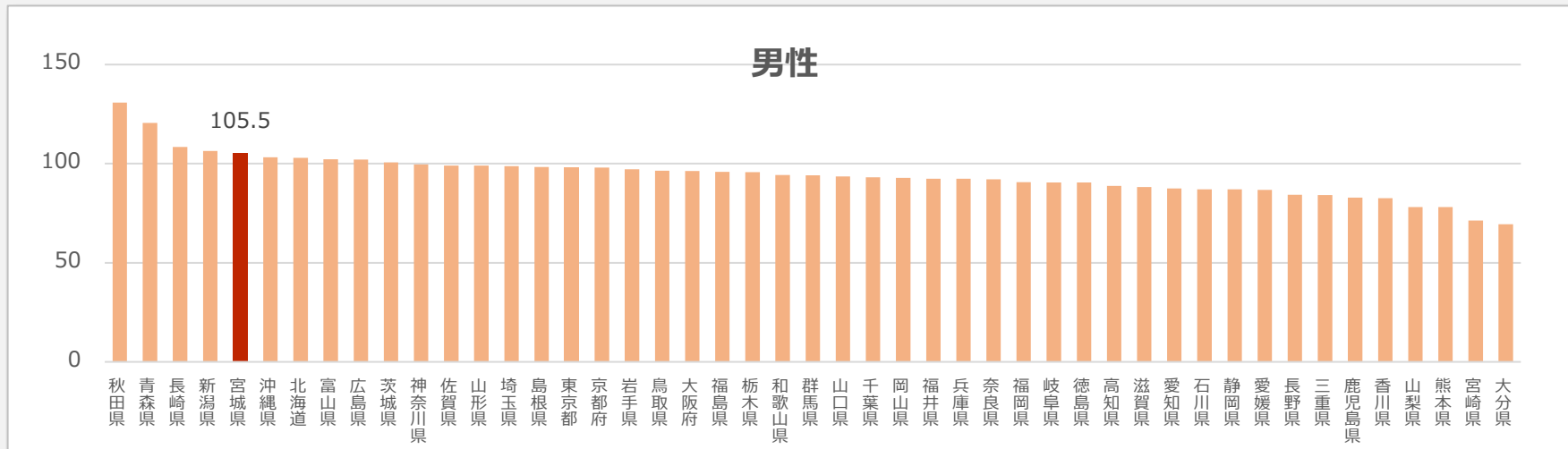
大腸がん年齢調整罹患率 男性 全国順位（宮城県）

大腸がん 年齢調整罹患率（2020, 男性）都道府県別

年齢調整罹患率（人口10万対）（昭和60年人口モデル）



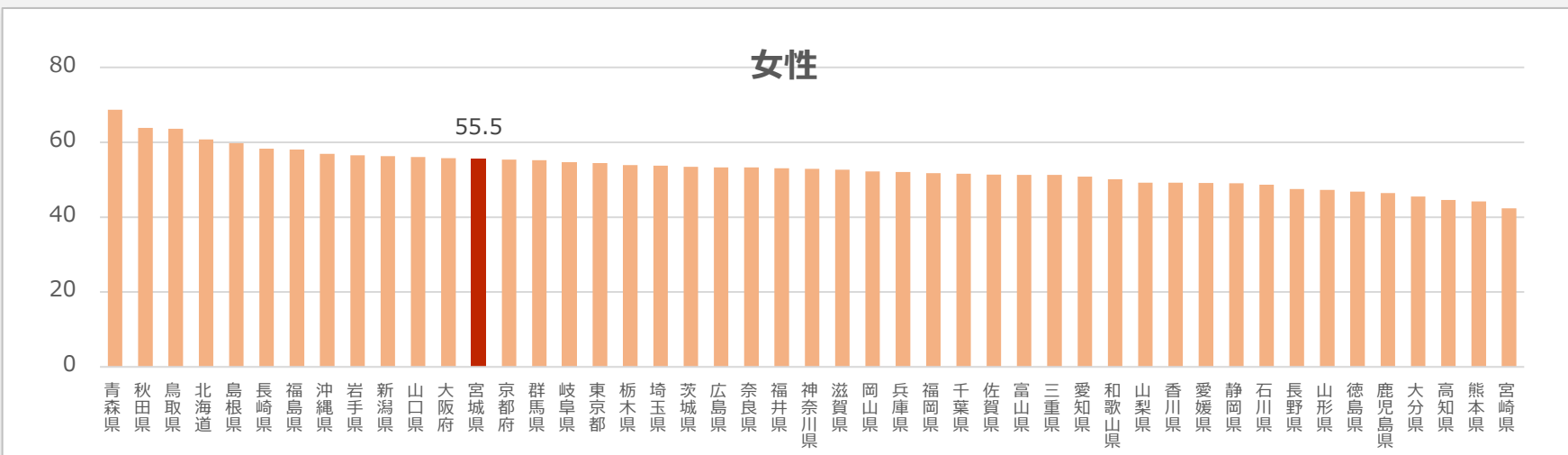
大腸がん 年齢調整罹患率（2021, 男性）都道府県別



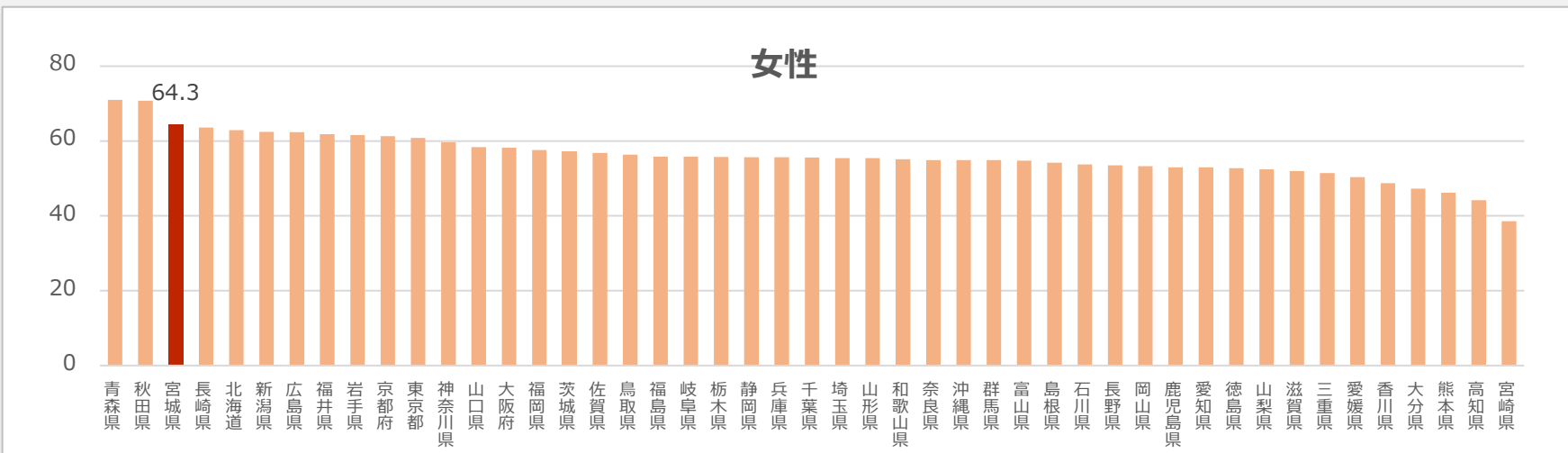
大腸がん年齢調整罹患率 女性 全国順位（宮城県）

大腸がん 年齢調整罹患率（2020，女性）都道府県別

年齢調整罹患率（人口10万対）（昭和60年人口モデル）

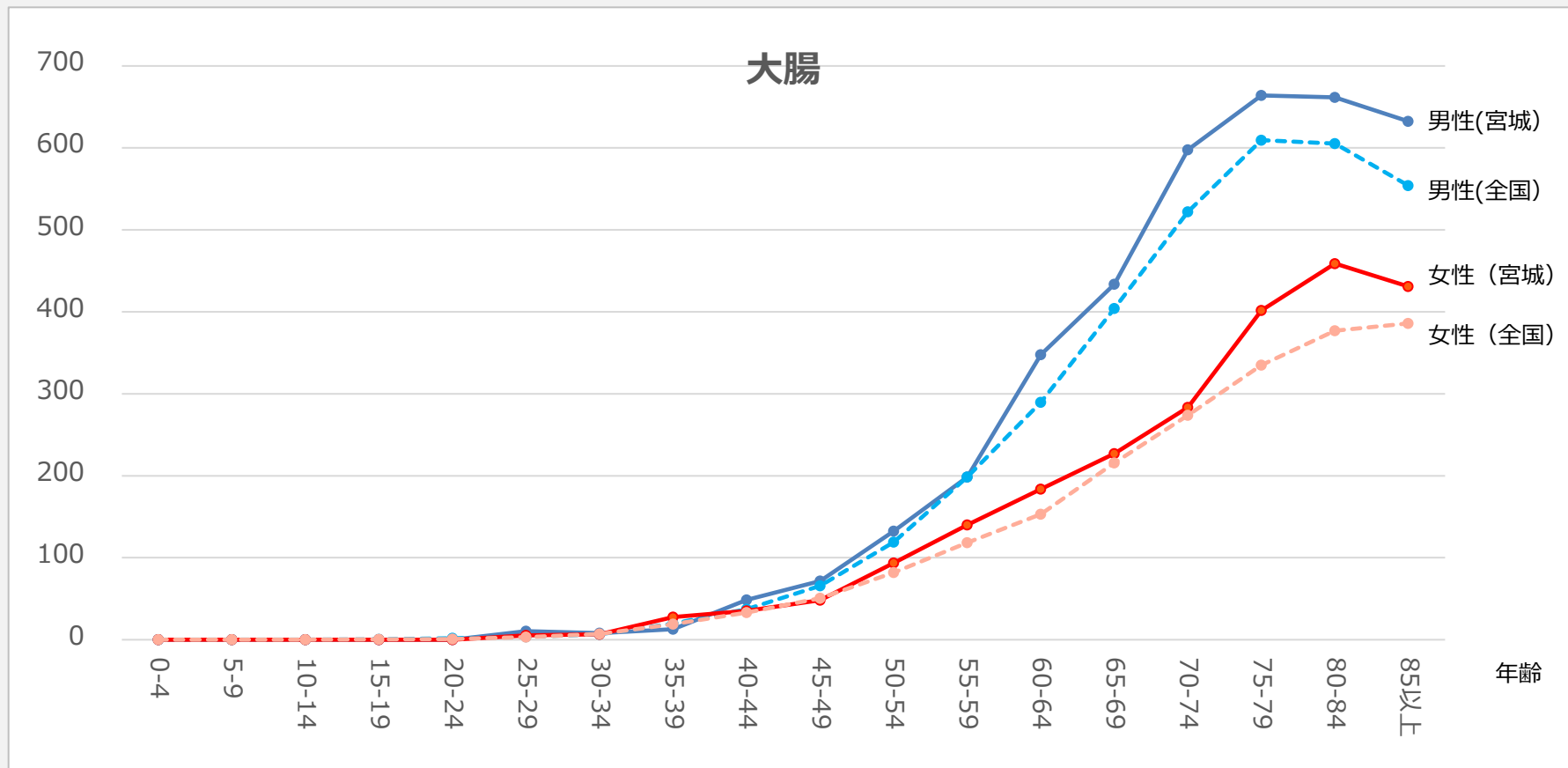


大腸がん 年齢調整罹患率（2021，女性）都道府県別



大腸がん罹患率（年齢階級別）（全国と宮城県）

年齢階級別罹患率（人口10万人対 上皮内がんを含む）



大腸	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85—
男（宮城）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.3	8.1	12.9	48.7	71.6	132.5	198.6	347.9	433.8	597.6	664.0	661.5	632.4
男（全国）	0.0	0.1	0.2	0.5	1.8	3.5	6.7	19.7	37.4	65.8	119.0	198.5	289.7	404.0	522.0	609.5	605.4	554.2
女（宮城）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.4	6.7	27.5	35.1	48.2	93.6	140.0	183.6	227.2	283.5	401.7	458.9	430.9
女（全国）	0.0	0.1	0.1	0.5	0.9	3.1	7.0	19.2	33.0	50.7	81.9	118.3	153.3	215.7	273.7	335.0	377.0	385.9

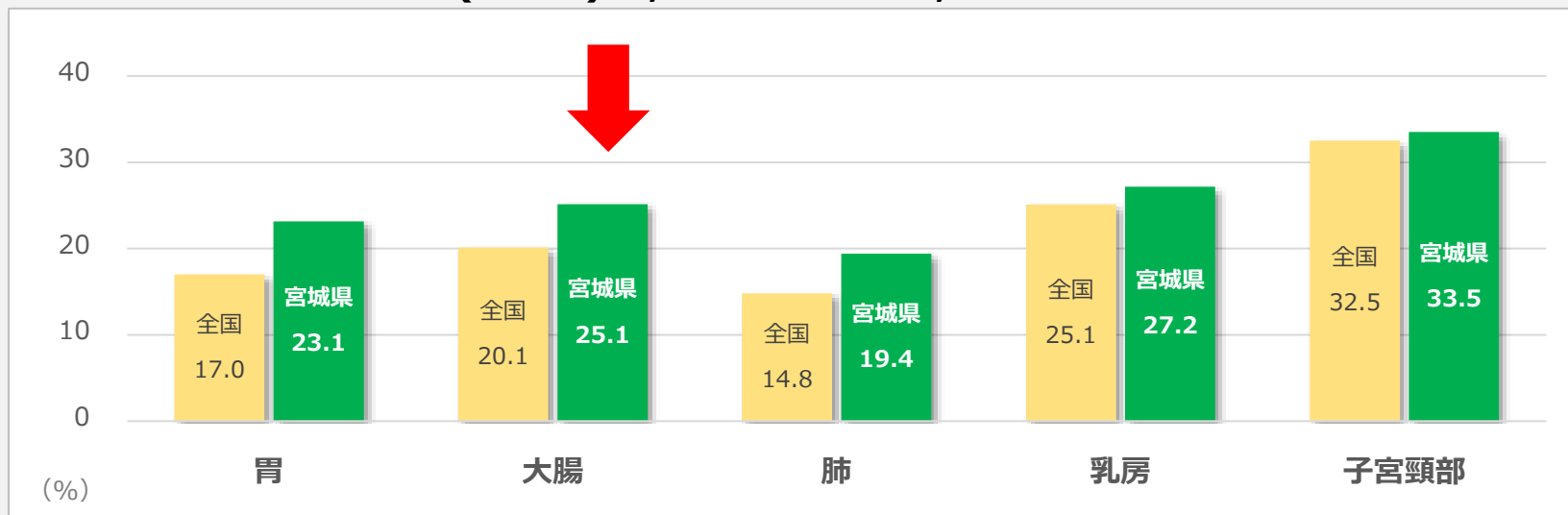
出典：宮城県のがん罹患 ～宮城県がん登録 2021年（令和3年）集計～（宮城県がん登録室集計）

がん検診発見割合

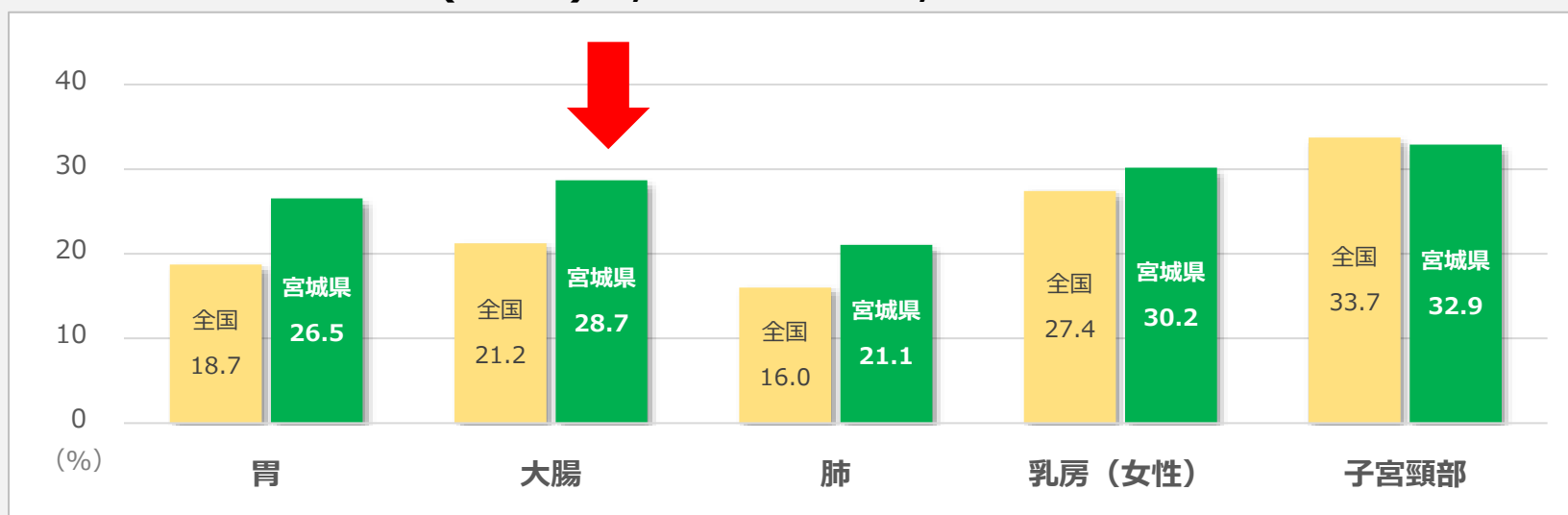
(全国・宮城県)

(上皮内がんを含む DCO：死亡情報
のみで登録された症例を除く)

がん検診発見割合 (R2(2020)年, 全国・宮城県, 男女計)

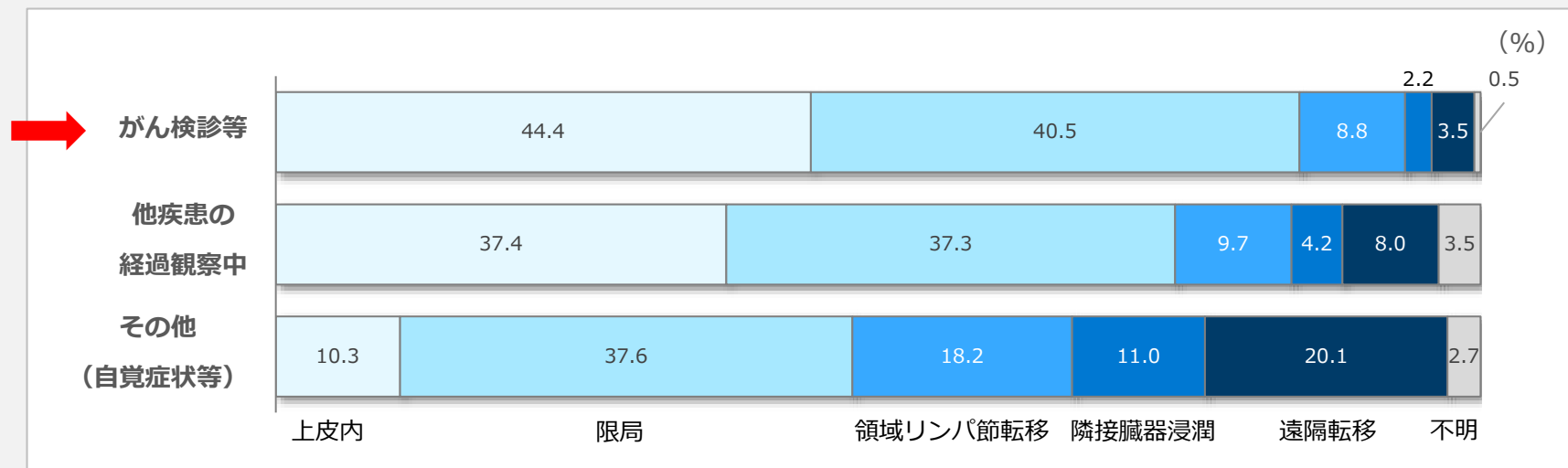


がん検診発見割合 (R3(2021)年, 全国・宮城県, 男女計)

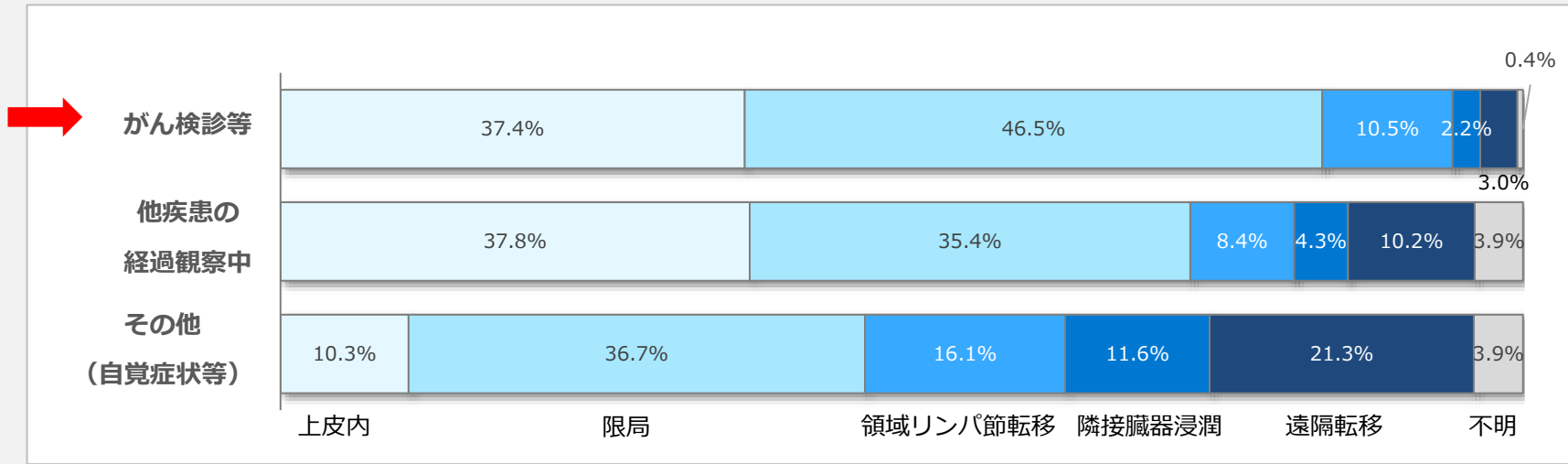


がんの発見経緯と進展度 男性（宮城県）

大腸がん がんの発見経緯と進展度（2020，宮城県，男）

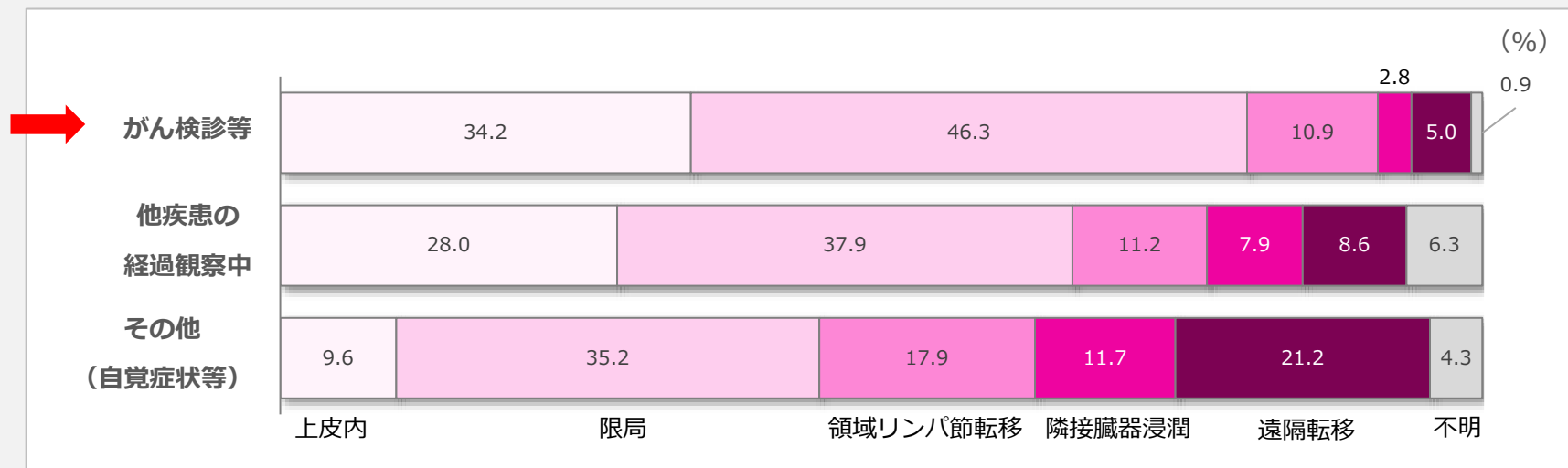


大腸がん がんの発見経緯と進展度（2021，宮城県，男）

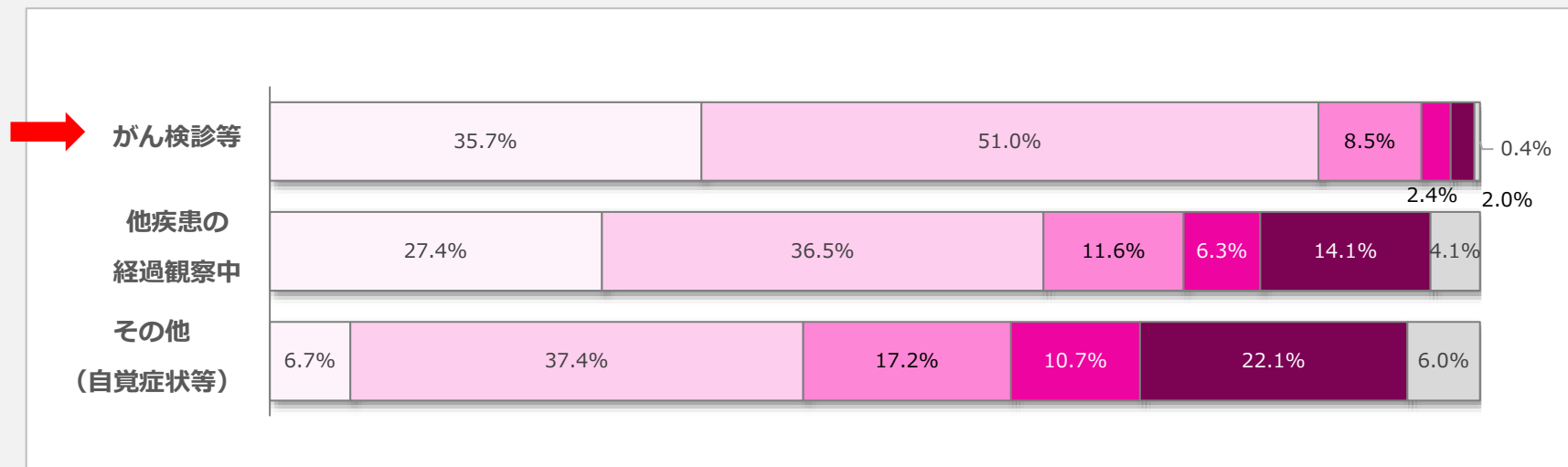


がんの発見経緯と進展度 女性（宮城県）

大腸がん がんの発見経緯と進展度（2020，宮城県，女）

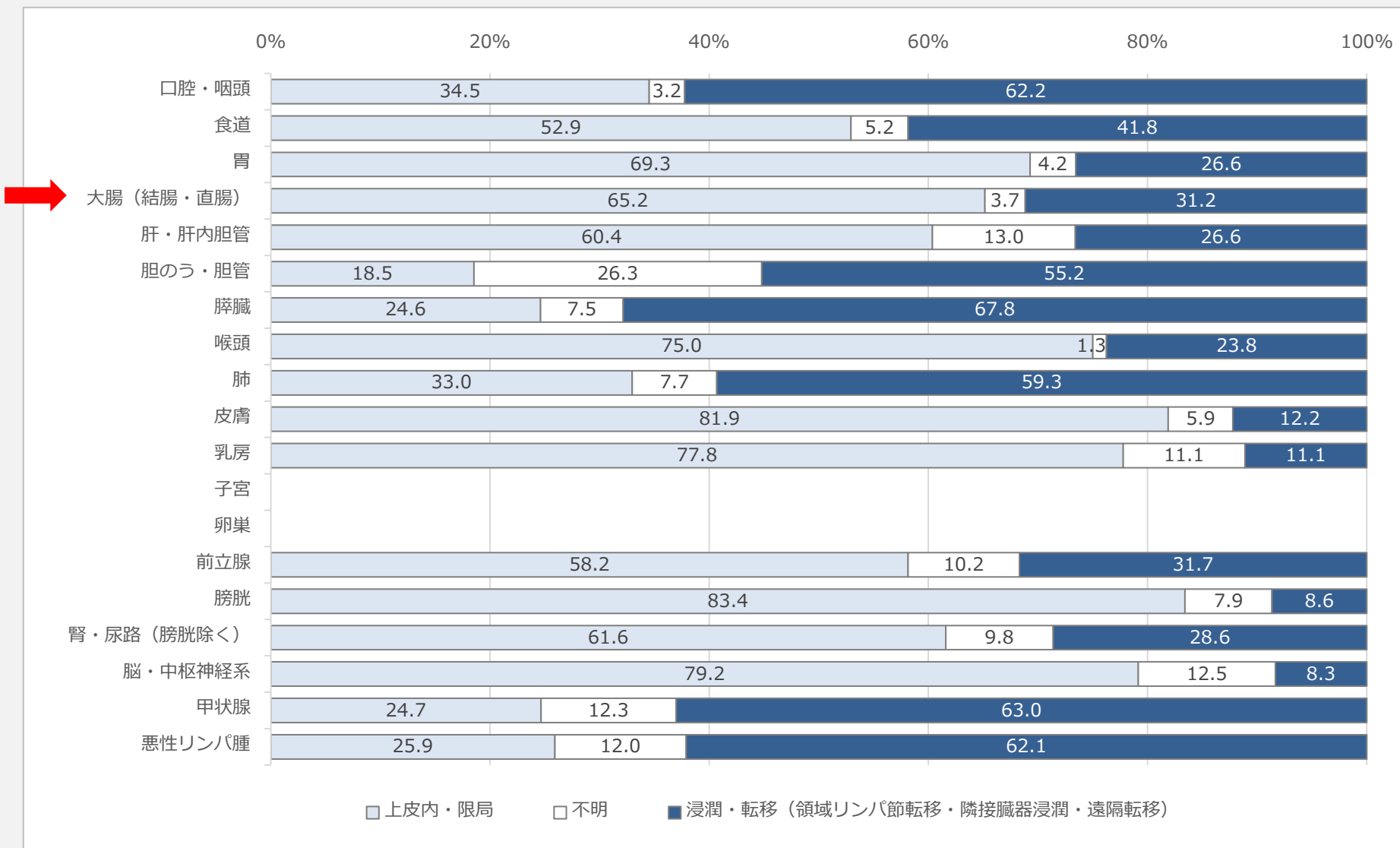


大腸がん がんの発見経緯と進展度（2021，宮城県，女）



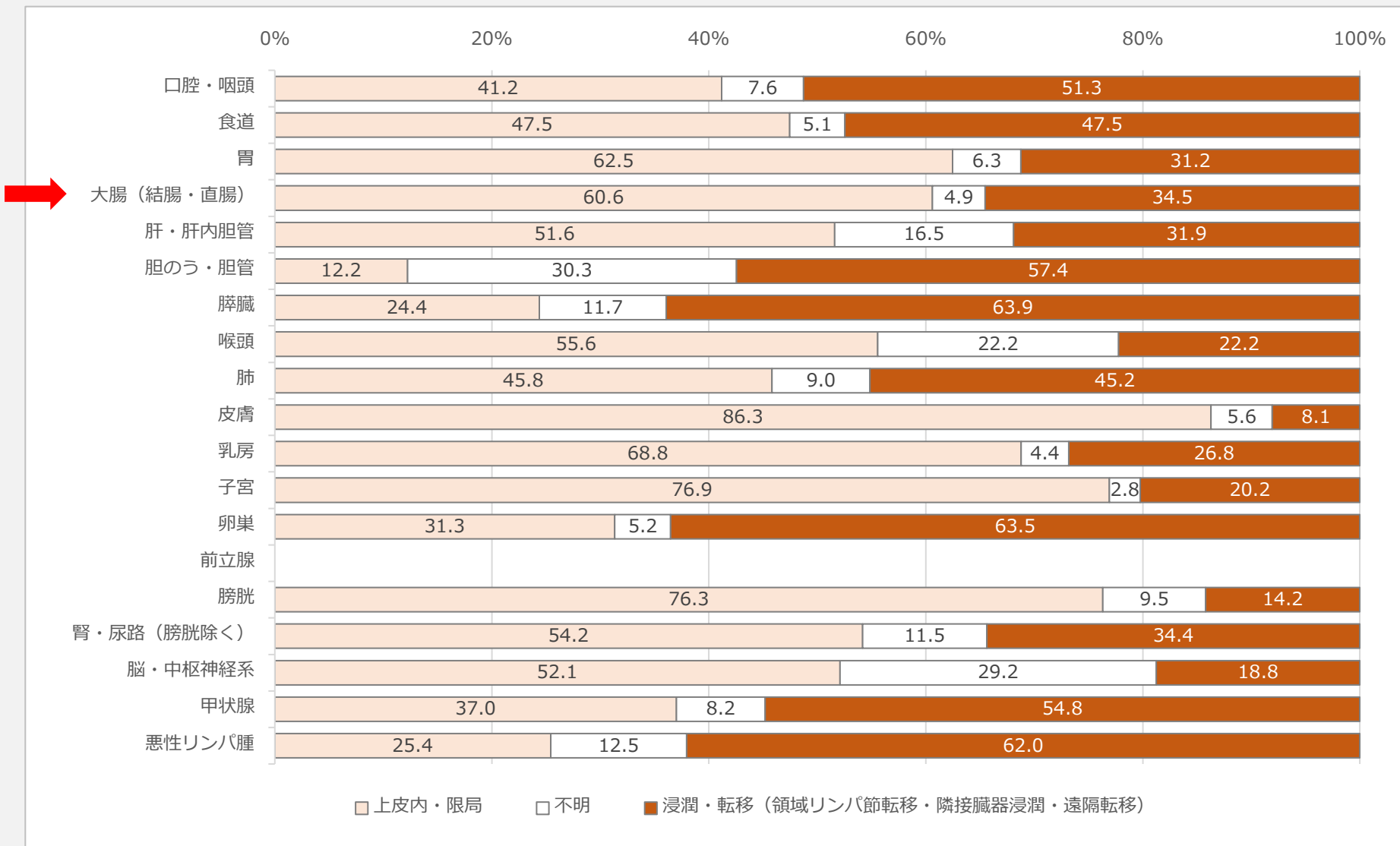
部位別進展度（男性）


がんが発見されたときの進み具合（2021，宮城県，男性）



部位別進展度（女性）

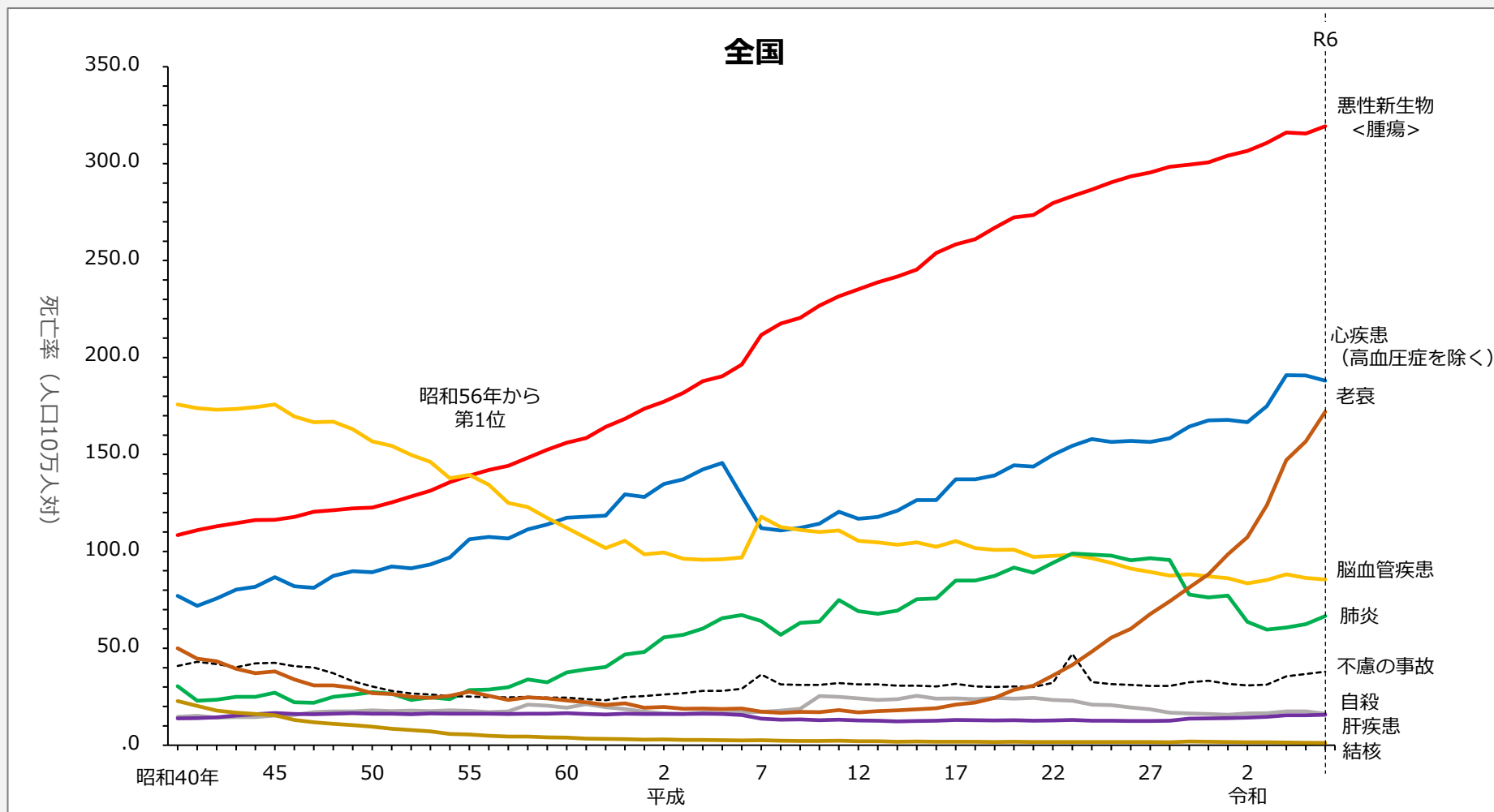
がんが発見されたときの進み具合（2021，宮城県，女性）



- 1 概要調査結果（指針に基づく実施状況）
- 2 チェックリスト遵守状況調査結果
- 3 プロセス指標（要精検率、がん発見率など）
-  4 アウトカム指標（がん罹患、死亡数）

(余 白)

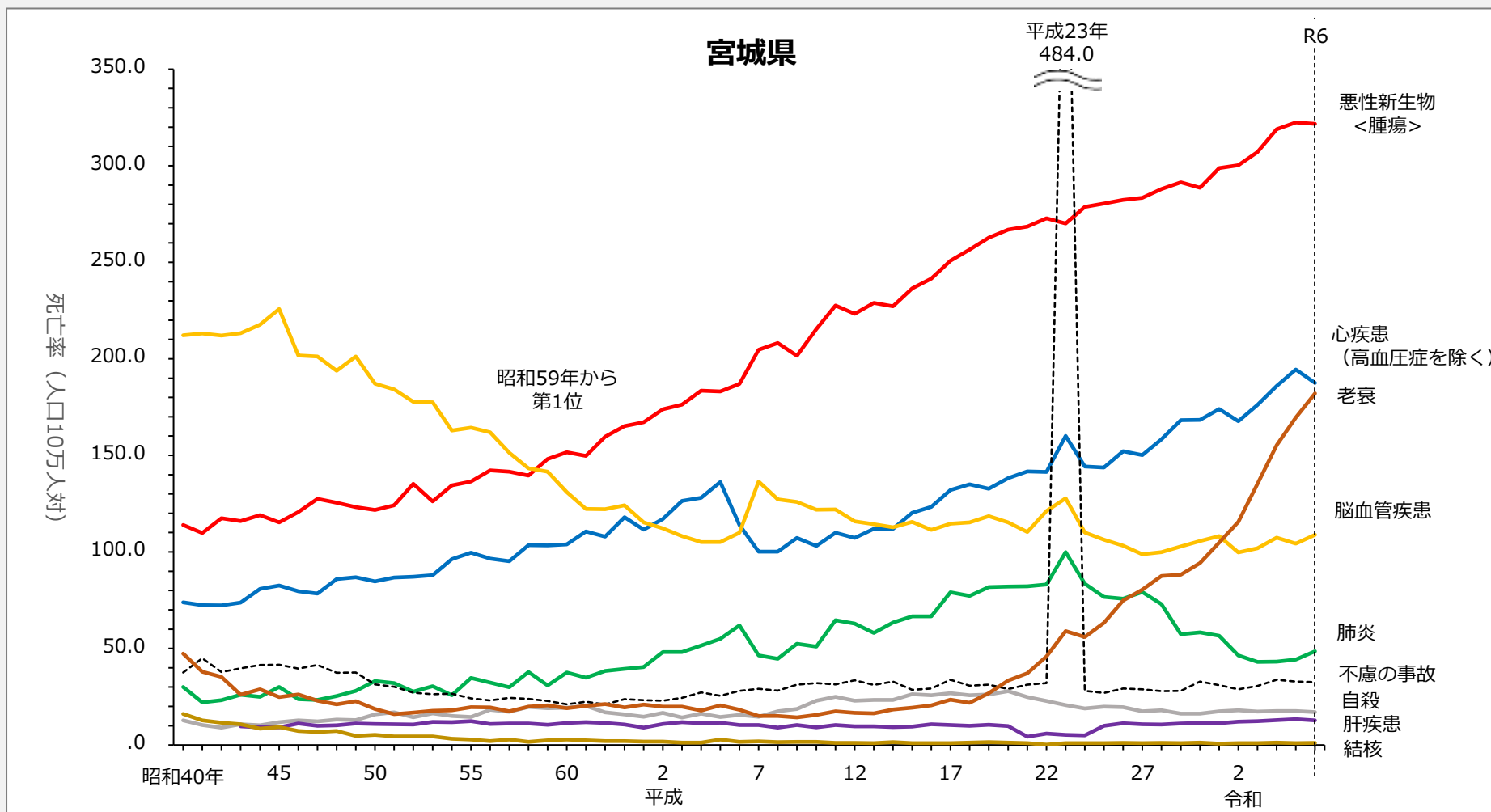
【全国】主な死因別にみた死亡率（人口10万対）の年次推移



年	悪性新生物 <腫瘍>	心疾患 (高血圧症を除く)	老衰	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故	自殺	肝疾患	結核
R3(2021)	310.7	174.9	123.8	85.2	59.6	31.2	16.5	14.7	1.5
R4(2022)	316.1	190.9	147.1	88.1	60.7	35.6	17.4	15.5	1.4
R5(2023)	315.6	190.7	156.7	86.3	62.5	36.7	17.4	15.4	1.3
R6(2024)	319.3	188.1	172.0	85.5	66.6	38	16.3	15.7	1.2

出典：
厚生労働省
人口動態統計
(確定数)

【宮城】主な死因別にみた死亡率（人口10万対）の年次推移



年	悪性新生物 <腫瘍>	心疾患 (高血圧性を除く)	老衰	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故	自殺	肝疾患	結核
R3(2021)	307.1	176.2	135.3	101.9	43.1	30.6	17.3	12.3	0.9
R4(2022)	318.9	185.9	155.3	107.4	43.2	33.8	17.6	12.9	1.2
R5(2023)	322.4	194.5	169.6	104.2	44.2	32.9	17.6	13.4	0.9
R6(2024)	321.7	187.5	182.1	108.9	48.6	32.6	17.1	12.8	1.1

出典：
厚生労働省
人口動態統計
(確定数)

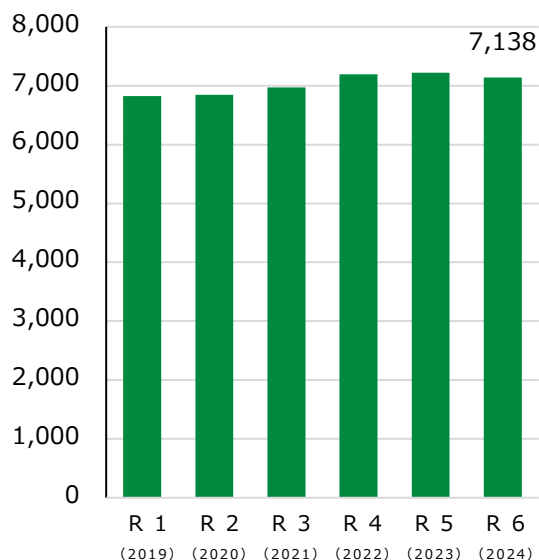
がん死亡数の年次推移 全部位（宮城県）

がん死亡数の推移（宮城県）

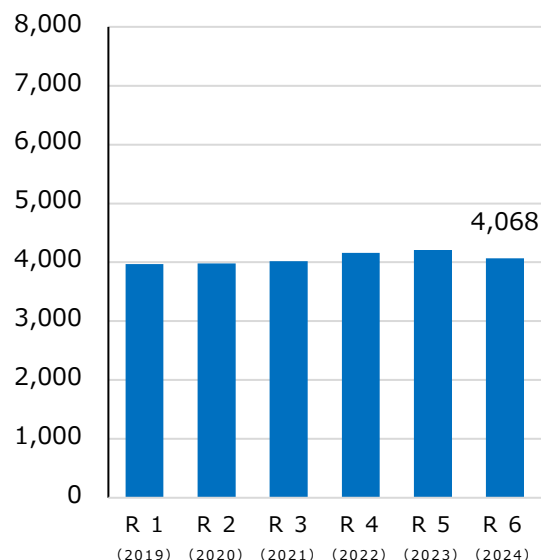
（参考）全国

宮城県	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R6 (2024)
計	6,822	6,845	6,969	7,195	7,219	7,138	384,111
男	3,968	3,982	4,017	4,158	4,210	4,068	221,786
女	2,854	2,863	2,952	3,037	3,009	3,070	162,325

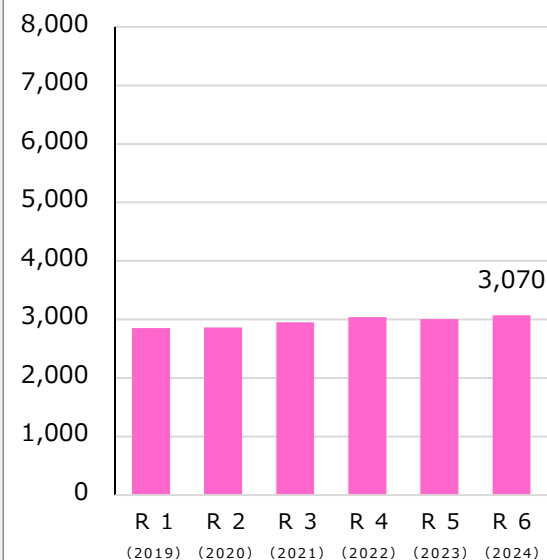
総数（男女計）



男性



女性



主な部位別のがん死亡数の年次推移（宮城県）

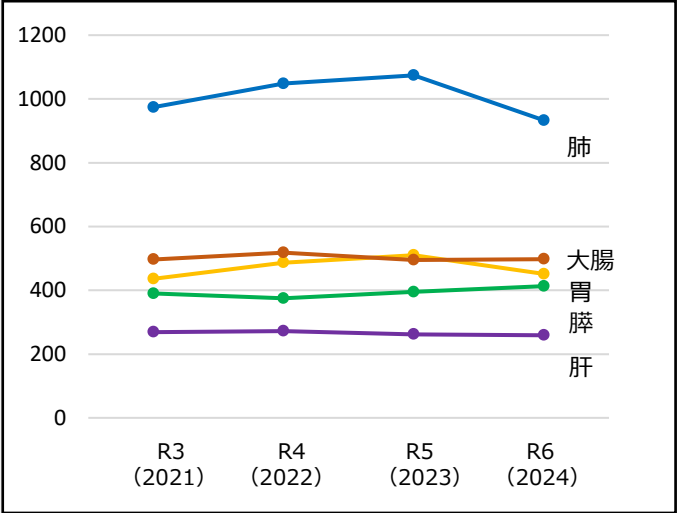
部位別がん死亡数の推移（男）

男	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
胃	436	487	510	451
肺	974	1048	1074	933
肝臓	269	272	262	259
膵臓	390	375	395	413
大腸	497	518	495	498

令和 6 (2024) 年
部位別がん死亡数の順位（男）

順位	宮城県	全国
1位	肺がん	肺がん
2位	大腸がん	大腸がん
3位	胃がん	胃がん
4位	膵臓がん	膵臓がん
5位	肝臓がん	肝臓がん

部位別がん死亡数の推移（男）



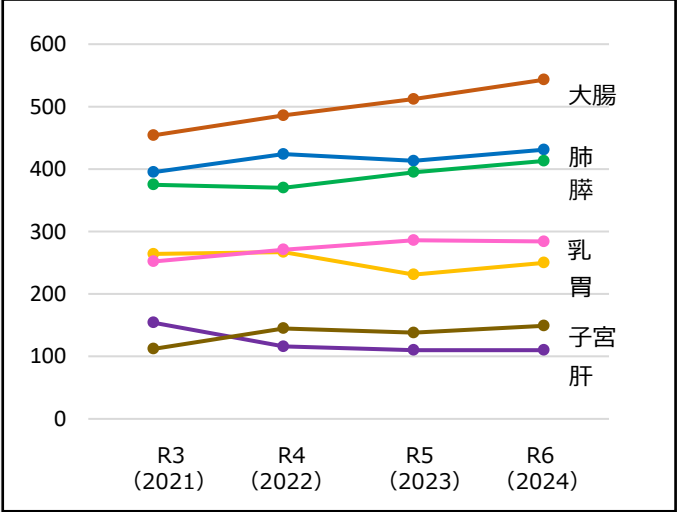
部位別がん死亡数の推移（女）

女	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
胃	264	267	231	250
肺	395	424	413	431
肝臓	154	116	110	110
膵臓	375	370	395	413
大腸	454	486	512	543
子宮	112	145	138	149
乳房	252	271	286	284

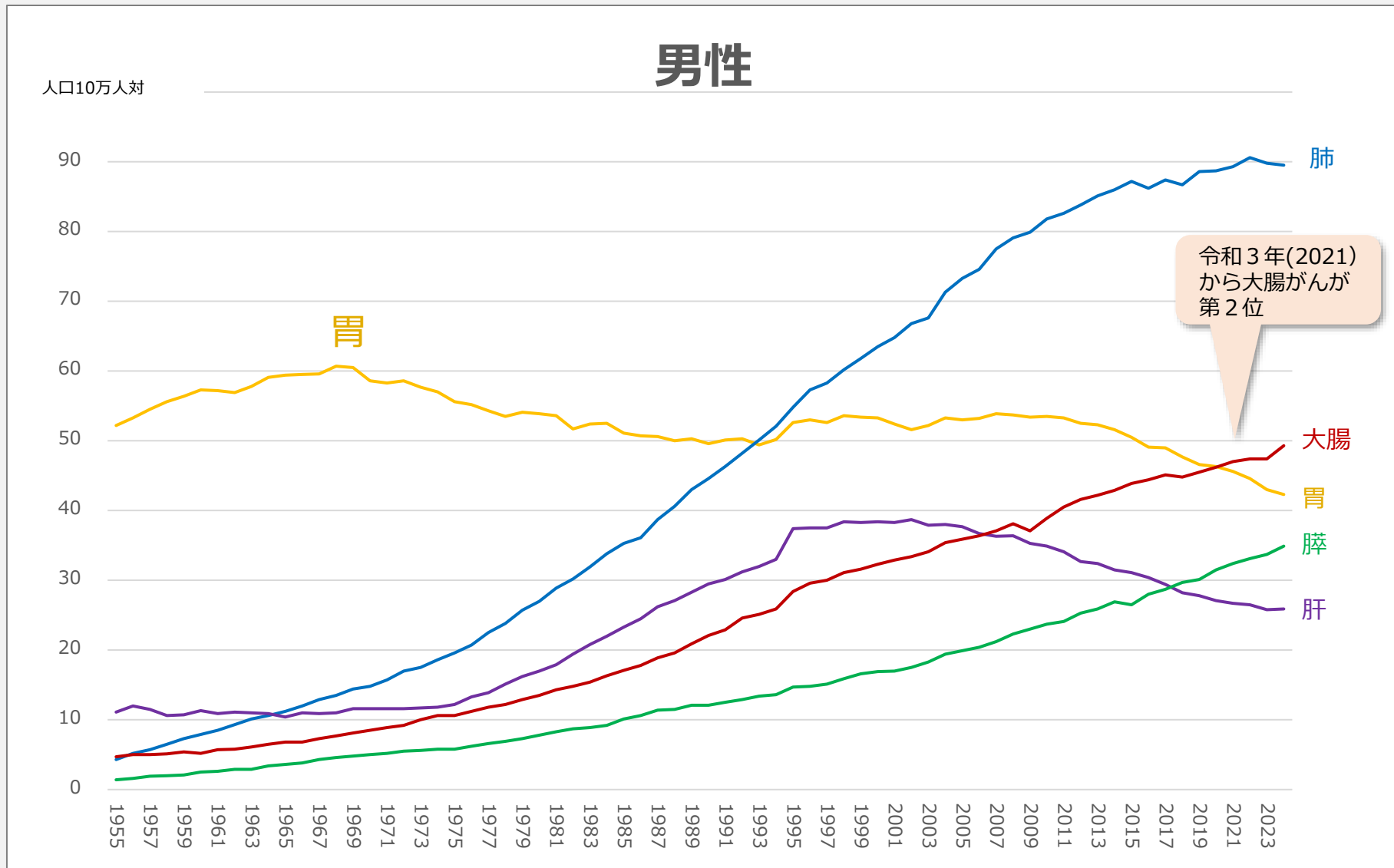
令和 6 (2024) 年
部位別がん死亡数の順位（女）

順位	宮城県	全国
1位	大腸がん	大腸がん
2位	肺がん	肺がん
3位	膵臓がん	膵臓がん
4位	乳がん	乳がん
5位	胃がん	胃がん

部位別がん死亡数の推移（女）

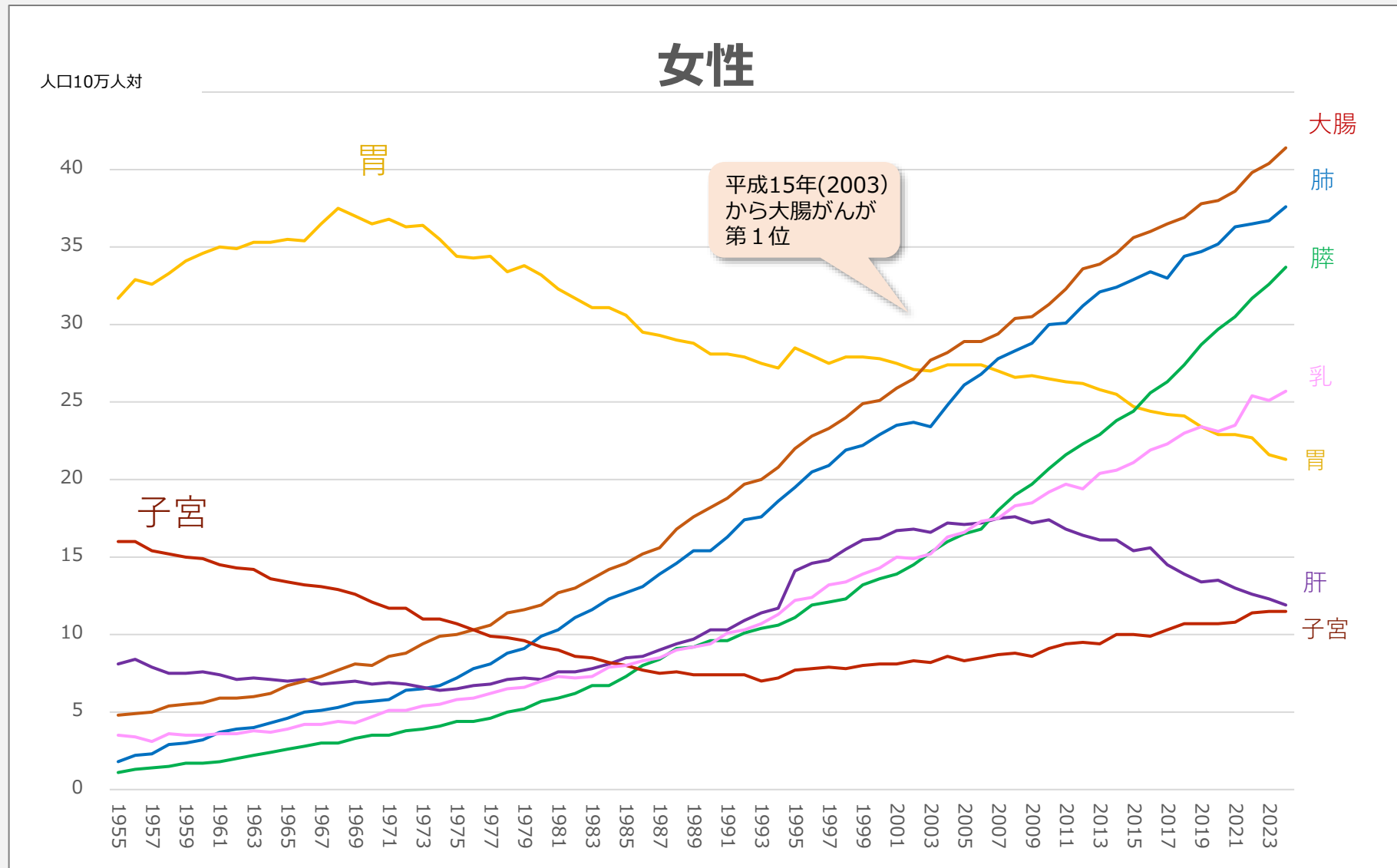


がんの部位ごとの死亡率の年次推移 男性（全国）



出典：厚生労働省 令和6年(2024)人口動態統計月報年計（概数）の概況

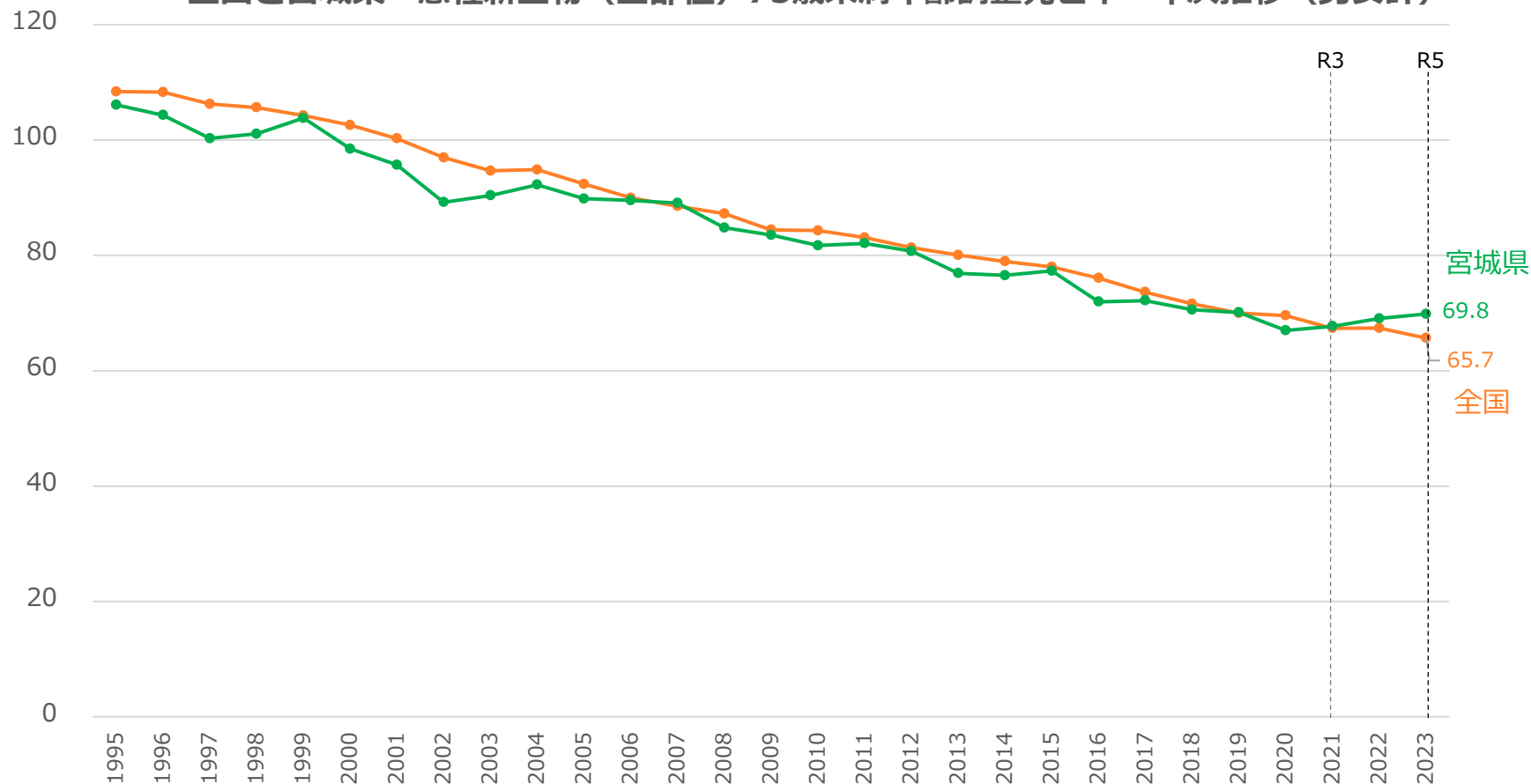
がんの部位ごとの死亡率の年次推移 女性（全国）



出典：厚生労働省 令和6年(2024)人口動態統計月報年計（概数）の概況

75歳未満の年齢調整死亡率の推移（全国・宮城県）

全国と宮城県 悪性新生物（全部位）75歳未満年齢調整死亡率 年次推移（男女計）

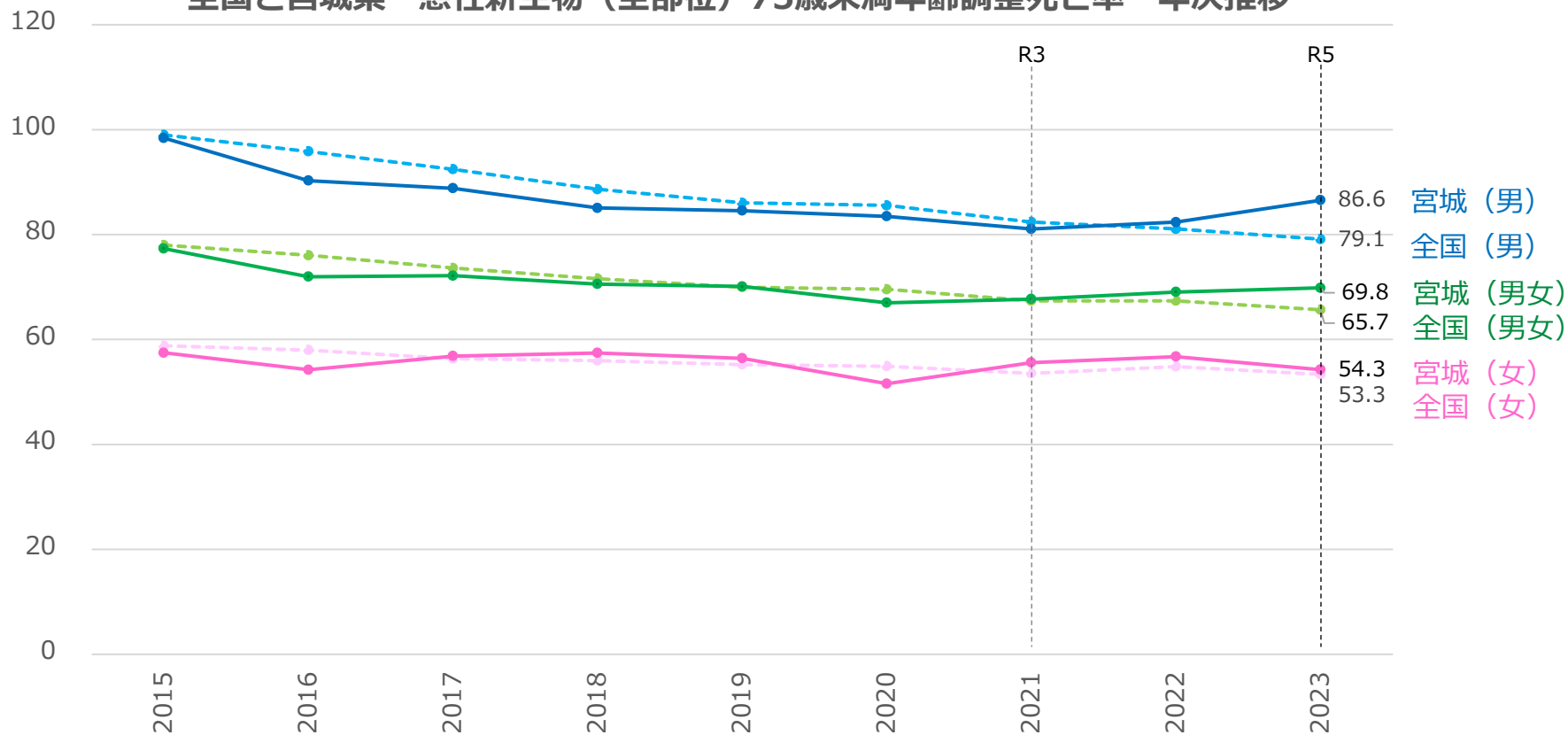


男女計	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)
全国	78.0	76.1	73.6	71.6	70.0	69.6	67.4	67.4	65.7
宮城県	77.3	72.0	72.2	70.6	70.1	67.0	67.7	69.1	69.8

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）全がん死亡数・粗死亡率・年齢調整死亡率から県でグラフ化
 （注）基準人口は昭和60年（1985年）モデル人口を使用

年齢調整死亡率の男女別年次推移 (H27 (2015) -R5 (2023) 年)

全国と宮城県 悪性新生物（全部位）75歳未満年齢調整死亡率 年次推移



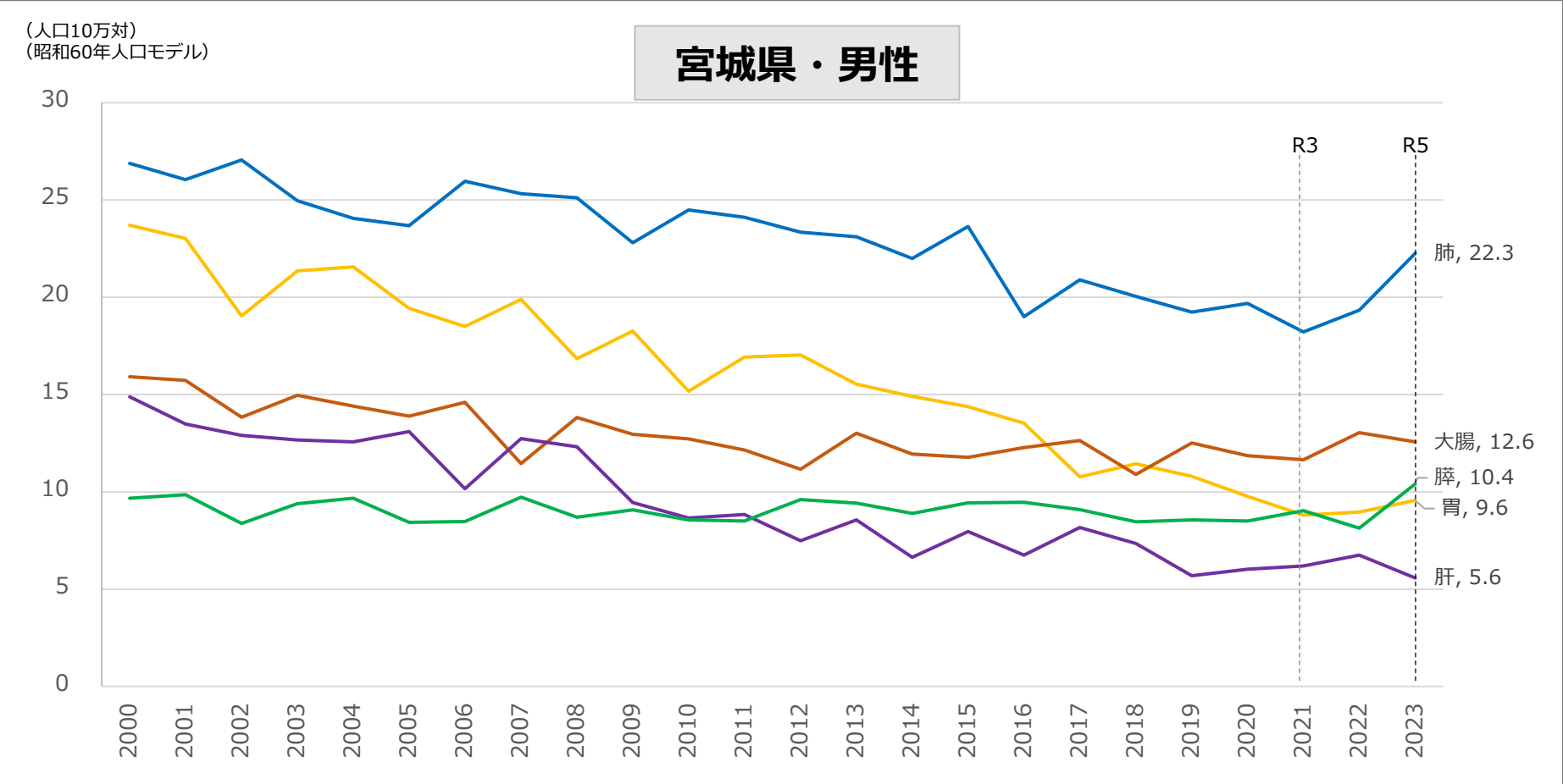
性別	都道府県	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)
男女計	全国	78.0	76.1	73.6	71.6	70.0	69.6	67.4	67.4	65.7
	宮城県	77.3	72.0	72.2	70.6	70.1	67.0	67.7	69.1	69.8
男	全国	99.0	95.8	92.5	88.6	86.0	85.6	82.4	81.1	79.1
	宮城県	98.4	90.3	88.8	85.1	84.6	83.5	81.1	82.4	86.6
女	全国	58.8	58.0	56.4	56.0	55.2	54.9	53.6	54.9	53.3
	宮城県	57.5	54.2	56.8	57.4	56.4	51.6	55.6	56.8	54.3

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）全がん死亡数・粗死亡率・年齢調整死亡率から県でグラフ化

(注) 基準人口は昭和60年（1985年）モデル人口を使用

年齢調整死亡率 部位別の推移 男性（宮城県）

悪性新生物 部位別75歳未満年齢調整死亡率（人口10万人対）年次推移（2000-2023，宮城県，男性）



部位 (男性)	宮城県					全国
	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R5 (2023)
胃	10.8	9.8	8.8	9.0	9.6	8.4
大腸	12.5	11.9	11.6	13.0	12.6	12.3
肝	5.7	6.0	6.2	6.8	5.6	5.4
膵	8.6	8.5	9.0	8.1	10.4	8.7
肺	19.2	19.7	18.2	19.3	22.3	17.8

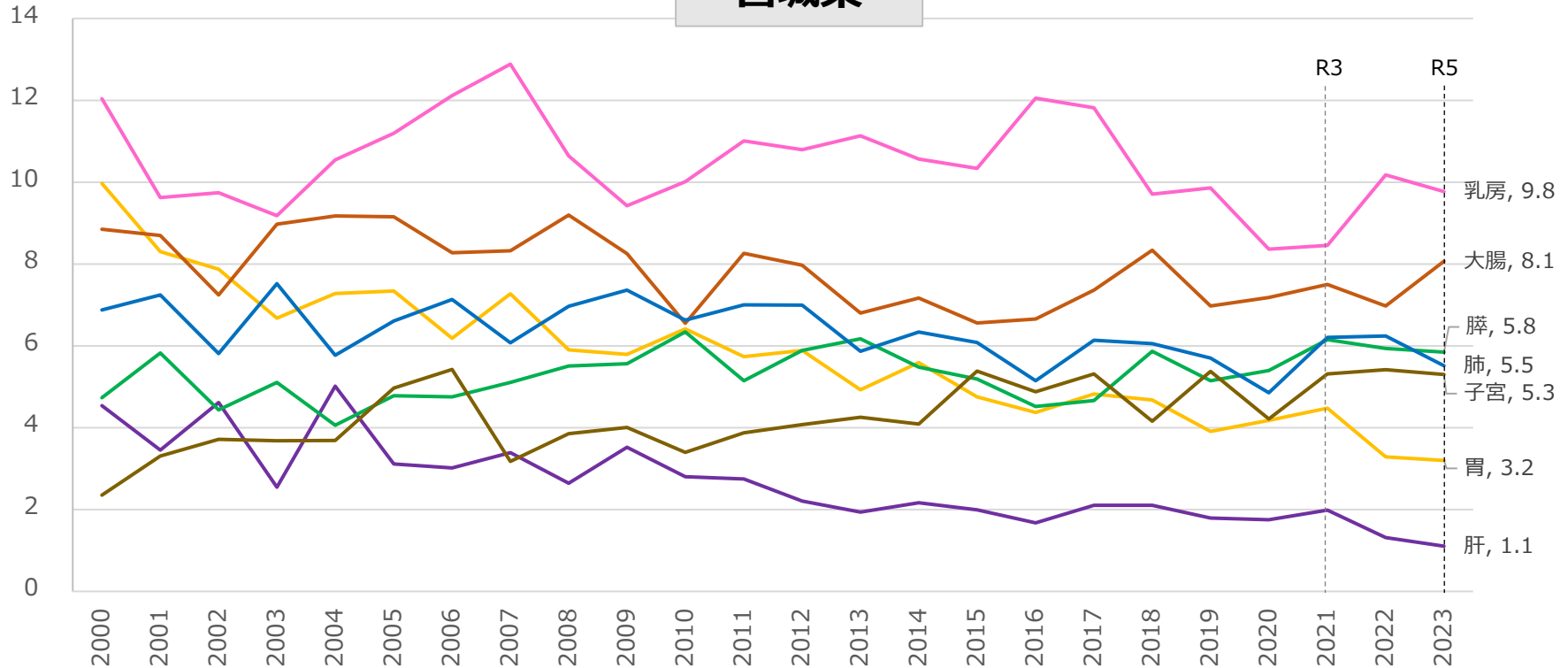
出典 国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」
(厚生労働省人口動態統計)
都道府県別、年別、性別、悪性新生物部位別
75歳未満年齢調整死亡率（人口10万人対）

年齢調整死亡率 部位別の推移 女性（宮城県）

悪性新生物 部位別75歳未満年齢調整死亡率（人口10万人対）年次推移（2000-2023，宮城県，女性）

（人口10万対）
（昭和60年人口モデル）

宮城県



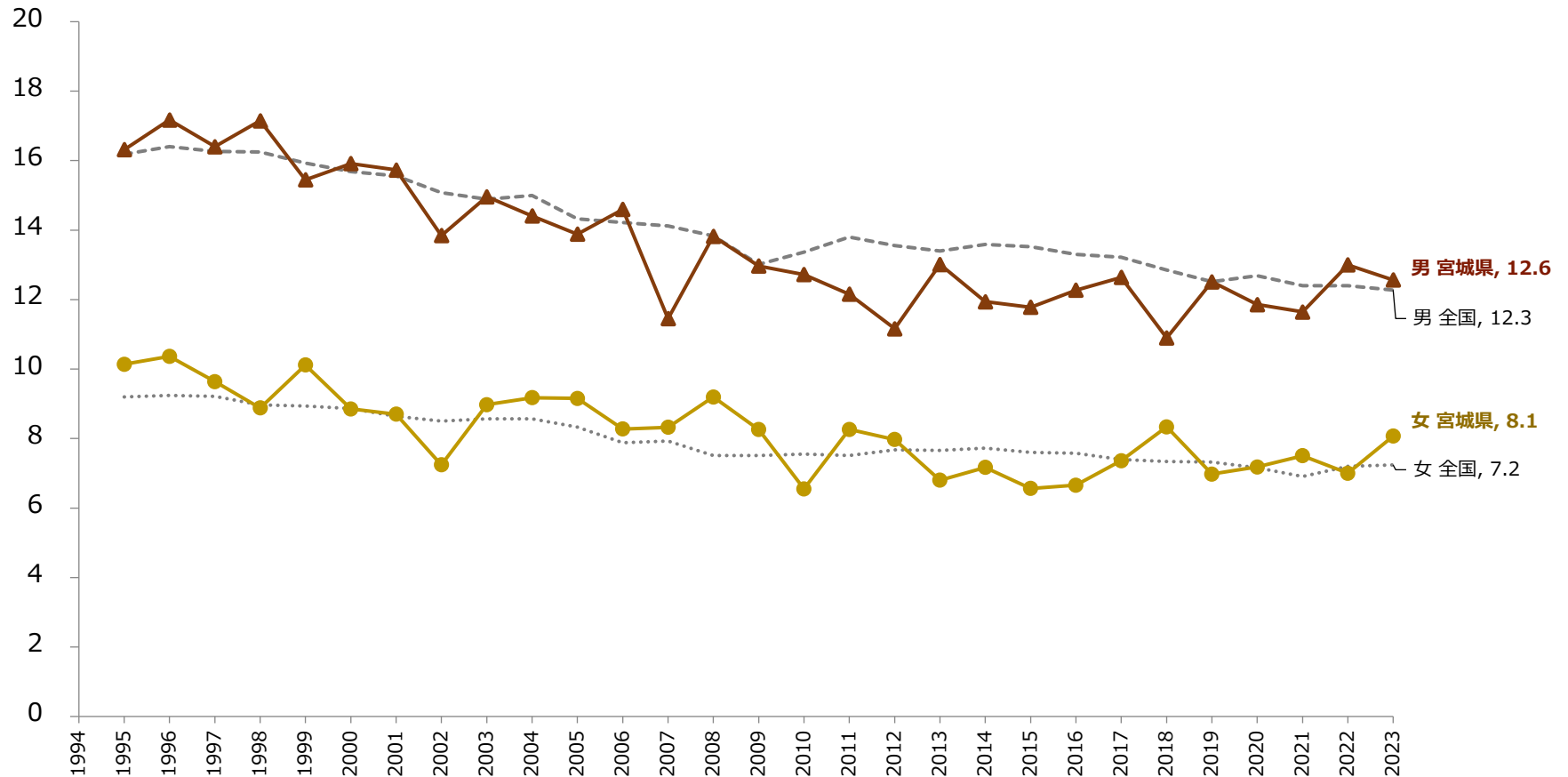
部位 (女性)	宮城県					全国
	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R5 (2023)
胃	3.9	4.2	4.5	3.3	3.2	3.3
大腸	7.0	7.2	7.5	7.0	8.1	7.2
肝	1.8	1.8	2.0	1.3	1.1	1.4
膵	5.1	5.4	6.2	5.9	5.8	5.5
肺	5.7	4.9	6.2	6.2	5.5	5.6
乳房	9.9	8.4	8.5	10.2	9.8	10.0
子宮	5.4	4.2	5.3	5.4	5.3	5.1

出典 国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」
（厚生労働省人口動態統計）
都道府県別、年別、性別、悪性新生物部位別
75歳未満年齢調整死亡率（人口10万人対）

大腸がん年齢調整死亡率 男女別 経年 (全国・宮城県)

大腸がん 75歳未満年齢調整死亡率 年次推移 (1995-2023, 男女別)

75歳未満年齢調整死亡率
(人口10万対)
(昭和60年人口モデル)

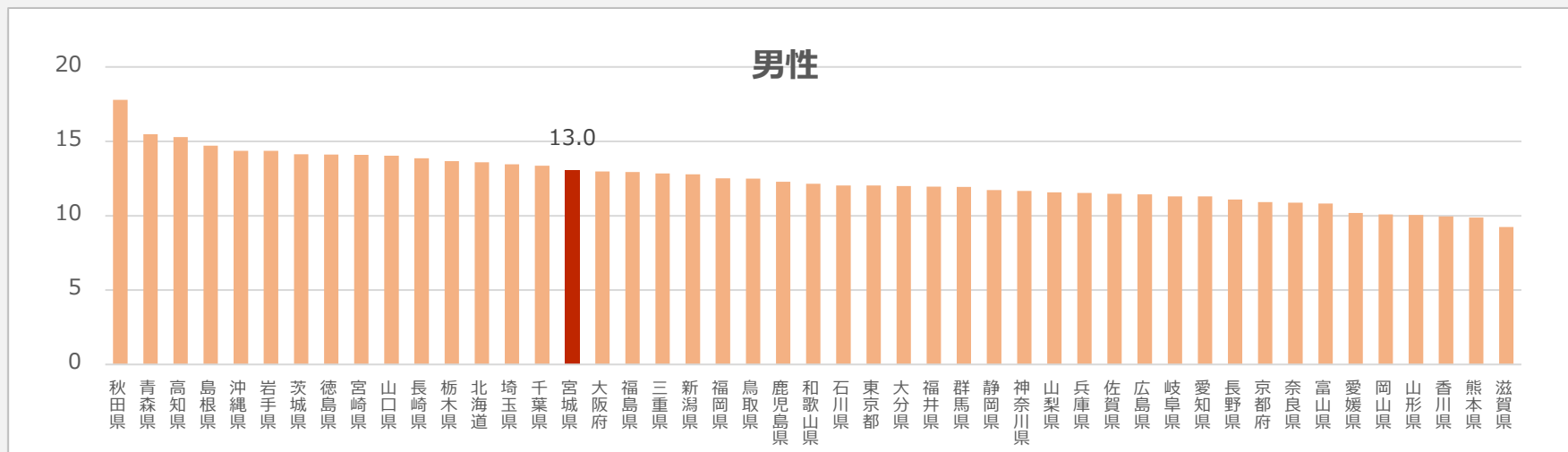


(余 白)

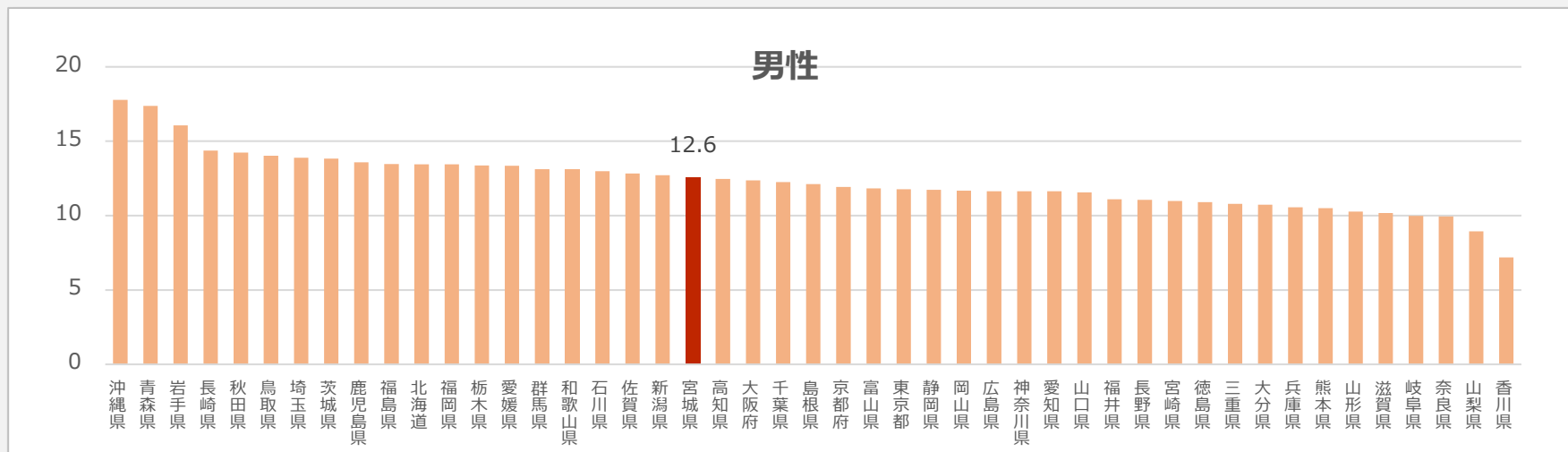
大腸がん年齢調整死亡率 男性 全国順位（宮城県）

大腸がん 75歳未満年齢調整死亡率（2022, 男性）都道府県別

年齢調整罹患率（人口10万対）（昭和60年人口モデル）



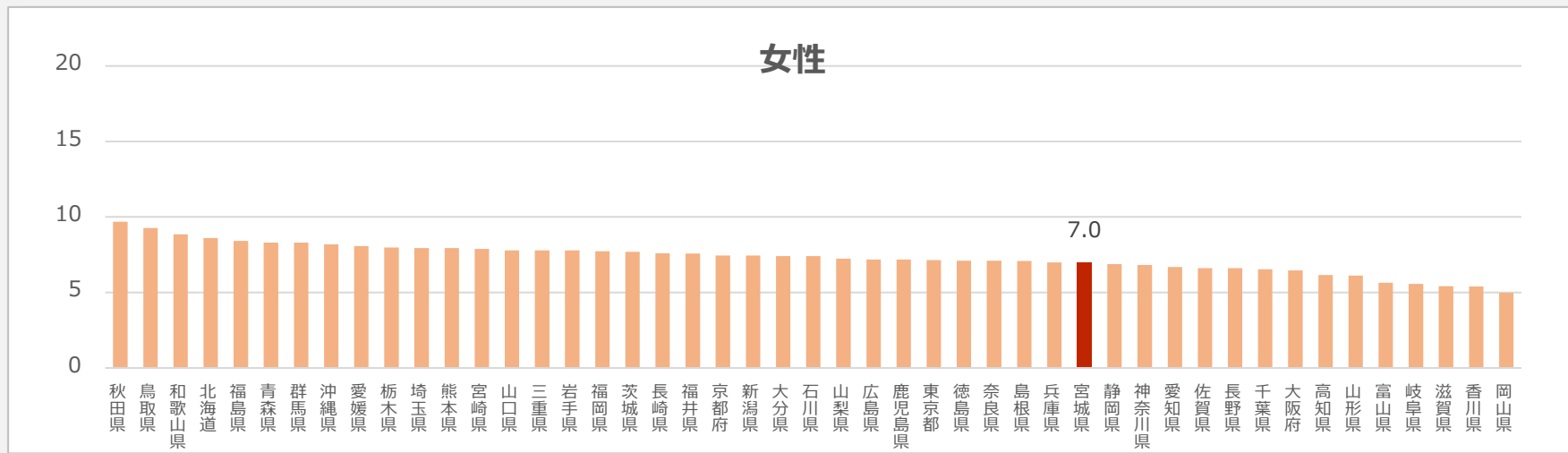
大腸がん 75歳未満年齢調整死亡率（2023, 男性）都道府県別



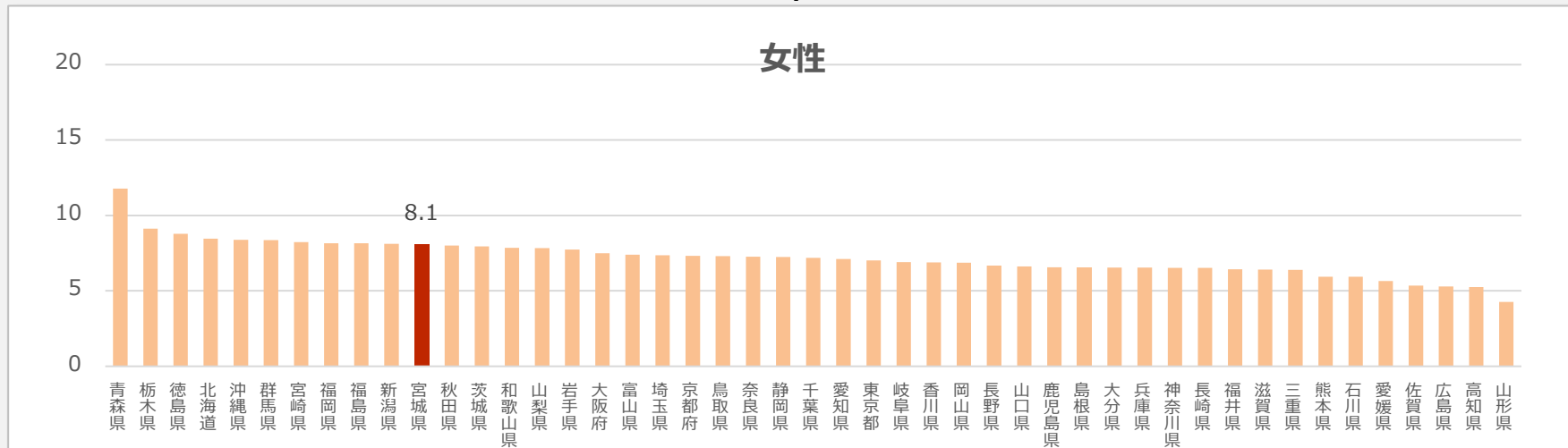
大腸がん年齢調整死亡率 女性 全国順位（宮城県）

大腸がん 75歳未満年齢調整死亡率（2022，女性）都道府県別

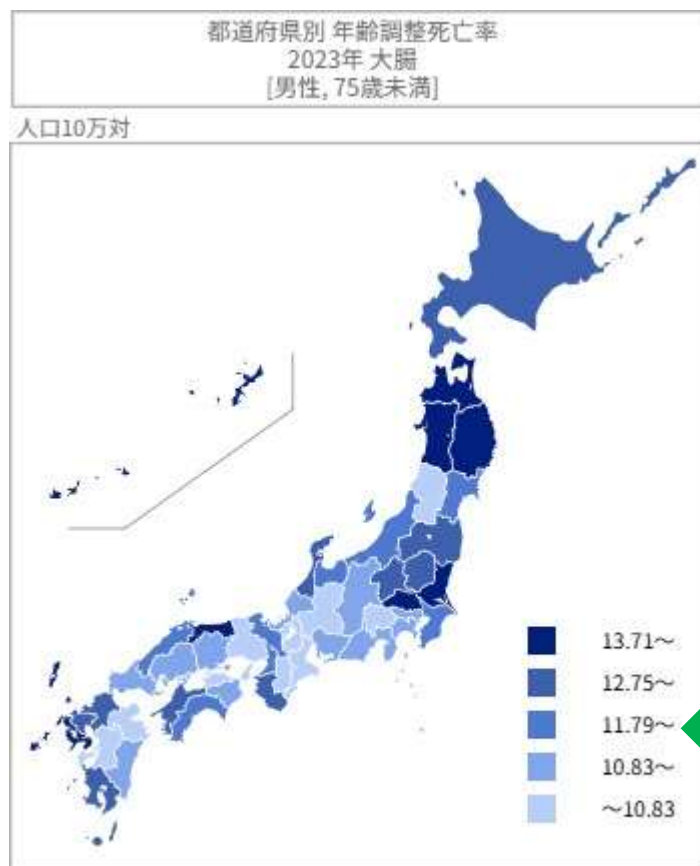
年齢調整罹患率（人口10万対）（昭和60年人口モデル）



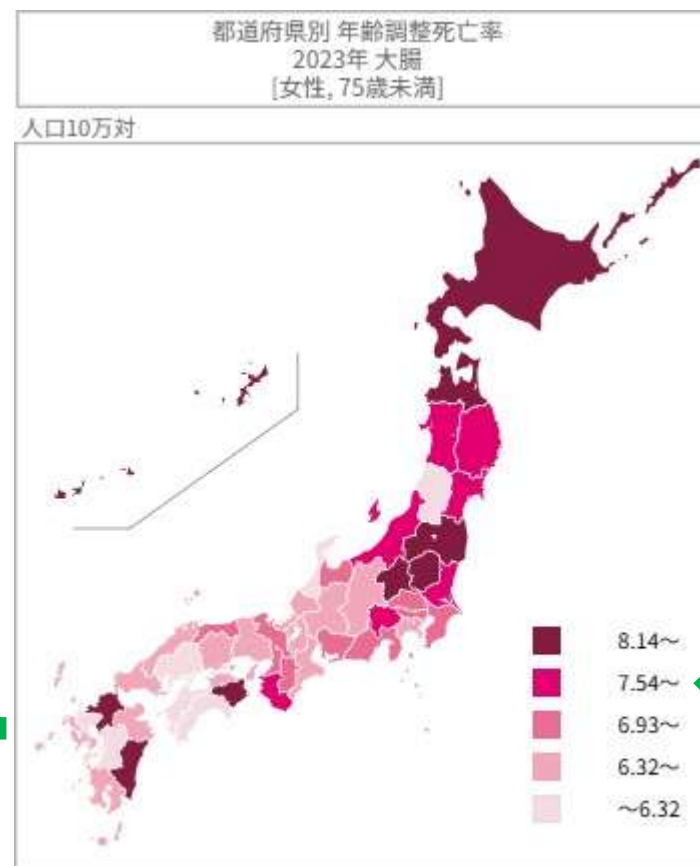
大腸がん 75歳未満年齢調整死亡率（2023，女性）都道府県別



(参考) 年齢調整死亡率 全国マップ R5 (2023)



資料: 国立がん研究センター
Source: National Cancer Center, Japan

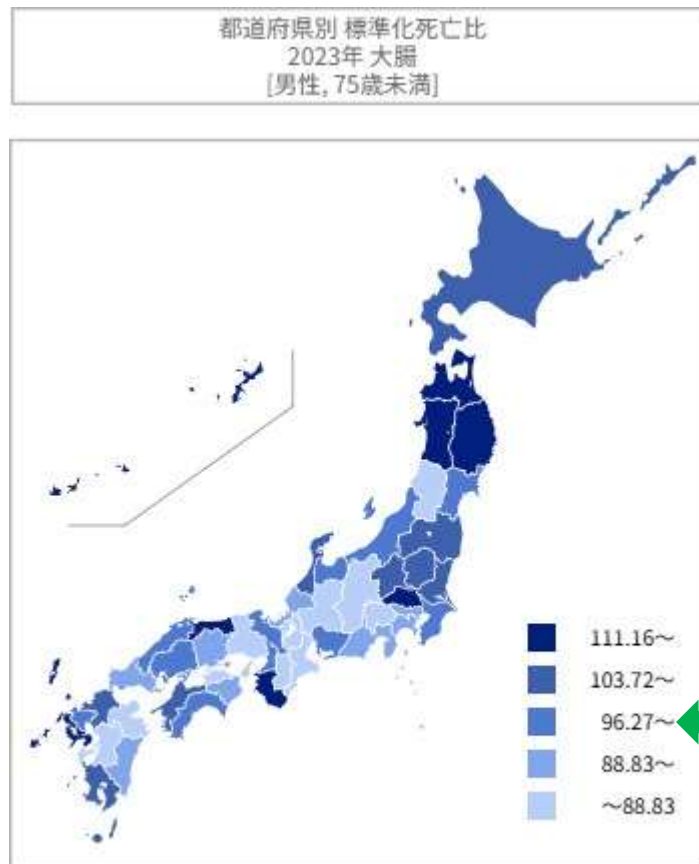


資料: 国立がん研究センター
Source: National Cancer Center, Japan

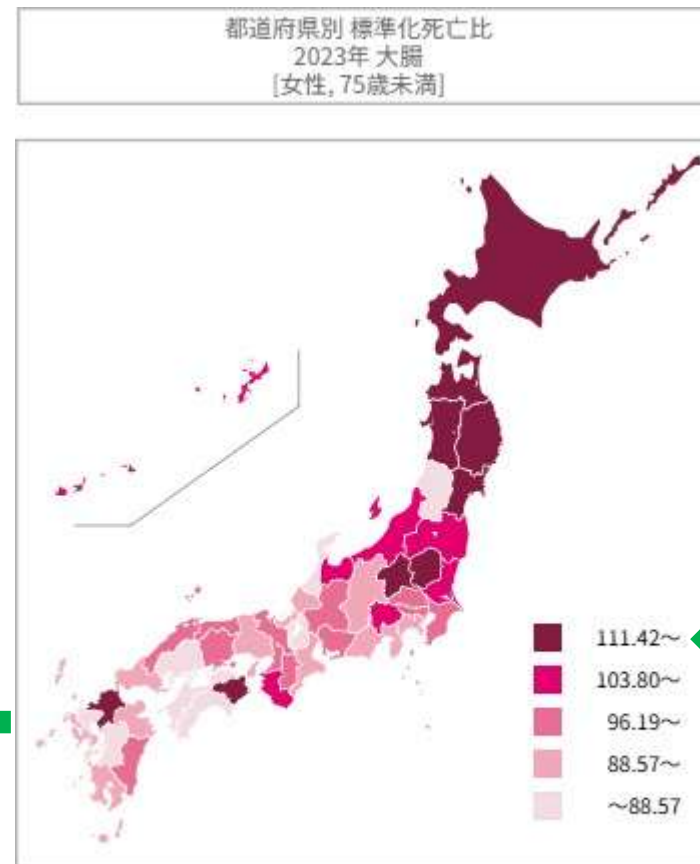
宮城県	年齢調整率
男性	12.564
女性	8.071

出典: 国立がん研究センターがん情報サービス
都道府県別75歳未満 標準化死亡比 全部位「グラフデータベース」

(参考) 標準化死亡比 全国マップ R5 (2023)



資料:国立がん研究センター
Source: National Cancer Center, Japan



資料:国立がん研究センター
Source: National Cancer Center, Japan

出典：国立がん研究センターがん情報サービス
都道府県別75歳未満 標準化死亡比 全部位「グラフデータベース」

宮城県	標準化比 (全国=100)
男性	97.981
女性	116.184

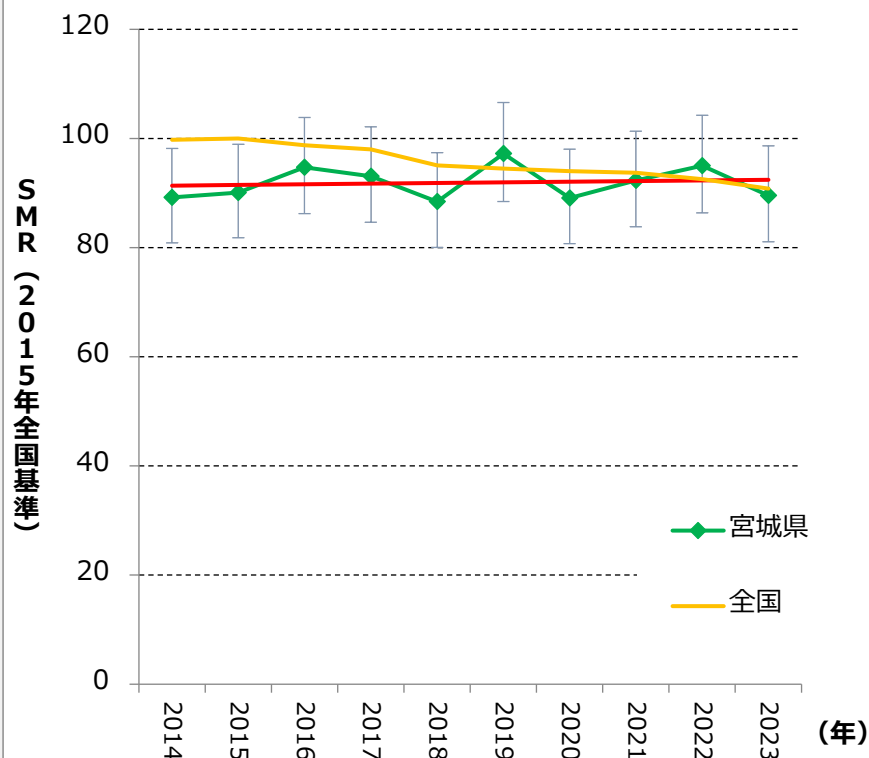
標準化死亡比 (standard mortality ratio (SMR)) とは

ある集団の死亡率が、基準となる集団と比べてどのくらい高いかを示す比。標準化死亡比が1より大きい都道府県は全国平均より死亡率が高く、1より小さい場合は全国平均より死亡率が低いことを意味する。

(参考) 標準化死亡比 変化率 男性 (宮城県)

【大腸の悪性新生物】

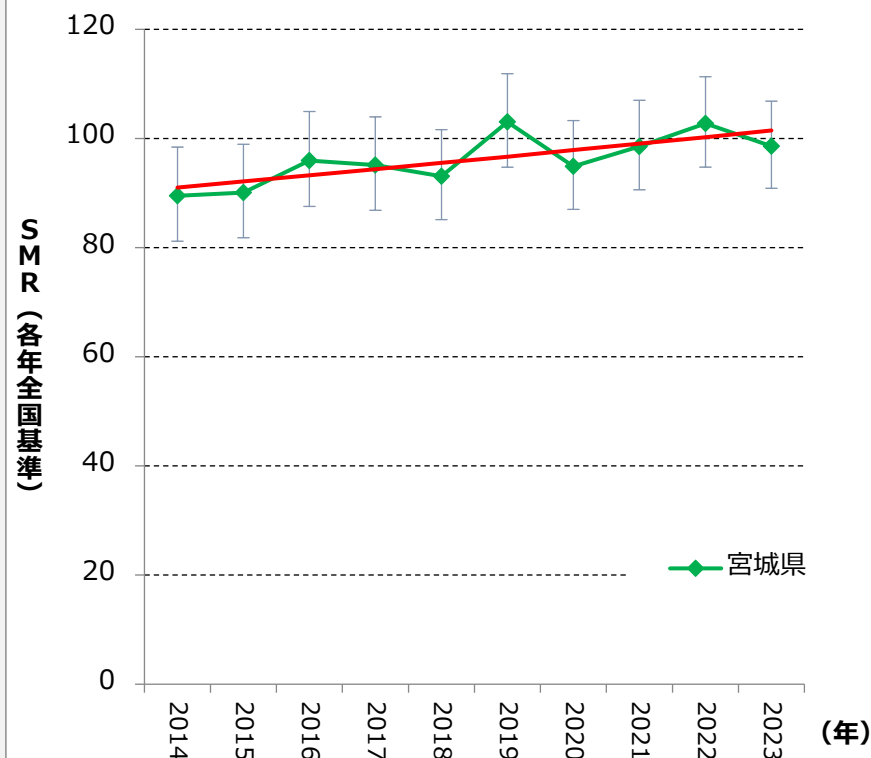
SMRの変化率：+1.3%/10年 (トレンド $p=0.795$)



2015年全国基準 (= 100)

【大腸の悪性新生物】

SMRの変化率：+12.9%/10年 (トレンド $p=0.017$)

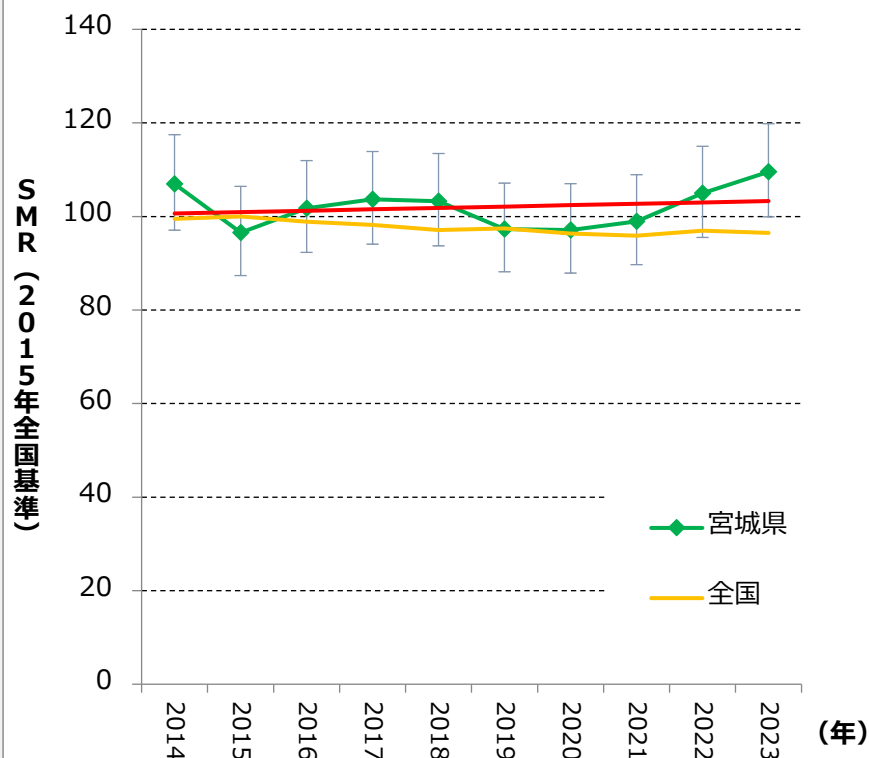


各年全国基準 (= 100)

(参考) 標準化死亡率 変化率 女性 (宮城県)

【大腸の悪性新生物】

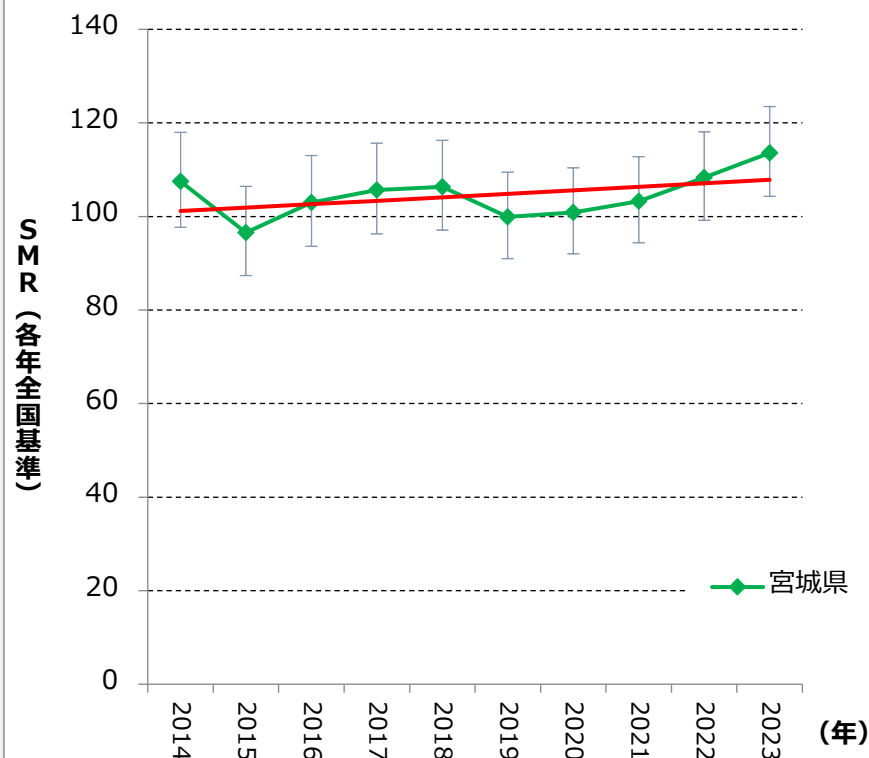
SMRの変化率：+2.9%/10年 (トレンドp=0.582)



2015年全国基準 (= 100)

【大腸の悪性新生物】

SMRの変化率：+7.4%/10年 (トレンドp=0.172)



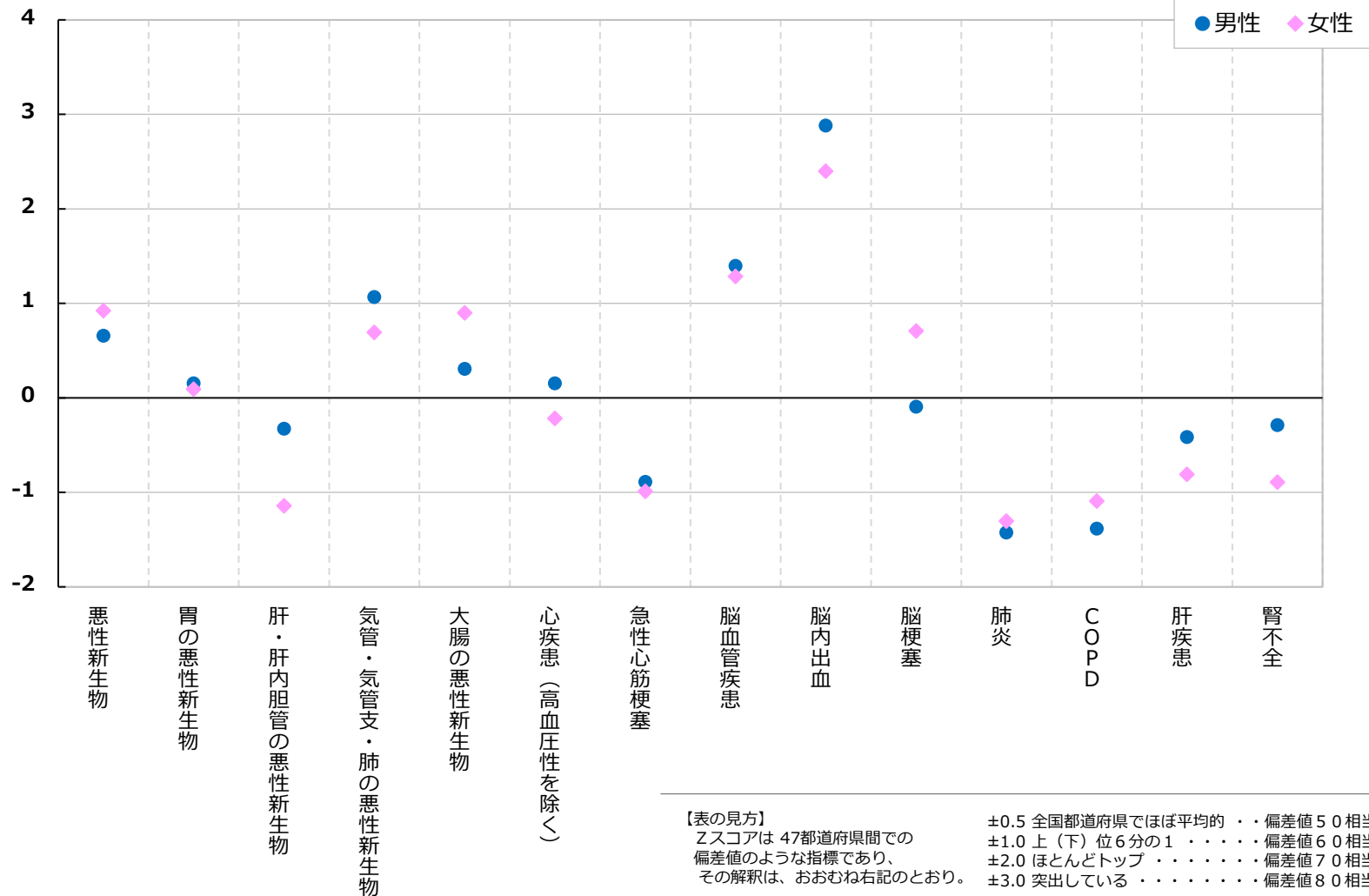
各年全国基準 (= 100)

(参考) 死因別標準化死亡比 (Zスコア) (宮城県)

令和4 (2022) 年 死因別標準化死亡比 (Zスコア)

宮城県

悪い↑
都道府県差のZスコア
↓
良い



出典：地方自治体における生活習慣病関連の健康課題把握のための参考データ・ツール集

各種統計資料等からみた都道府県の健康状態の特徴要約「平均寿命、健康寿命、死因別年齢調整死亡率（令和4年）」

国立保健医療科学院生涯健康研究部

アウトカム指標のまとめ

(罹患数や死亡率への影響は、市町村が実施するがん検診によるものだけではないが)

- 大腸がんの罹患数は、男女ともに増加している。
年齢調整罹患率でみると、微増傾向
- がん検診で発見される割合が全国より多く、早期発見に大きく貢献していると思われる。
- 一方、標準化死亡比でみると、近年やや増加傾向



値の評価、要因等について、専門的な見地から御意見を申し上げます